道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　出雲・湖陵道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県出雲市知井宮町 至：島根県出雲市湖陵町三部			延長	4.4km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

出雲・湖陵道路は、一般国道９号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした島根県出雲市知井宮町から出雲市湖陵町三部に至る延長４．４ｋｍの自動車専用道路である。

H20年度事業化	H17年度都市計画決定	H23年度用地着手	工事未着手

全体事業費	約160億円	事業進捗率 (H25年3月末現在)	7%	供用済延長	0.0km

計画交通量	18,200台／日

費用対効果分析結果	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 2.9 (残事業) 3.5	124/148億円 事業費：113/137億円 維持管理費： 11/ 11億円	434/434億円 走行時間短縮便益：363/363億円 走行経費減少便益： 46/ 46億円 交通事故減少便益： 26/ 26億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=2.6～3.3(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=3.1～3.9(交通量±10%)
事業費　：B/C=2.7～3.2(事業費±10%)　事業費　：B/C=3.2～3.8(事業費±10%)
事業期間：B/C=2.7～3.2(事業期間±20%)　事業期間：B/C=3.2～3.8(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
- 事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【18,143千人時間/年→17,593千人時間/年 3.0%削減】
- 一畑バス（小田線）：3便/日の利便性向上が見込まれる
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【63分→50分】

②物流効率化の支援
- 和江漁港、五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる

③国土･地域ネットワークの構築
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる【50分→44分】

④個性ある地域の形成
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人（H24)】

⑤安全で安心できるくらしの確保
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から三次救急医療機関島根県立中央病院までの所要時間短縮が見込まれる【43分→38分】

⑥災害への備え
- 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている
- 緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、出雲市～大田市間の代替路を形成する

⑦地球環境の保全
- CO2排出量が約1.9千t（約0.2%）削減【784千t/年→782千t/年】

⑧生活環境の改善・保全
- NOX排出量が約7.5t（約0.4%）削減【1,810t/年→1,803t/年】
- SPM排出量が約1.0t（約1.0%）削減【98t/年→97t/年】
- 出雲市神西沖町において発生している夜間71dBの騒音を低減

⑨環境への影響を考慮した効果
- 約1.9千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【0.87億円※】)

⑩交通事故件数の削減
- 交通事故件数が約1.1%削減【1,598件/年→1,580件/年】)

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から出雲・湖陵道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号出雲・湖陵道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成21年11月に山陰自動車道（斐川IC～出雲IC）が開通したことにより、出雲市街を通過する交通の転換が図られつつあるが、並行する国道９号では、主要な交差点において交通事故が多発していることから、隣接する当該道路の整備による高速ネットワークの確保が急務となっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末で用地買収については4%、事業全体の進捗率は7%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計、用地買収を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

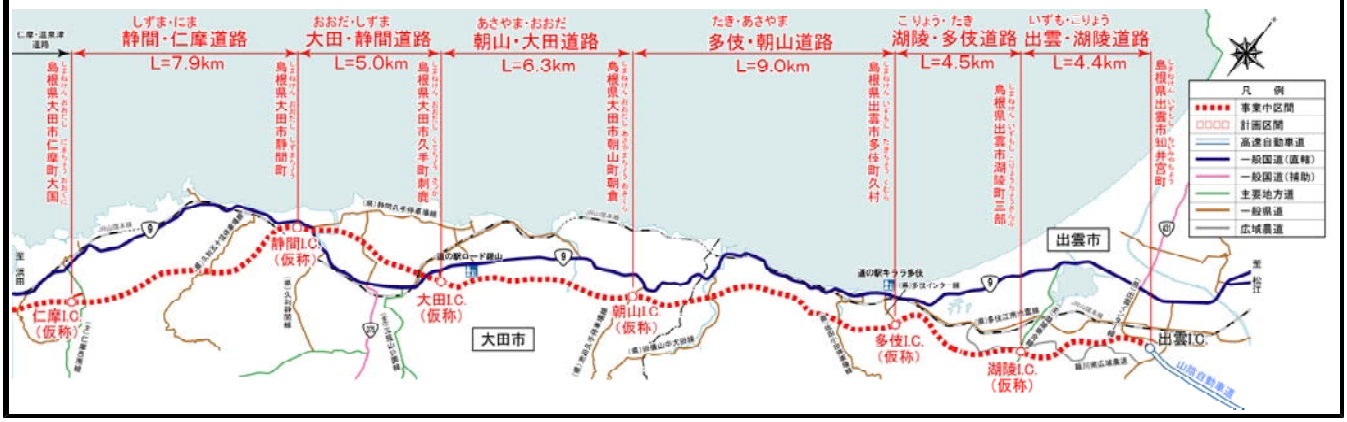
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　湖陵・多伎道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県出雲市湖陵町三部 至：島根県出雲市多伎町久村			延長	4.5km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

湖陵・多伎道路は、一般国道９号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした島根県出雲市湖陵町三部から出雲市多伎町久村に至る延長４．５ｋｍの自動車専用道路である。

H24年度事業化	H17年度都市計画決定	用地未着手	工事未着手

全体事業費	約200億円	事業進捗率 (H25年3月末現在)	1%	供用済延長	0.0km

計画交通量	17,000台／日

費用対効果分析結果	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 2.4 (残事業) 2.5	163/168億円 事業費：152/158億円 維持管理費：10/ 10億円	405/405億円 走行時間短縮便益：325/325億円 走行経費減少便益：49/ 49億円 交通事故減少便益：32/ 32億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=2.1～2.8(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=2.1～2.9(交通量±10%)
事業費　：B/C=2.2～2.7(事業費±10%)　事業費　：B/C=2.3～2.8(事業費±10%)
事業期間：B/C=2.2～2.6(事業期間±20%)　事業期間：B/C=2.3～2.7(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
- 事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【20,705千人時間/年→20,175千人時間/年 2.6%削減】
- 一畑バス（小田線）：3便/日の利便性向上が見込まれる
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【63分→50分】

②物流効率化の支援
- 和江漁港、五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる

③国土･地域ネットワークの構築
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる【50分→44分】

④個性ある地域の形成
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人(H24)】

⑤安全で安心できるくらしの確保
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から三次救急医療機関島根県立中央病院までの所要時間短縮が見込まれる【43分→38分】

⑥災害への備え
- 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている
- 緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、出雲市～大田市間の代替路を形成する

⑦地球環境の保全
- CO2排出量が約1.1千t（約0.1%）削減【997千t/年→996千t/年】

⑧生活環境の改善・保全
- NOX排出量が約3.6t（約0.2%）削減【2,335t/年→2,331t/年】
- SPM排出量が約0.8t（約0.6%）削減【126t/年→125t/年】

⑨環境への影響を考慮した効果
- 約1.1千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【0.50億円※】

⑩交通事故件数の削減
- 交通事故件数が約1.3%削減【1,874件/年→1,850件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から湖陵・多伎道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号湖陵・多伎道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、観光シーズンに渋滞が発生している。また、主要な交差点において交通事故も多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度に事業化し、現在、調査設計を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

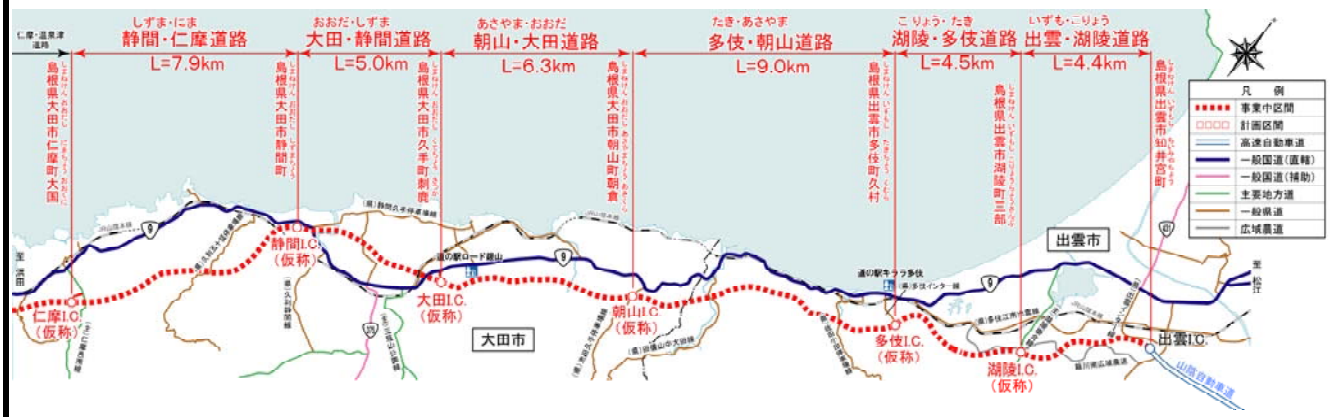
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　多伎・朝山道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県出雲市多伎町久村 至：島根県大田市朝山町朝倉			延長	9.0km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

多伎・朝山道路は、一般国道９号の交通隘路区間の解消及び代替路の確保等を目的とした島根県出雲市多伎町久村から島根県大田市朝山町朝倉に至る延長９．０ｋｍの自動車専用道路である。

H18年度事業化	H17年度都市計画決定	H20年度用地着手	H20年度工事着手

全体事業費	約410億円	事業進捗率 (H25年3月末現在)	23%	供用済延長	0.0km

計画交通量	16,600台／日

費用対効果分析結果	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.7 (残事業) 2.8	250/395億円 事業費：229/375億円 維持管理費：20/20億円	691/691億円 走行時間短縮便益：542/542億円 走行経費減少便益：102/102億円 交通事故減少便益：47/47億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=1.5～2.0(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=2.4～3.2(交通量±10%)
事業費　：B/C=1.7～1.9(事業費±10%)　事業費　：B/C=2.5～3.1(事業費±10%)
事業期間：B/C=1.7～1.8(事業期間±20%)　事業期間：B/C=2.7～2.9(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
・事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【26,585人時間/年→25,922千人時間/年 2.5%削減】
・石見交通（波根線）：7便/日の利便性向上が見込まれる
・周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【63分→50分】

②物流効率化の支援
・和江漁港、五十猛漁港などからの鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる

③国土･地域ネットワークの構築
・周辺ネットワークとの一体的な整備により二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる【50分→44分】

④個性ある地域の形成
・周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人(H24)】

⑤安全で安心できるくらしの確保
・周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から三次救急医療機関島根県立中央病院までの所要時間短縮が見込まれる【43分→38分】

⑥災害への備え
・島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている
・緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、出雲市～大田市間の代替路を形成する

⑦地球環境の保全
・CO2排出量が約5.9千t（約0.4%）削減【1,486千t/年→1,480千t/年】

⑧生活環境の改善・保全
・NOX排出量が約18.9t（約0.5%）削減【3,620t/年→3,601t/年】
・SPM排出量が約1.8t（約0.9%）削減【193t/年→191t/年】

⑨環境への影響を考慮した効果
・約5.9千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【2.85億円※】

⑩交通事故件数の削減
・交通事故件数が約1.5%削減【2,467件/年→2,430件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から多伎・朝山道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号多伎・朝山道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、既に明示されている平成３０年度での確実な供用を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故や災害による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末時点で用地買収については90%完了している。また、工事進捗は17%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成30年度(※1)の開通を目指し、用地買収、工事を推進している。

※1 用地取得及び猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合

施設の構造や工法の変更等

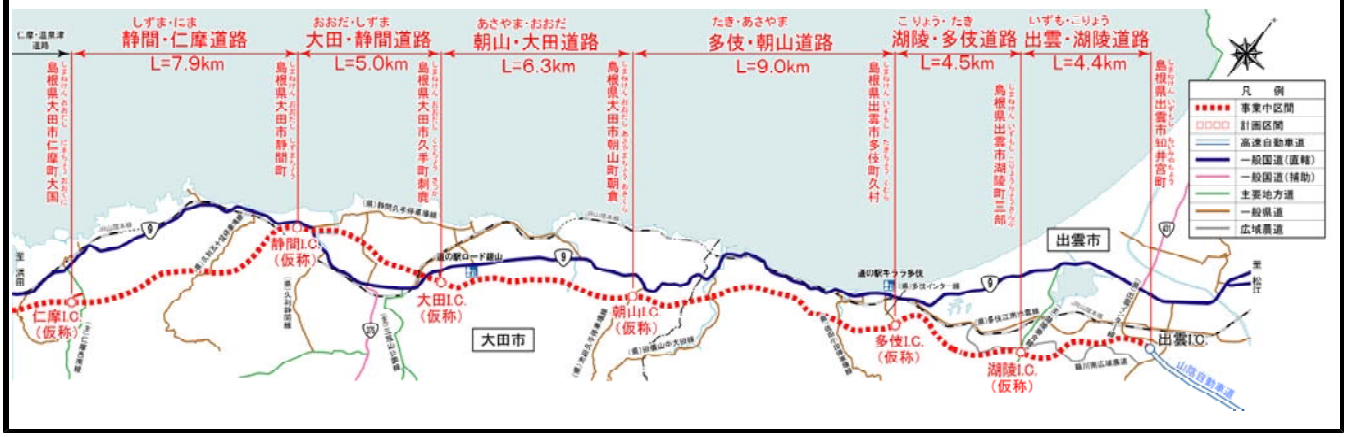
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　朝山・大田道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県大田市朝山町朝倉 至：島根県大田市久手町刺鹿			延長	6.3km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

朝山・大田道路は、一般国道９号の交通隘路区間の解消及び代替路の確保等を目的とした島根県大田市朝山町朝倉から大田市久手町刺鹿に至る延長６．３ｋｍの自動車専用道路である。

H19年度事業化	H17年度都市計画決定	H21年度用地着手	H23工事着手予定

全体事業費	約253億円	事業進捗率 (H25年3月末現在)	15%	供用済延長	0.0km

計画交通量	16,000台／日

費用対効果分析結果	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 2.4 (残事業) 3.4	170/242億円 事業費：154/226億円 維持管理費：16/16億円	583/583億円 走行時間短縮便益：457/457億円 走行経費減少便益：95/95億円 交通事故減少便益：31/31億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=2.1～2.8(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=2.9～4.0(交通量±10%)
事業費　：B/C=2.3～2.6(事業費±10%)　事業費　：B/C=3.1～3.8(事業費±10%)
事業期間：B/C=2.3～2.5(事業期間±20%)　事業期間：B/C=3.3～3.6(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
- 事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【24,487千人時間/年→23,988千人時間/年 2.0%削減】
- 石見交通（波根線）：7便/日の利便性向上が見込まれる
- 大田市朝山地区から特急停車駅である大田市駅へのｱｸｾｽ向上が見込まれる【12分→11分】
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【63分→50分】

②物流効率化の支援
- 和江漁港、五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる

③国土･地域ネットワークの構築
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる【50分→44分】
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市朝山地区から日常活動圏中心都市大田市への所要時間短縮が見込まれる【15分→13分】

④個性ある地域の形成
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人(H24)】

⑤安全で安心できるくらしの確保
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から三次救急医療機関島根県立中央病院までの所要時間短縮が見込まれる【43分→38分】

⑥災害への備え
- 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている

⑦災害への備え
- 緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、出雲市～大田市間の代替路を形成する

⑧地球環境の保全
- CO2排出量が約7.7千t（約0.6%）削減【1,389千t/年→1,382千t/年】

⑨生活環境の改善・保全
- NOX排出量が約25.3t（約0.7%）削減【3,379t/年→3,354t/年】
- SPM排出量が約1.8t（約1.0%）削減【181t/年→179t/年】

⑩環境への影響を考慮した効果
- 約7.7千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【3.70億円※】

⑪交通事故件数の削減
- 交通事故件数が約1.0%削減【2,323件/年→2,300件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から朝山・大田道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号朝山・大田道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、既に明示されている平成３０年度での確実な供用を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末時点で用地買収については63%完了している。また、工事進捗は10%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成30年度(※1)の開通を目指し、用地買収、工事を推進している。

※1 用地取得及び猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合

施設の構造や工法の変更等

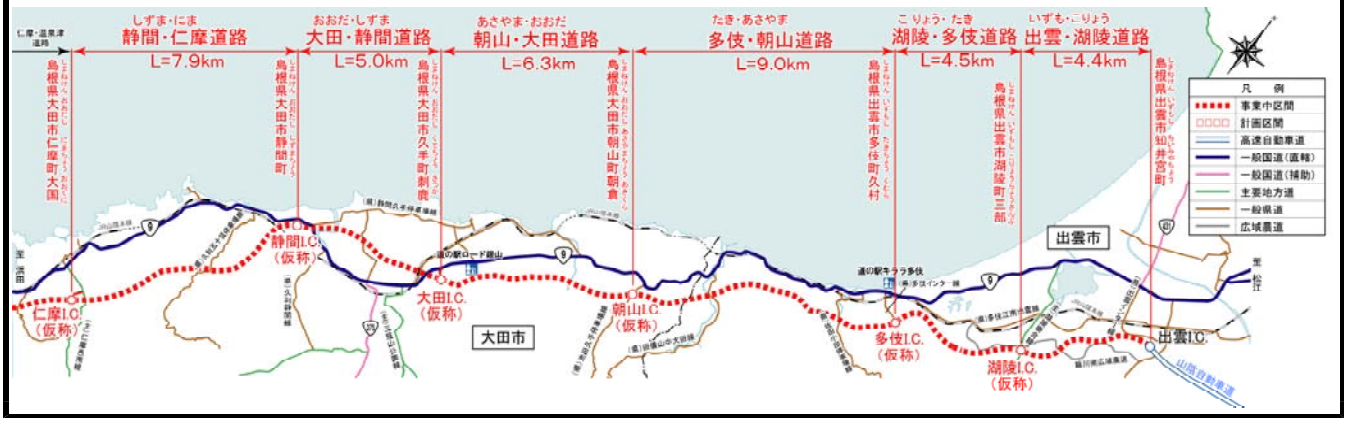
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　大田・静間道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県大田市久手町刺鹿 至：島根県大田市静間町			延長	5.0km

事業概要

一般国道９号は、京都市から下関市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

大田・静間道路は、一般国道９号の交通隘路区間の回避及び交通安全の確保等を目的とした島根県大田市久手町刺鹿から大田市静間町に至る延長５．０ｋｍの自動車専用道路である。

H24年度事業化	H17年度都市計画決定	用地未着手	工事未着手

全体事業費	約205億円	事業進捗率 (H25年3月末現在)	1%	供用済延長	0.0km

計画交通量	14,700台／日

費用対効果分析結果	B/C (3便益)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 2.2 (残事業) 2.2	167/173億円 事業費：157/162億円 維持管理費：11/ 11億円	375/375億円 走行時間短縮便益：278/278億円 走行経費減少便益：71/ 71億円 交通事故減少便益：25/ 25億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=1.9～2.5(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=1.9～2.6(交通量±10%)
事業費　：B/C=2.0～2.4(事業費±10%)　事業費　：B/C=2.0～2.5(事業費±10%)
事業期間：B/C=2.0～2.3(事業期間±20%)　事業期間：B/C=2.1～2.4(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
- 事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【19,351千人時間/年→19,181千人時間/年 0.9%削減】
- 石見交通（大田江津線）：10便/日の利便性向上が見込まれる
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により江津市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【108分→80分】

②物流効率化の支援
- 大田市から重要港湾浜田港へのアクセス向上が見込まれる　【84分→70分】
- 和江漁港、五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる

③国土･地域ネットワークの構築
- 二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる【72分→58分】

④個性ある地域の形成
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人（H24)】

⑤安全な生活環境の確保
- 和江漁港入口交差点の死傷事故率769.5件/億台kmの減少が見込まれる

⑥災害への備え
- 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている
- 緊急輸送路である国道9号が通行止の場合、大田市～大田市静間町間の代替路を形成する
- 要防災対策箇所2箇所の回避

⑦地球環境の保全
- CO2排出量が約6.0千t（約0.5%）削減【1,225千t/年→1,219千t/年】

⑧生活環境の改善・保全
- NOX排出量が約17.8t（約0.6%）削減【3,079t/年→3,062t/年】
- SPM排出量が約1.4t（約0.8%）削減【1,64t/年→1,62t/年】

⑨環境への影響を考慮した効果
- 約6.0千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【2.61億円※】

⑩交通事故件数の削減
- 交通事故件数が約1.5%削減【1,769件/年→1,742件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から大田・静間道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号大田・静間道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、主要な交差点において交通事故も多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度に事業化し、現在、調査設計を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

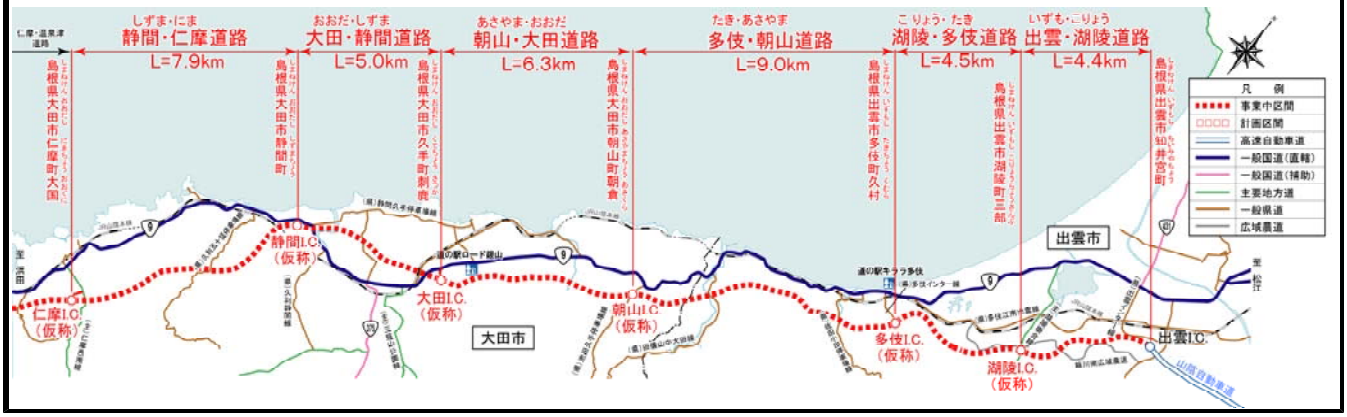
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号　静間（しずま）・仁摩（にま）道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県大田市（おおだ）静間町（しずまちょう） 至：島根県大田市（おおだ）仁摩町（にまちょう）大国（おおぐに）			延長	7.9km

事業概要

一般国道９号は、京都（きょうと）市から下関（しものせき）市に至る延長約７５５ｋｍの主要幹線道路である。

静間（しずま）・仁摩（にま）道路は、一般国道９号の交通隘路区間の回避及び交通安全の確保等を目的とした島根県大田市（おおだ）静間町（しずまちょう）から大田市（おおだ）仁摩町（にまちょう）大国（おおぐに）に至る延長７．９ｋｍの自動車専用道路である。

H20年度事業化	H17年度都市計画決定	H23年度用地着手	工事未着手

全体事業費	約220億円	事業進捗率 （H25年3月末現在）	6%	供用済延長	0.0km

計画交通量	16,100台／日

費用対効果分析結果	B/C（3便益）	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 1.9 (残事業) 2.1	180/207億円 事業費：161/188億円 維持管理費：19/ 19億円	385/385億円 走行時間短縮便益：276/276億円 走行経費減少便益：78/ 78億円 交通事故減少便益：31/ 31億円	平成25年

感度分析の結果

(事業全体)交通量　：B/C=1.6～2.2(交通量±10%)　(残事業)交通量　：B/C=1.8～2.5(交通量±10%)
事業費　：B/C=1.7～2.0(事業費±10%)　事業費　：B/C=2.0～2.4(事業費±10%)
事業期間：B/C=1.7～2.0(事業期間±20%)　事業期間：B/C=2.0～2.3(事業期間±20%)

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
- 事業区間の損失時間の削減が見込まれる　【19,249千人時間/年→19,181千人時間/年 0.3%削減】
- 石見交通（大田江津線）：10便/日の利便性向上が見込まれる
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により江津市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる【108分→80分】

②物流効率化の支援
- 大田市から重要港湾浜田港へのアクセス向上が見込まれる　【84分→70分】
- 国際コンテナ通行支障トンネル4箇所（港、五十猛、宅野、仁万）の解消
- 国土･地域ネットワークの構築（二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる【72分→58分】

③個性ある地域の形成
- 周辺ネットワークとの一体的な整備により出雲空港から石見銀山へのアクセス向上が見込まれる【年間観光客入り込み客数：43万人（H24)】

④災害への備え
- 島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H21年3月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている
- 緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、大田市～仁摩町間の代替路を形成する

⑤地球環境の保全
- CO2排出量が約5.5千t（約0.5%）削減【1,224千t/年→1,219千t/年】

⑥生活環境の改善・保全
- NOX排出量が約14.4t（約0.5%）削減【3,076t/年→3,062t/年】
- SPM排出量が約1.2t（約0.8%）削減【163t/年→162t/年】

⑦環境への影響を考慮した効果
- 約5.5千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【2.53億円※】

⑧交通事故件数の削減
- 交通事故件数が約1.6%削減【1,770件/年→1,742件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など３市４町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から静間・仁摩道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

一般国道９号静間・仁摩道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。

また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道９号では、主要な交差点において交通事故も多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末で用地買収については5%、事業全体の進捗率は6%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計、用地買収を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

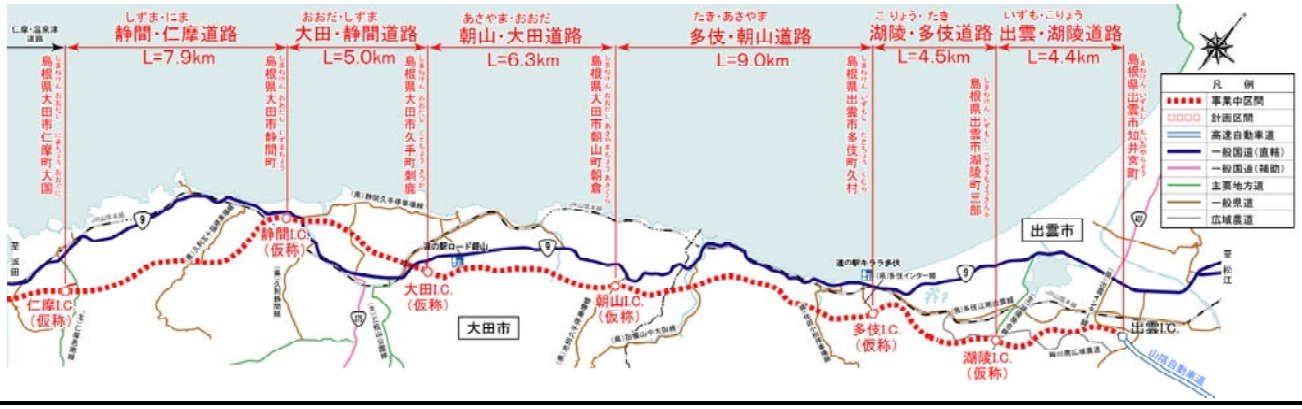
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

一般国道9号

出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

事業再評価

平成25年9月

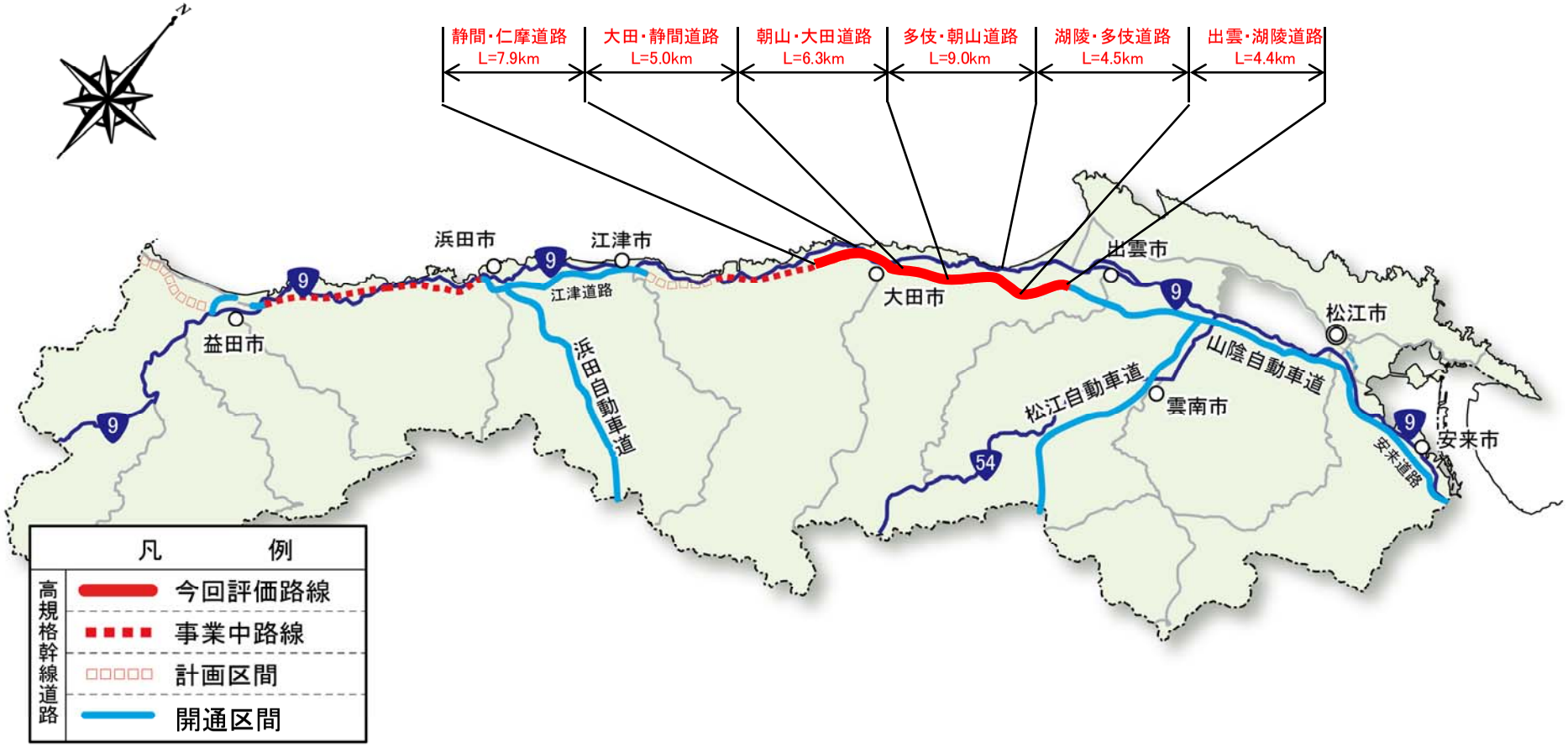
国土交通省　中国地方整備局

1. 位置図

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約755kmの主要幹線道路である。

●一般国道9号出雲・湖陵道路（延長4.4km）、湖陵・多伎道路（延長4.5km）、多伎・朝山道路（延長9.0km）、朝山・大田道路（延長6.3km）、大田・静間道路（延長5.0km）、静間・仁摩道路（延長7.9km）は島根県出雲市知井宮町から大田市仁摩町大国に位置する道路である。



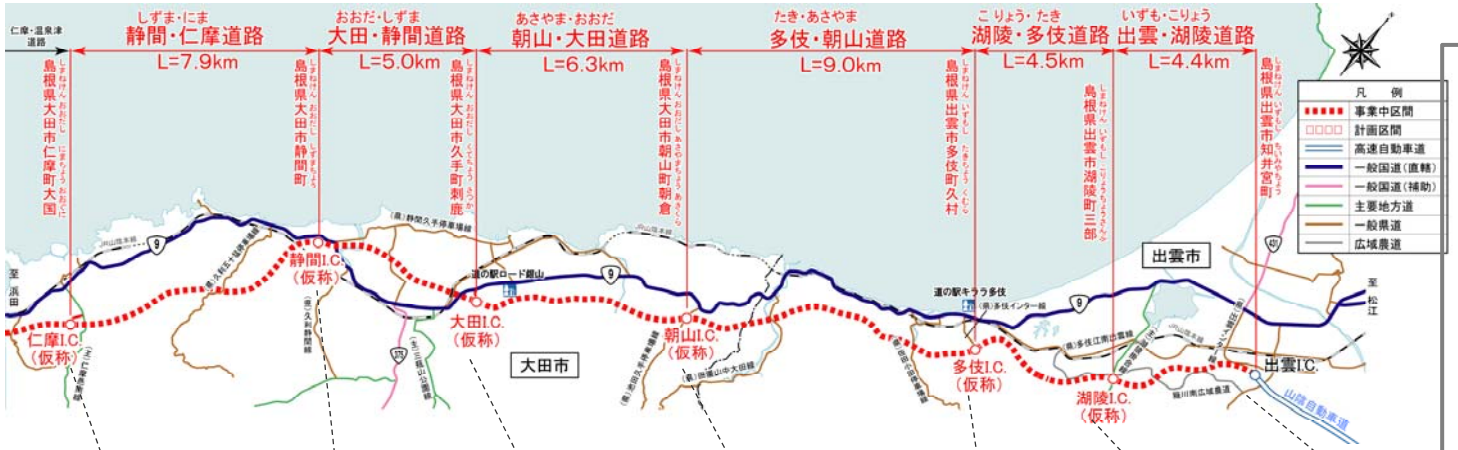
2. 事業概要及び経緯

事業概要

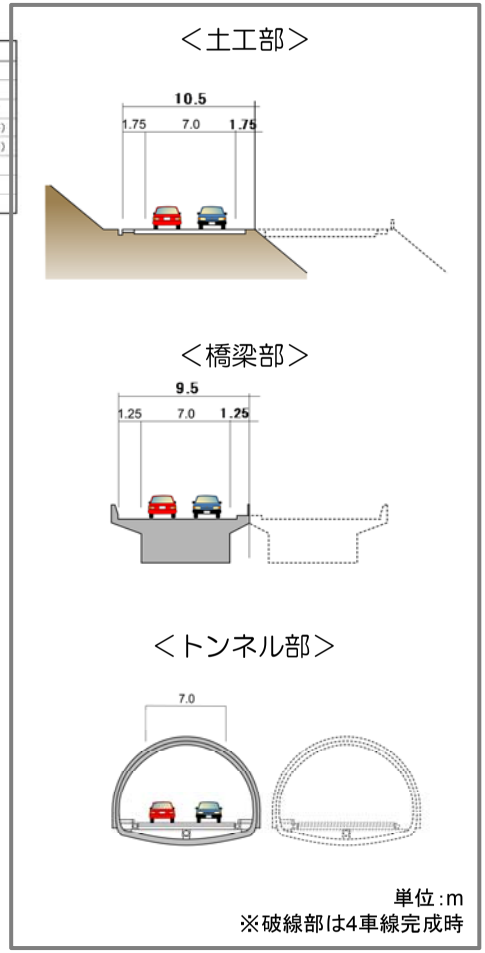
一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●本道路は、緊急時の代替路線の確保、現道の隘路区間の解消、観光・医療・物流活動を支援するとともに、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する自動車専用道路である。

計画概要図



標準断面図



事業概要

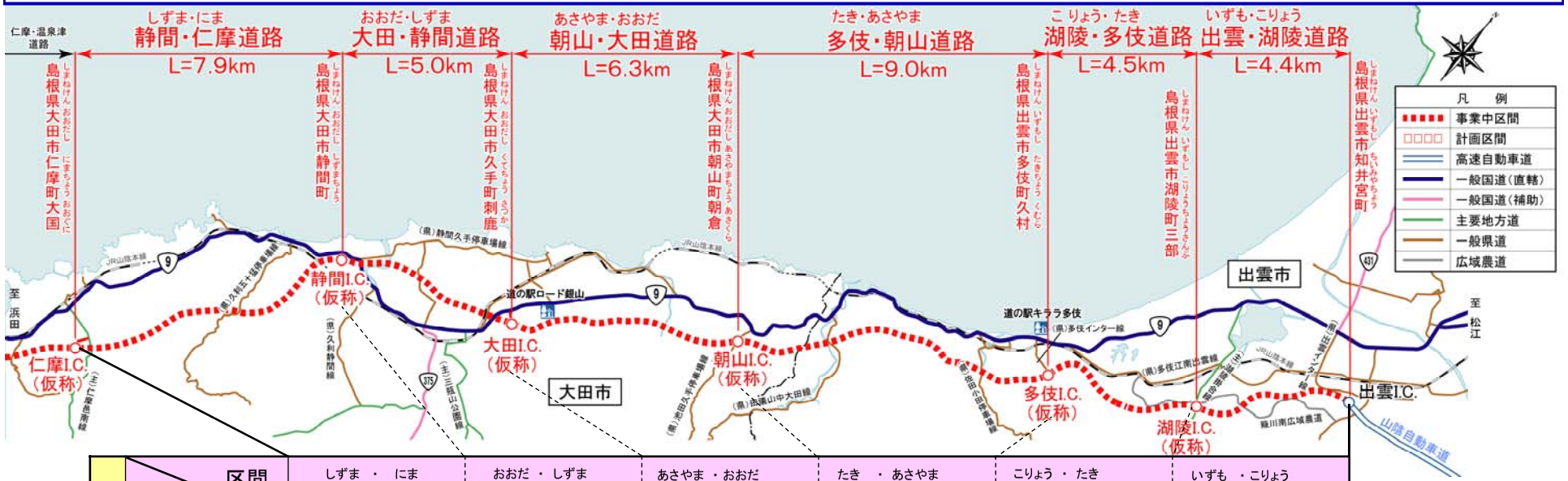
	しずま・にま 静間・仁摩道路	おおだ・しずま 大田・静間道路	あさやま・おおだ 朝山・大田道路	たき・あさやま 多伎・朝山道路	こりょう・たき 湖陵・多伎道路	いずも・こりょう 出雲・湖陵道路
起終点（上段：起点）（下段：終点）	おおだし しずまちょう 大田市静間町 おおだし にまちょう おおぐに 大田市仁摩町大国	おおだし くてちょう さつか 大田市久手町刺鹿 おおだし しずまちょう 大田市静間町	おおだしあさやまちょう あさくら 大田市朝山町朝倉 おおだし くてちょう さつか 大田市久手町刺鹿	いずもし たきちょう くむら 出雲市多伎町久村 おおだしあさやまちょう あさくら 大田市朝山町朝倉	いずもし こりょうちょう さんぶ 出雲市湖陵町三部 いずもし たきちょう くむら 出雲市多伎町久村	いずもし ちいみやちょう 出雲市知井宮町 いずもし こりょうちょう さんぶ 出雲市湖陵町三部
延長	7.9km	5.0ｋｍ	6.3km	9.0km	4.5ｋｍ	4.4km
道路の規格	第1種第3級					
設計速度	80km/h					
車線数	暫定2車線					

2. 事業概要及び経緯

事業経緯

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●都市計画道路出雲仁摩線として平成18年3月に都市計画決定され、平成18年度から順次事業着手している。



事業経緯 区間 / 年度	しずま・にま 静間・仁摩道路	おおだ・しずま 大田・静間道路	あさやま・おおだ 朝山・大田道路	たき・あさやま 多伎・朝山道路	こりょう・たき 湖陵・多伎道路	いずも・こりょう 出雲・湖陵道路
H17年度	都市計画決定　出雲仁摩線L=約37km（平成18年3月）					
H18年度				事業着手		
H19年度			事業着手			
H20年度	事業着手			用地着手 工事着手		事業着手
H21年度			用地着手			
H22年度	再評価		再評価	再評価		再評価
H23年度	用地着手		工事着手			用地着手
H24年度		事業着手			事業着手	
H25年度	工事着手					工事着手

2. 事業概要及び経緯

進捗状況

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

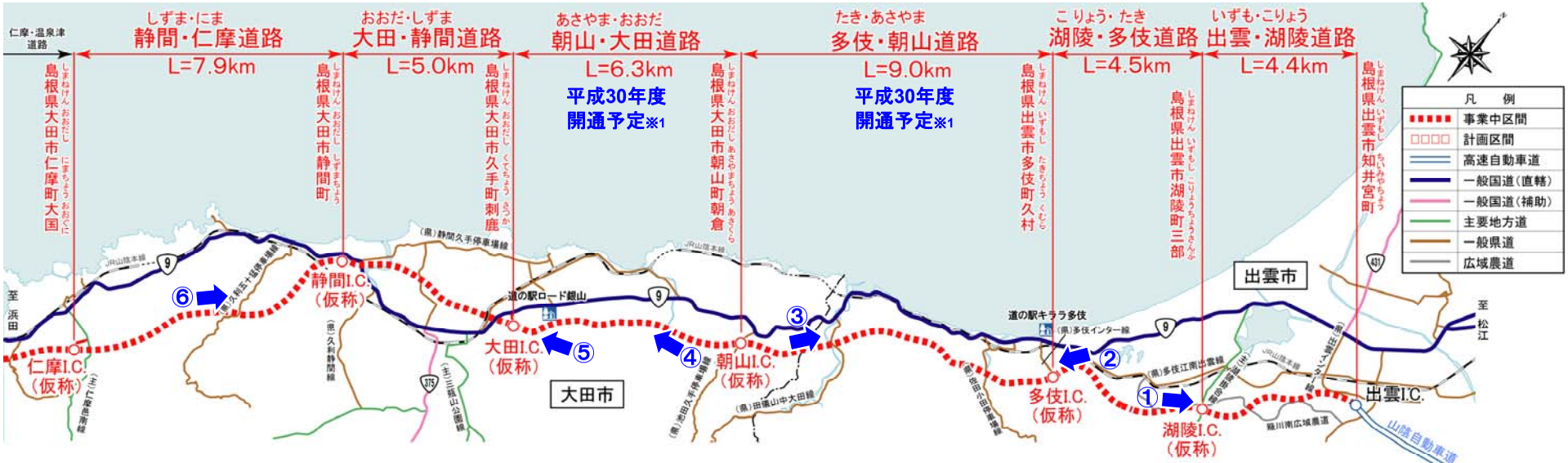
●多伎・朝山道路の用地買収は約9割、朝山・大田道路は約6割完了しており、平成30年度の開通を目指している。※1
●出雲・湖陵道路、静間・仁摩道路は、平成23年度に用地買収に着手、平成25年度から工事に着手している。

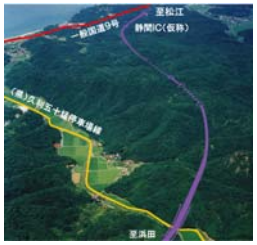
※1　用地取得及び猛禽類保全対策等が速やかに完了する場合

●事業全体の進捗状況（平成25年3月時点）

	静間・仁摩道路	大田・静間道路	朝山・大田道路	多伎・朝山道路	湖陵・多伎道路	出雲・湖陵道路
用地補償	5%	0%	63%	90%	0%	4%
工　事	0%	0%	10%	17%	0%	0%
全　体	6%	1%	15%	23%	1%	7%

※事業費に対する割合



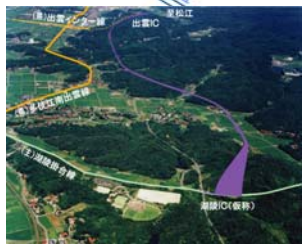

⑥五十猛町地頭嘉庭竹

⑤大田I.C.（仮称）付近

④波根川橋工事状況

③口田儀第4高架橋工事状況

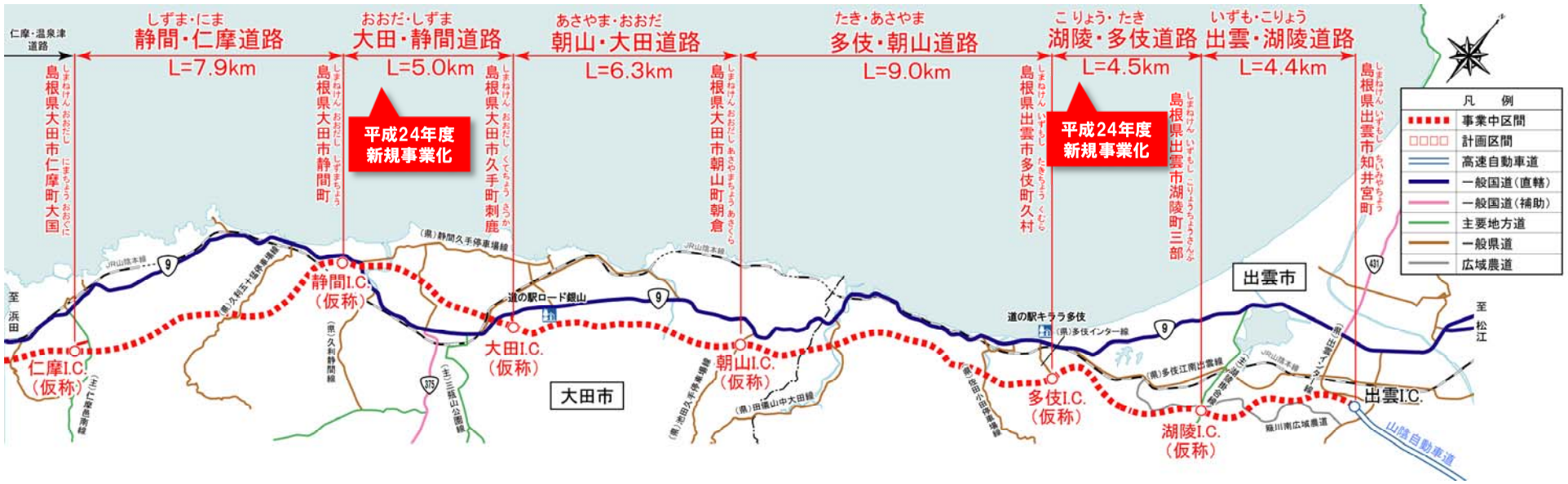
②多伎I.C.（仮称）付近


①湖陵I.C.（仮称）付近

3. 前回評価時からの主な周辺状況の変化

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●平成24年度、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、三隅・益田道路が新たに事業化。
●平成25年3月、松江自動車道の開通により、松江市や出雲市から三次(みよし)市・広島市へのアクセス性が向上。
●平成23年11月、浜田港が日本海側拠点港に選定され、地域の物流拠点や国際貿易拠点としての役割が期待されている。



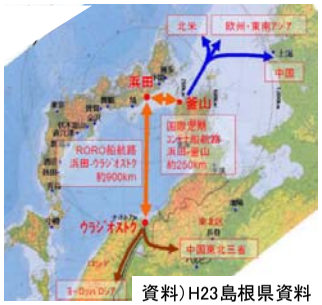
県内の3路線が新規事業化，松江自動車道が開通

湖陵・多伎道路、大田・静間道路、三隅・益田道路が平成24年に事業化

浜田港が日本海側拠点港に選定

・国際競争力の強化に向けて整備を支援する日本海側拠点港として浜田港が平成23年11月に選定された。

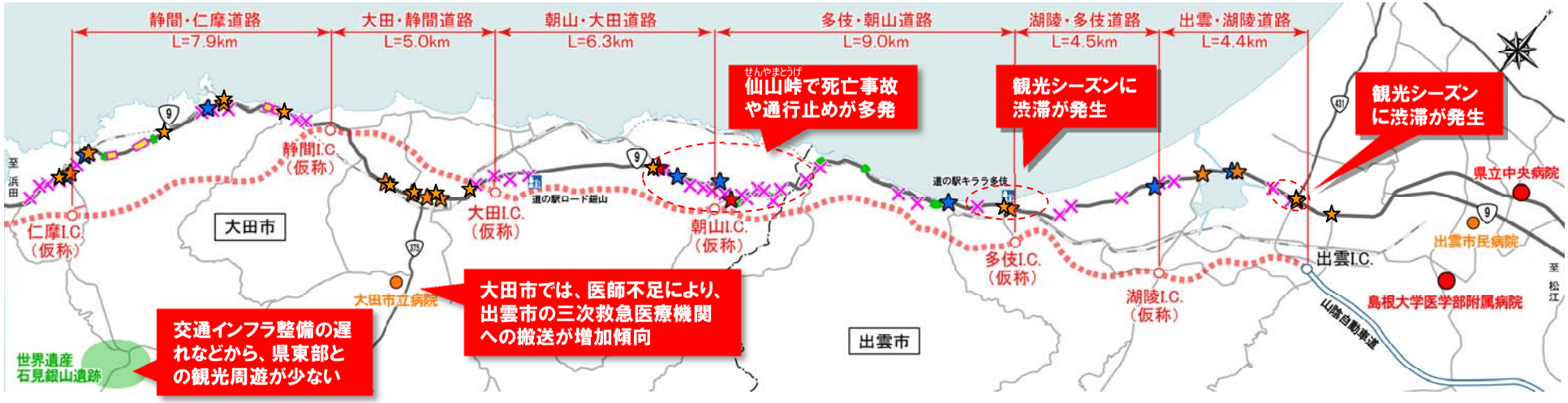
・また、浜田港とロシア・ウラジオストク港を結ぶRORO船の定期運航が2012年12月から開始され、浜田港の重要性が非常に高まっている。



資料）H23島根県資料

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路



課題①：拠点都市への連絡性

拠点都市（県庁）への連絡性向上

課題②：観光シーズンに発生する国道9号の渋滞

損失時間の削減

課題③：国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

■：急カーブ区間（平面曲線半径R＜150m）　□：国際コンテナ通行支障トンネル

道路構造不良箇所の回避による快適で安全な走行が可能

課題④：全国平均を大きく上回る国道9号の交通事故・致死率

★★（交差点／単路部）：死亡事故発生箇所（H19～H22）　☆：死傷事故率が高い箇所（H19～H22）

多発する交通事故（死亡事故など）の削減

課題⑤：事故・災害により頻発する国道9号の通行止め

✖：全面通行止め箇所（H20～H23）

代替路線の確保、東西幹線軸の強化

課題⑥：重症患者の救急救命

●：三次救急医療機関　●：二次救急医療機関

搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上

課題⑦：交流・観光の活性化

観光など広域交流の促進や地域活性化

課題⑧：物流ネットワークの形成

・物流拠点へのアクセス時間短縮による効率化
・地域経済を支える産業活動を支援

課題⑨：大規模災害に代替可能な道路ネットワークの形成

・被災状況に応じて柔軟に代替可能なネットワークを形成
・避難、救援ルートの確保

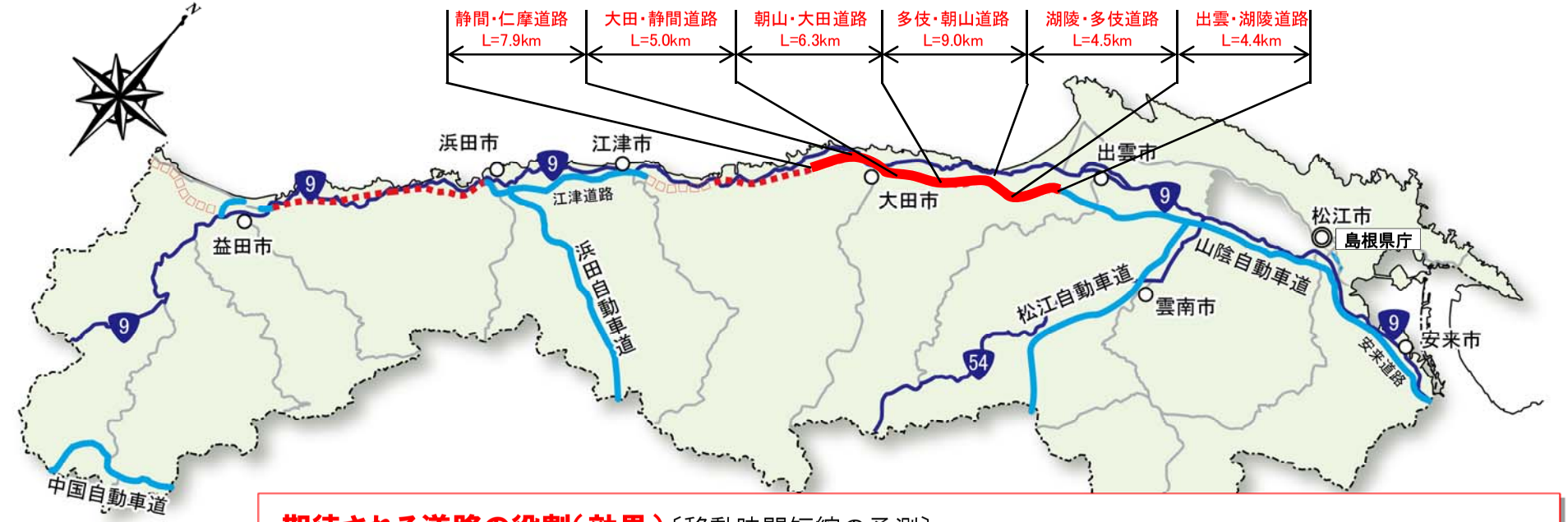
【凡例】
青地：期待される道路の役割（効果）

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題①：拠点都市への連絡性

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●本道路を含む島根県内の山陰道の整備により主要都市間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流の活発化、人流・物流・産業の活発化、地域経済の向上が期待される。



凡例	
高規格幹線道路	今回評価路線
	事業中路線
	計画区間
	開通区間

期待される道路の役割（効果）〔移動時間短縮の予測〕

浜田市役所 → 島根県庁

- 【現況】約152分
- 【整備後】約119分　約33分短縮

浜田市役所 → 大田市役所

- 【現況】約72分
- 【整備後】約58分　約14分短縮

大田市役所 → 島根県庁

- 【現況】約88分
- 【整備後】約75分　約13分短縮

※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

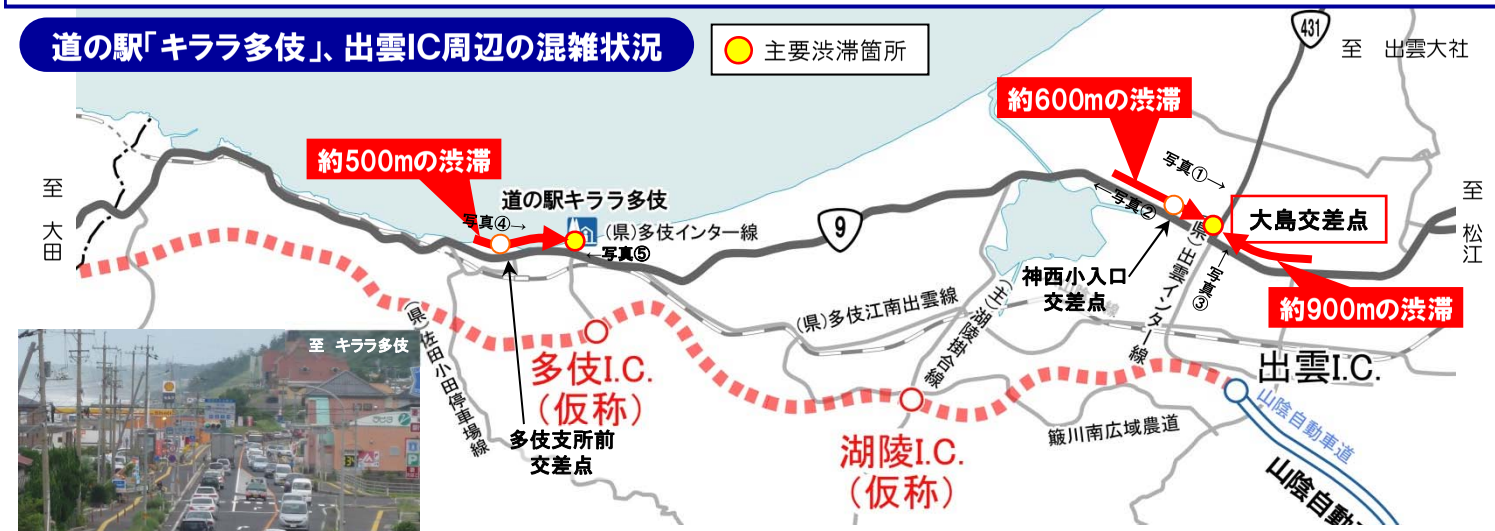
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題②：観光シーズンに発生する国道9号の渋滞

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

- ●道の駅「キララ多伎（たき）」周辺の国道9号では、5月や8月などの観光シーズンに観光客が集中し、最大約500mの渋滞が発生。
- ●山陰自動車道の端末が出雲ICのため、国道9号大島交差点に交通が集中し、約900mの渋滞が発生。
- ●観光客だけでなく、経済活動や地域住民の日常生活にも影響を与えている。
- ●国道9号において、大型車等の通過交通が本道路に転換することで、渋滞緩和が期待される。

道の駅「キララ多伎」、出雲IC周辺の混雑状況

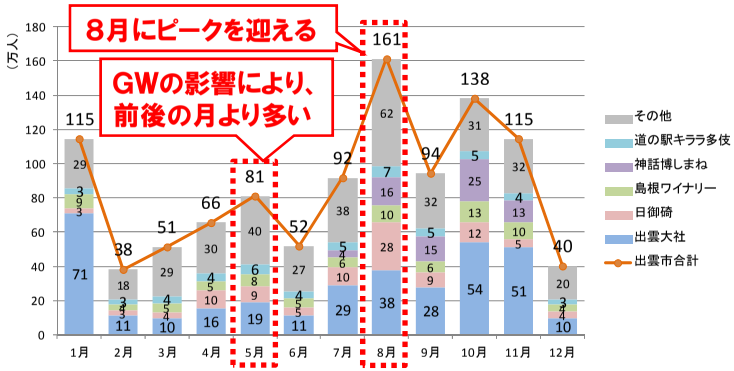


【資料】 大島交差点渋滞長：平成24年5月5日調査結果，道の駅キララ多伎交差点渋滞長：松江国道事務所調べ

④多伎支所前の渋滞状況
（国道9号 多伎支所前→キララ多伎方面）

⑤多伎支所前の渋滞状況
（国道9号 キララ多伎前→大田方面）

【参考】出雲地域の主要観光地別・月別入込み客数(平成24年)



資料：H24島根県観光動態調査結果（島根県観光振興課）

出雲市の観光入込客数は8月にピークを迎える。また、5月は前後の月に比べて高く、GWの入込客数が牽引しているものと考えられる。

出雲ICに接続する大島交差点は、こうした観光需要の玄関口としての役割を持っている。また、道の駅キララ多伎周辺は、ドライブをはじめ海水浴や海釣り、温泉やﾘﾗｸｾﾞｰｼｮﾝなど多様な機能を持っている。

①神西小入口交差点付近の渋滞状況
（国道9号 神西小入口→大島交差点方面）

②神西小入口交差点付近の渋滞状況
（国道9号 神西小入口→大田方面）

③大島交差点からの渋滞状況
（出雲IC線 出雲IC→大島交差点方面）

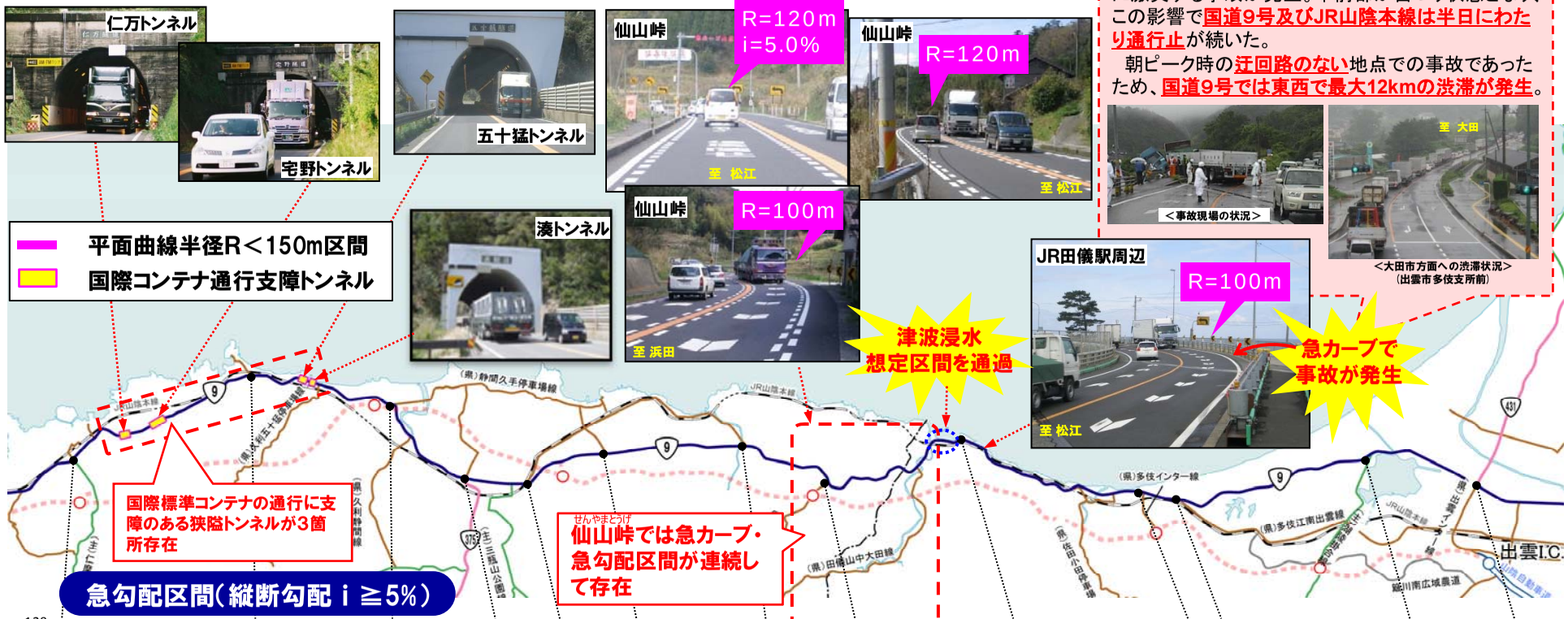
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題③：国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●国道9号出雲市～大田市間には急カーブや急勾配、国際標準コンテナ車の通行支障となるトンネルなど道路構造に多くの課題があり、交通のネックとなっている。また、国道9号多伎～朝山区間では、津波浸水想定区間が存在する。
●本道路の整備により、快適で安全な走行が可能となるとともに、津波等大規模災害時の迂回機能が期待される。

平面線形不良区間（平面曲線半径＜150m）と国際コンテナ通行支障トンネル

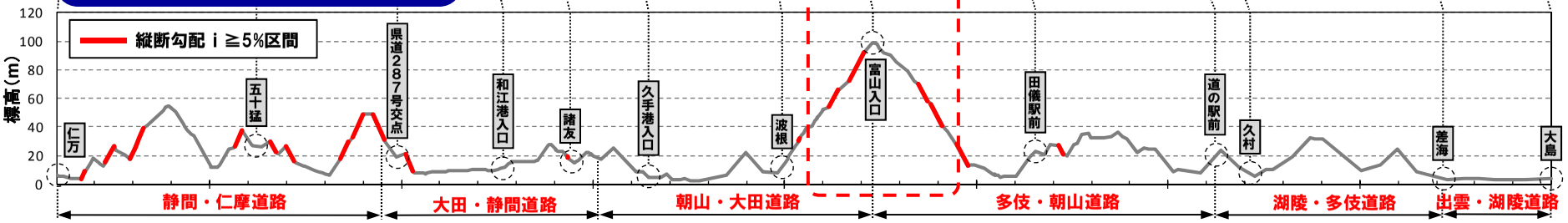


平成21年7月、大型トレーラーがJR跨線橋の欄干に激突する事故が発生。車前部が宙づり状態となり、この影響で**国道9号及びJR山陰本線は半日にわたり通行止**が続いた。
朝ピーク時の**迂回路のない**地点での事故であったため、**国道9号では東西で最大12kmの渋滞が発生**。

＜事故現場の状況＞

＜大田市方面への渋滞状況＞
（出雲市多伎支所前）

急勾配区間（縦断勾配 i ≧5%）



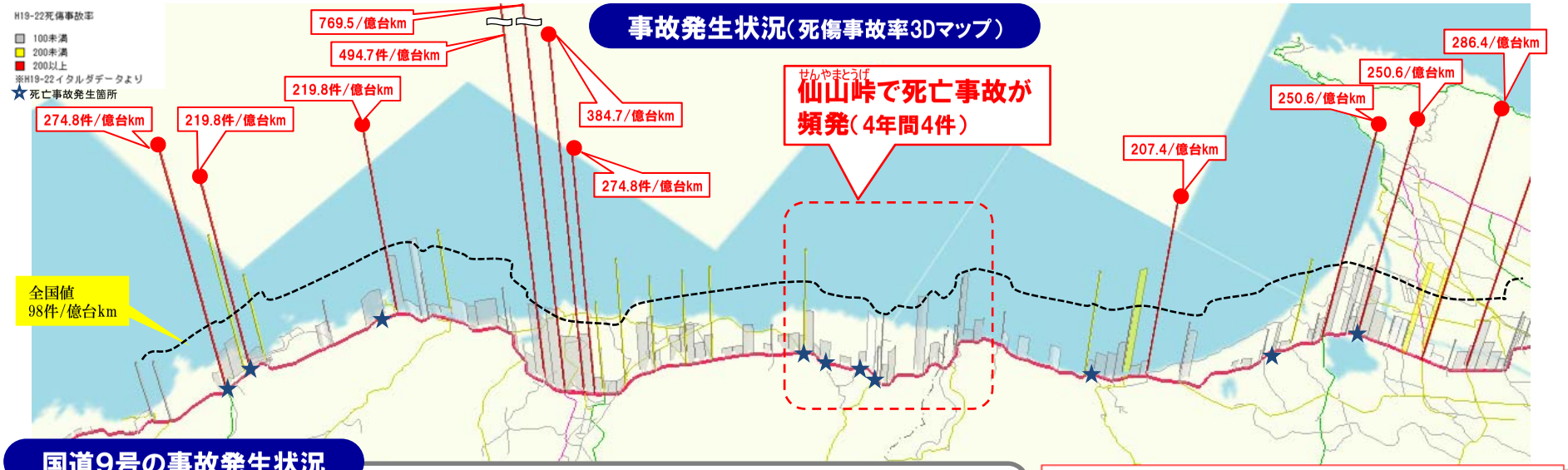
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題④：全国平均を大きく上回る国道9号の交通事故・致死率

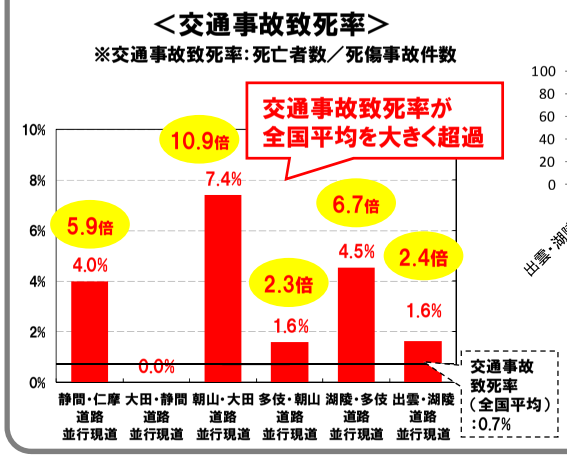
一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

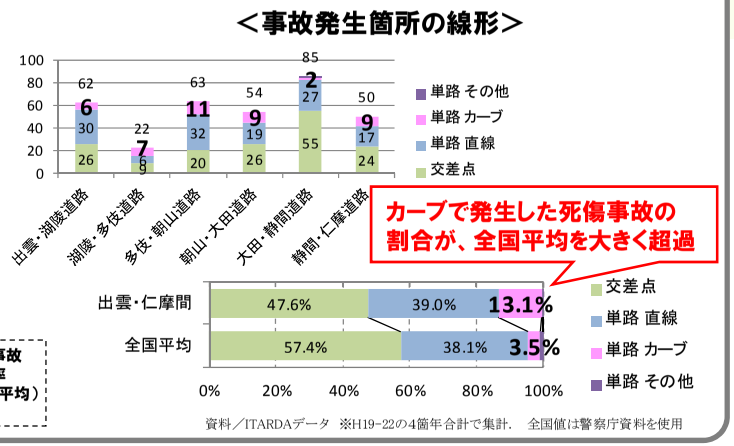
●国道9号出雲市～大田市仁摩町区間では、全国平均を上回る事故多発箇所が点在し、交通事故致死率は全国平均を大きく上回っている。また、当該区間の死傷事故の特徴として、カーブで発生した割合が全国平均を大きく上回っている。
●本道路の整備により、道路構造に課題のある箇所を回避することができ、死傷事故などの重大事故件数の削減が期待される。
●国道9号において、大型車等の通過交通が本道路に転換することで、安全性の向上が期待される。

事故発生状況（死傷事故率3Dマップ）

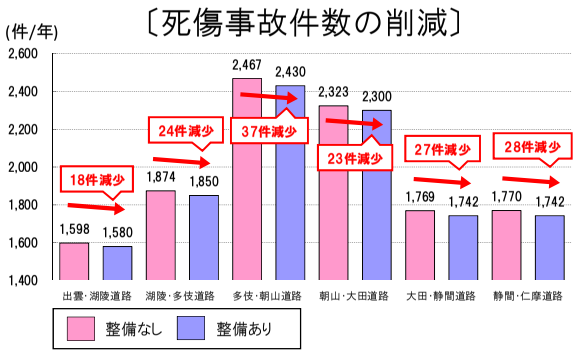


国道9号の事故発生状況





期待される道路の役割（効果）



【算出対象範囲】
・死傷事故件数は、当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算出。※H42交通量配分結果をもとに対象路線のあり・なしのケースの交通量を用いて算出。

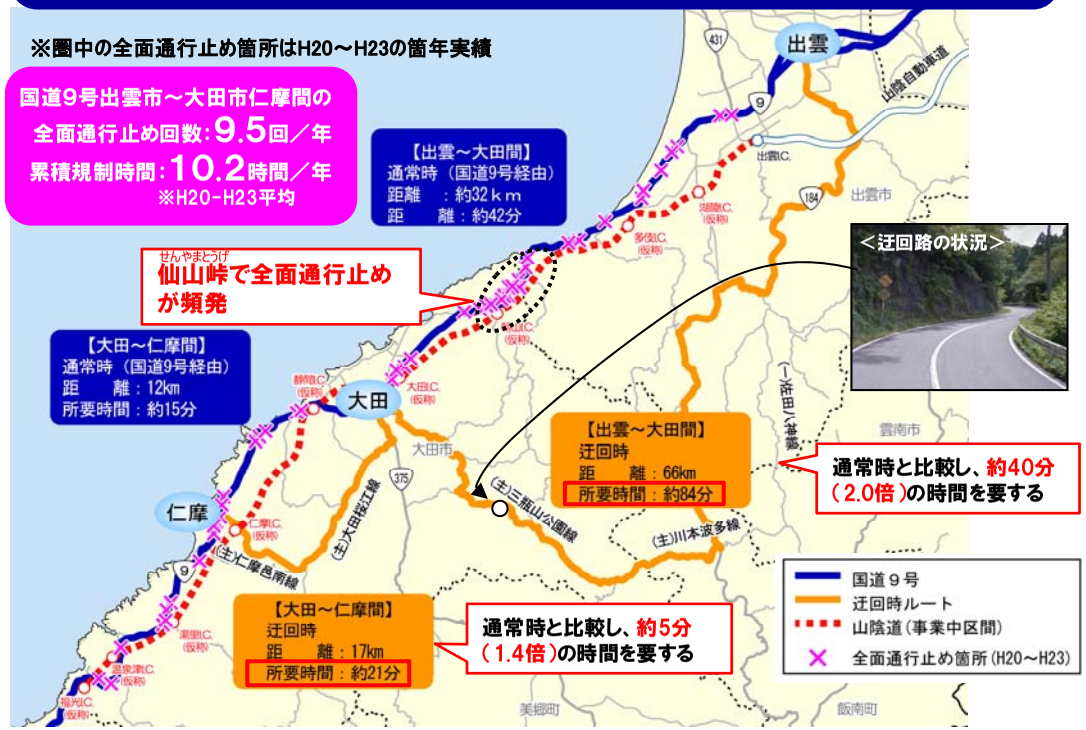
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題⑤：事故・災害により頻発する国道9号の通行止め

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●国道9号出雲市～大田市仁摩町間では事故や災害による全面通行止めが年間平均約10回発生。（約10時間/年）
●通行止めに伴い、著しい渋滞の発生や、大幅な迂回を強いられるなど生活や物流に大きな支障をきたしている。
●本道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線軸の強化が期待される。

国道9号出雲市～大田市仁摩町間の全面通行止め実績と迂回状況



※H22道路交通センサス混雑時旅行速度で算出　、迂回路については大型車が通行可能なルートを選定
出雲～大田間：渡橋中央交差点（出雲）～和江港入口交差点（大田）、　大田～仁摩間：和江港入口交差点（大田）～仁万交差点（仁摩）

【区間別の全面通行止め発生状況】

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	10箇年計	10ヶ年平均
全面通行止め回数（回/年）	7	4	7	6	7	8	13	11	8	6	77	7.7
規制時間合計（時間/年）	13.1	7	5.3	2.6	41	6.5	12.6	17.4	8.4	2.3	115.3	11.5
規制日数合計（日/年）	0.54	0.27	0.22	0.11	1.69	0.27	0.53	0.73	0.35	0.10	4.81	0.5

出雲～仁摩間において全面通行止めとなった時間は、10年間累計で100時間を超える

～物流企業の声～

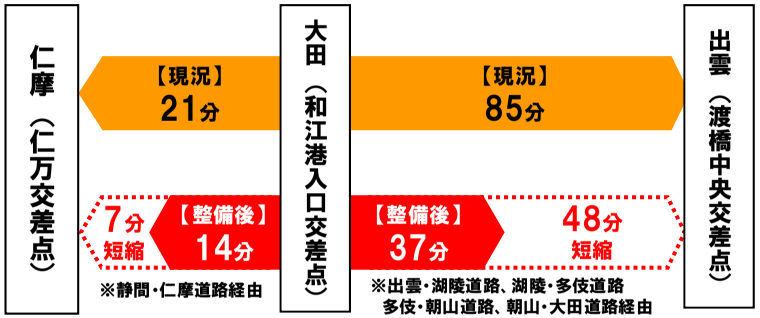
・大田市の仙山峠（せんやまとうげ）で頻繁に発生する通行止めが荷物の遅延に繋がっている。一度事故が発生すると国道9号は長時間の通行止めが発生し、大型車が通れる道路は相当の迂回を強いられる。　（H25年事業所ヒアリング結果より）

～消防の声～

・国道９号の迂回路の多くが山道のため、急カーブによる患者への負担が大きい。また、普段通らない不慣れなルートなので、事故の危険性が高い。
（H25年江津邑智消防組合 江津消防署ヒアリング結果より）

期待される道路の役割（効果）

〔迂回時の所要時間短縮の予測〕



※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題⑥：重症患者の救急救命

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

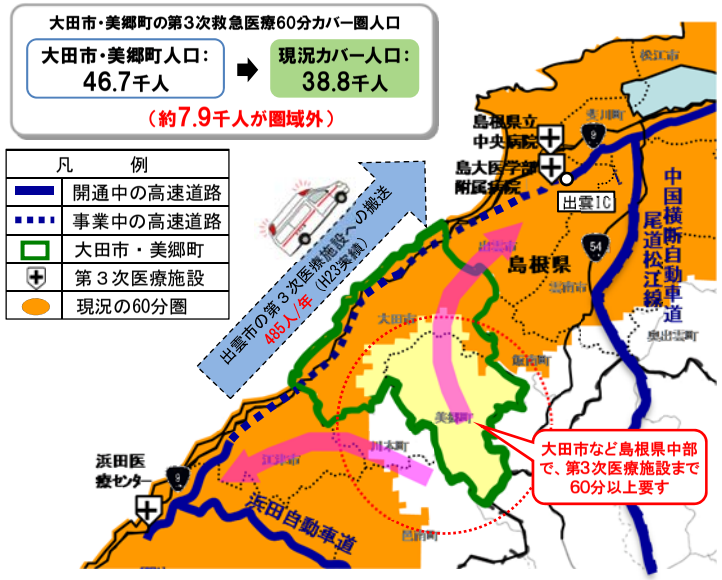
●救急救命を担う第3次医療施設が無い大田市では、各地から60分以内に病院に収容できなかった患者の割合が、島根県平均や全国平均と比べて低水準となっている。
●大田市から出雲市の第3次救急医療施設への搬送数は、医師の偏在等の問題から、増加傾向にある。
●本道路の整備により、出雲方面への搬送時間の短縮が可能となり、住民の安心な暮らしを支えることが期待される。

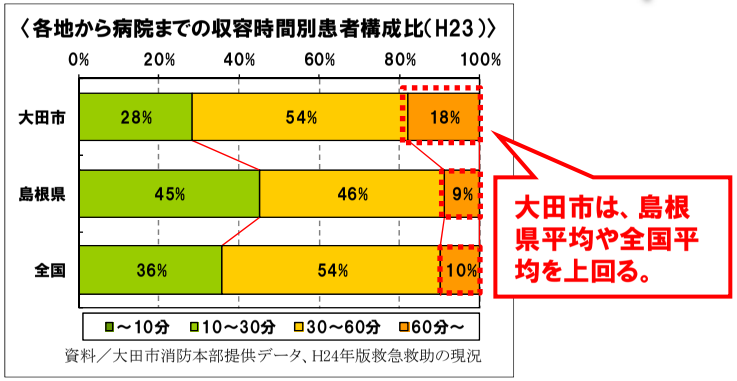
大田市・美郷町（みさとちょう）の第3次救急医療施設への搬送状況

大田市・美郷町の第3次救急医療60分カバー圏人口

大田市・美郷町人口：46.7千人 ➡ 現況カバー人口：38.8千人

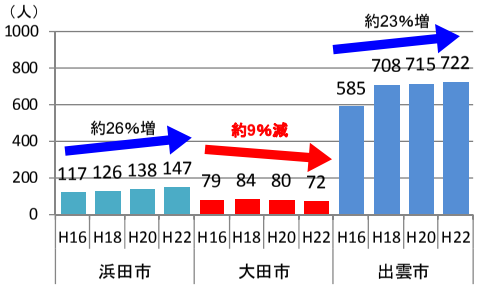
（約7.9千人が圏域外）





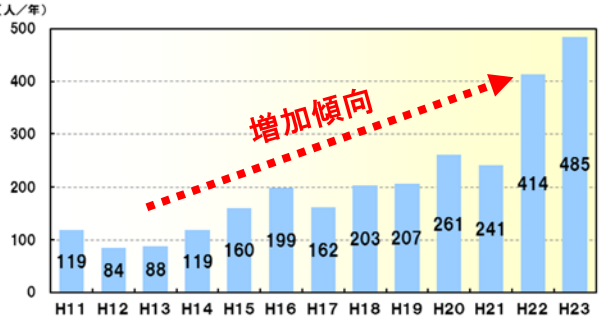
資料／大田市消防本部提供データ、H24年版救急救助の現況

＜島根県主要都市の医師数の変化＞



資料：島根県「医師・歯科医師・薬剤師調査」

＜大田市消防本部管内から第3次医療機関（出雲市）への搬送推移＞



資料：大田市消防本部提供データ

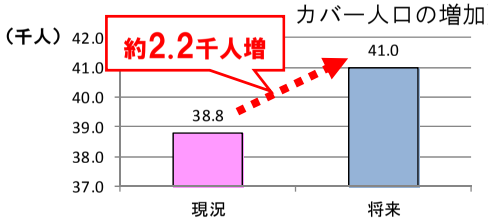
～消防の声～

・管内の病院の医師不足や県立中央病院等の医療の高度化により、管外の第3次救急医療施設へ搬送するケースが増加している。転院搬送の際、医師等が同乗し病院を不在にすることから、患者の負担軽減に加え、医師不足緩和の観点からも所要時間の短縮を、強く期待している。（H 25年江津邑智消防組合 江津消防署ヒアリング結果より）

・ドクターヘリを使えば所要時間は早いが、夜や悪天候時には搬送することができないため、大田市西部の救急医療環境は良くない。（H24年大田市医療政策課アンケート結果より）

期待される道路の役割（効果）

〔大田市・美郷町の三次救急医療60分カバー人口の増加〕



※山陰道が全線整備された場合として算出。

期待される道路の役割（効果）

〔搬送時間の短縮〕

※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

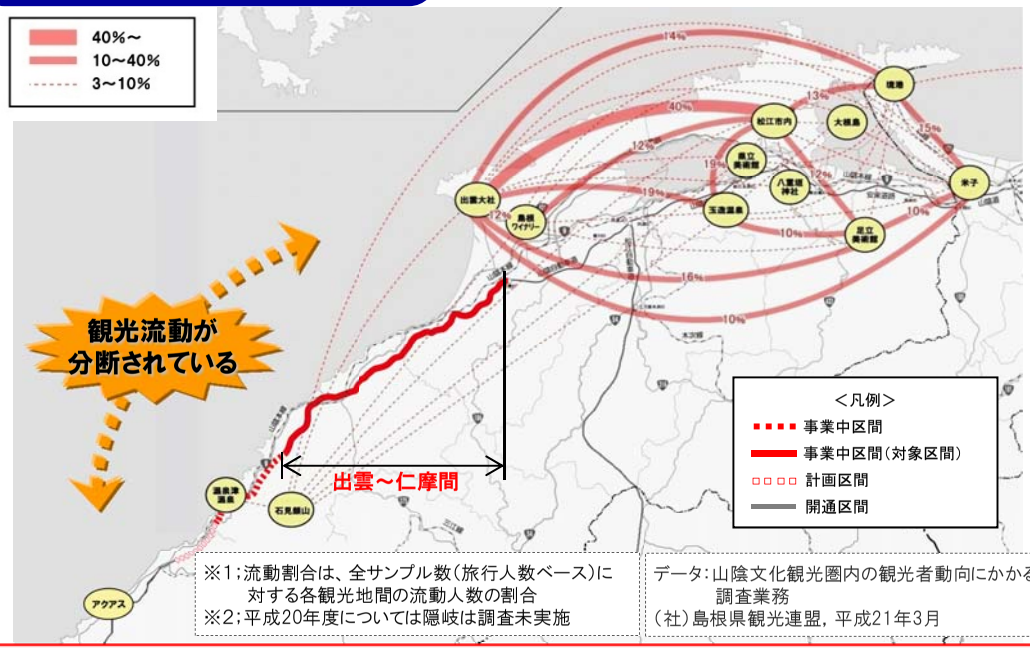
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題⑦：交流・観光の活性化

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●島根県には優れた観光資源が豊富に存在するものの、東西に広く分散しているため、広域的な観光移動は極めて不便な状況にある。そのため、移動時間に多くの時間が費やされ、観光周遊先は限定的な地域に留まっている。
●本道路を含む島根県内の山陰道の整備により、島根県西部地域の観光入込客数の増加が期待される。

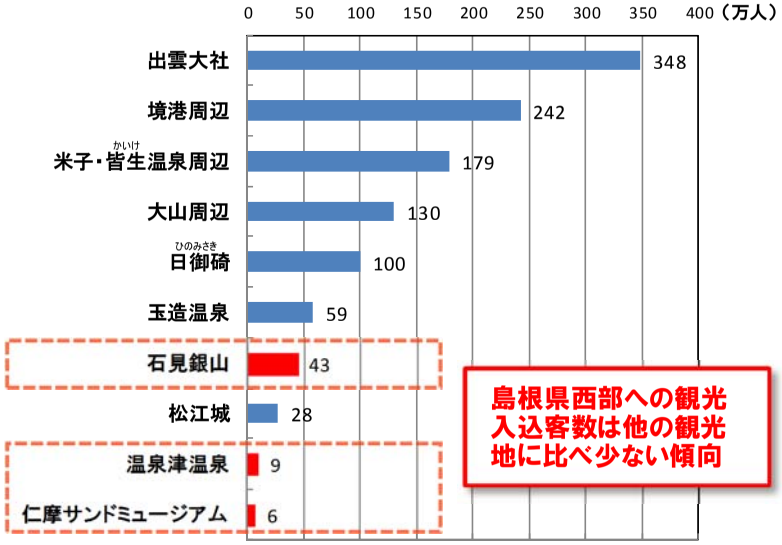
島根県東部・中部の観光流動



※1：流動割合は、全サンプル数（旅行人数ベース）に対する各観光地間の流動人数の割合
※2：平成20年度については隠岐は調査未実施

データ：山陰文化観光圏内の観光者動向にかかる調査業務
（社）島根県観光連盟，平成21年3月

島根・鳥取の主要観光地における観光入込客数



資料／各県観光動態調査（平成24年）
※ただし、観光入込客数は県単位で調査・集計方法が異なる

期待される道路の役割（効果）〔山陰道全線整備時の観光地間の移動時間の予測〕

※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他は混雑時旅行速度（H22道路交通センサス）より算出。

～地域の声～

・島根県全体の観光消費のうち、東部が7～8割を占めており、**東西軸の交通が不便な西側は立ち寄ってもらいにくい現状がある**。
・山陰道の開通により**県東部や九州方面からの入込客数の増加に期待**している。（H24年島根県観光連盟ヒアリング調査結果より）

・山陰道が開通すれば、**東部と西部を結ぶツアーの周遊箇所数が増やせたり、出発時刻を遅らせて参加しやすいツアーに**したりすることができる。（H24年島根県観光連盟ヒアリング調査結果より）

・山陰道の開通に際して、**県東部と県西部を結ぶ新たなバス路線の開設**などを検討している。（H25年県内交通事業者ヒアリング調査結果より）

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題⑧：物流ネットワークの形成

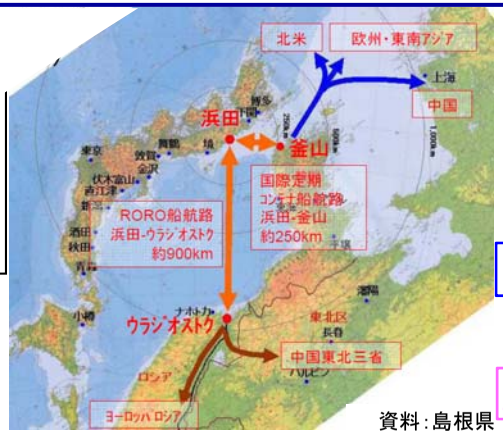
一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●浜田港は韓国、ロシア、また、中国に近い好立地条件を活かし、国際貿易の「日本海側拠点港」に指定されている。
●また、平成13年の「国際定期コンテナ航路」開設以降、コンテナ数は年々増加傾向にある。
●本道路を含む島根県内の山陰道の整備により、浜田港を活かした物流の活性化、国際・国内貿易の促進が期待される。

浜田港の特徴

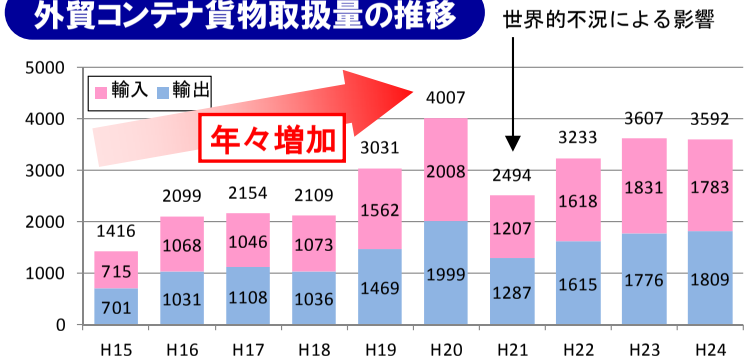
（立地条件）
➢ 韓国、中国、ロシアに近い好立地条件
（国際航路）
・釜山港との国際定期コンテナ航路
・ウラジオストックとのRORO船定期航路

日本海側拠点港に指定



資料：島根県

外貿コンテナ貨物取扱量の推移



資料：中国地方の港湾における国際コンテナ貨物取扱量（国土交通省中国地方整備局）

【浜田港振興会事務局の声】

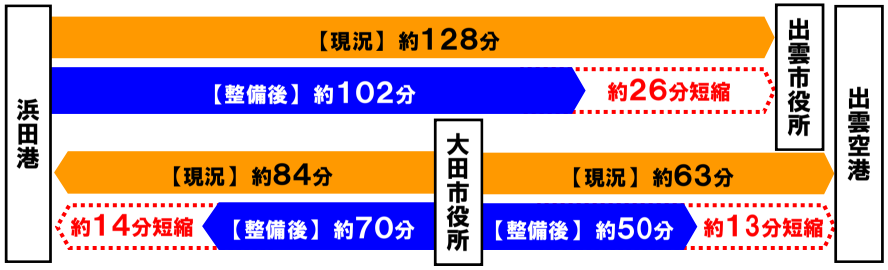
➢アクセスルートが**国道9号1本しかないことは、港の利用が敬遠される理由**となる。
➢山陰道の整備により、**リードタイムの短縮や輸送コストの削減**が進めば、**利用企業の増加、ひいては定期航路の拡大**につながり、**さらなる利用促進が期待**できる。

浜田港からの輸出入

■主な輸出入先及び品目
（100TEU以上）

資料：H20年全国輸出入コンテナ貨物流動調査
※貨物の容量を表す単位、1TEUは20ﾌｨｰﾄｺﾝﾃﾅの1個分

期待される道路の役割（効果）〔移動時間短縮の予測〕



※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

4. 地域から期待される道路の役割（効果）

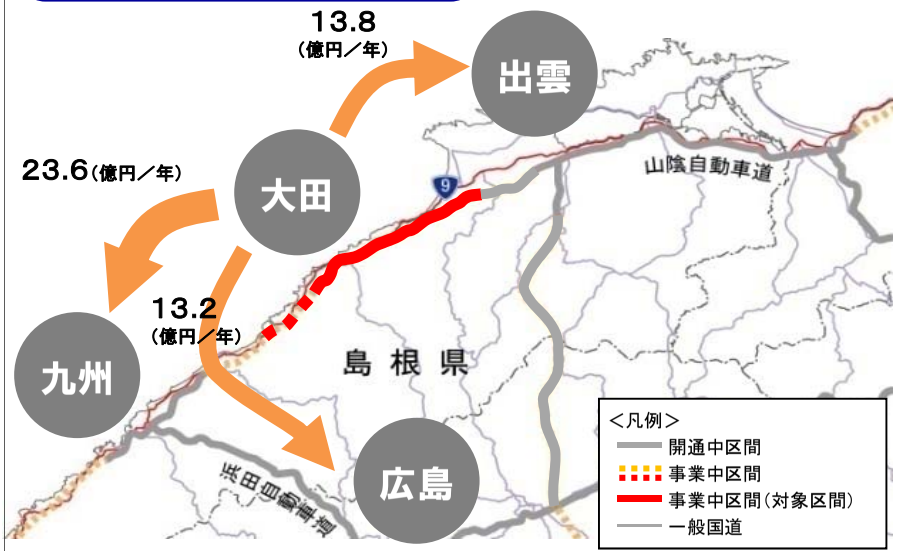
課題⑧：物流ネットワークの形成

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

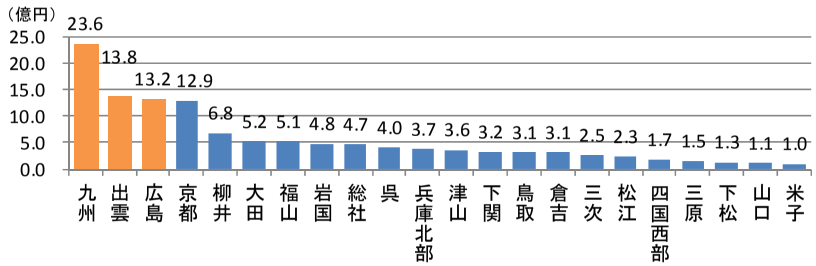
●石州瓦（せきしゅうがわら）に代表される大田の「窯業・土石製品製造業」は地域の経済を支える重要な産業であり、その製品は主に九州や出雲・広島方面へと出荷されている。
●本道路を含む島根県内の山陰道が整備されると、東西を結ぶ路線が国道9号とあわせ2本確保されるとともに、想定した時刻通りの製品出荷が可能となり、リスクが軽減されるとともに物流コストの削減につながる。

瓦等の窯業品輸送方面・金額

「その他の窯業品（レンガ，瓦，耐火ボード等）」を対象に集計

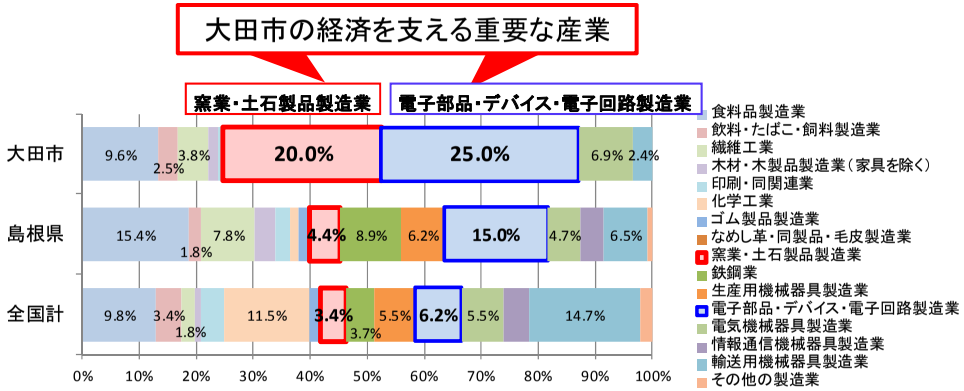


【瓦等の窯業品輸送方面・金額】



資料：輸送貨物の価値に着目した貨物流動分析の基礎データ（国土政策総合研究所；H22年度）
※大田；大田市・邑智郡、出雲：出雲市・飯南町・雲南市の一部、広島：広島市・廿日市市・山県郡、安芸郡
※H17年物流センサス品類分類表内「その他の窯業品（レンガ，瓦，耐火ボード等）」を対象

大田市の製造業付加価値額の割合



資料：平成21年工業統計調査

～事業者の声～

・大田の工場でしか生産されていないものもあるため、国道9号に充分な迂回路が無いことが不安である。
・山陰道の整備により、迂回路の選択肢が増えることを期待している。

（H25事業所ヒアリング結果）

期待される道路の役割（効果）〔移動時間短縮の予測〕

※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV＝70km/h、その他はH22道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

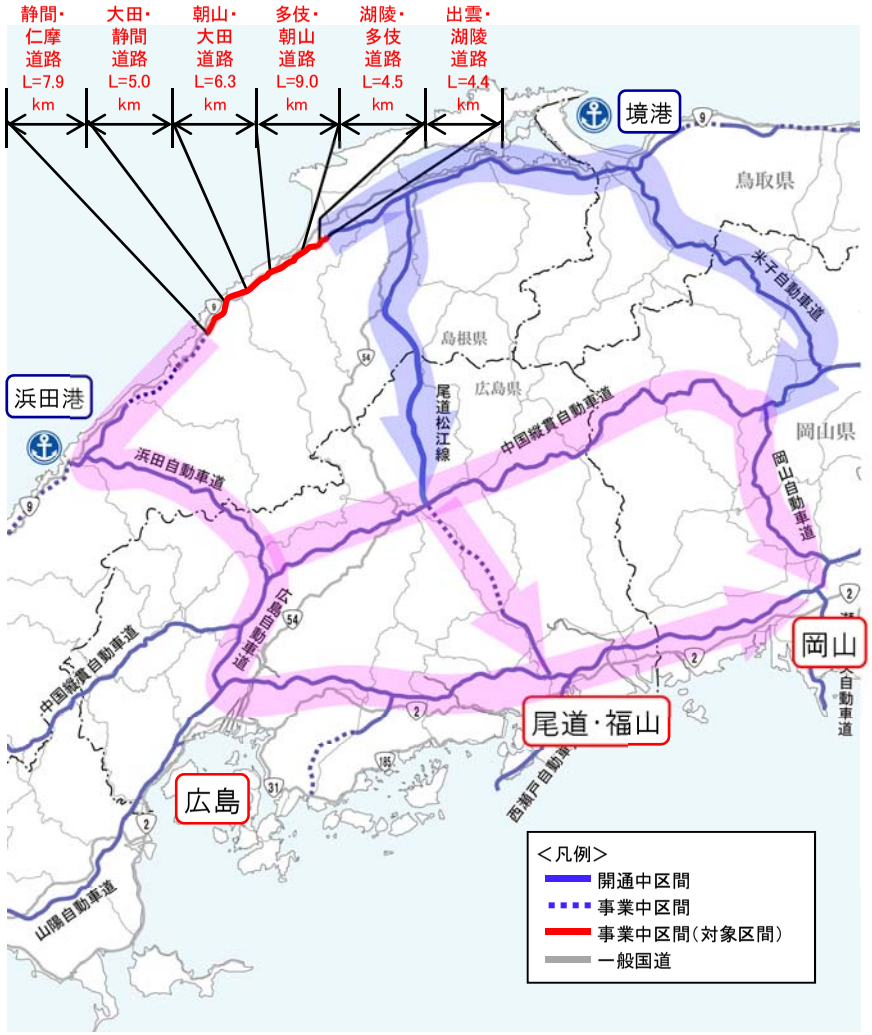
4. 地域から期待される道路の役割（効果）

課題⑨：大規模災害発生時に代替可能な道路ネットワークの形成

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●大規模災害発生時において円滑かつ迅速な避難・救援ルートを確保するため、被災状況に応じて柔軟に代替可能なネットワークが形成されていることが望ましい。
●中国地方において、広域なネットワークを担う山陰道の整備により、災害発生時の避難・救援ルートの確保が期待される。

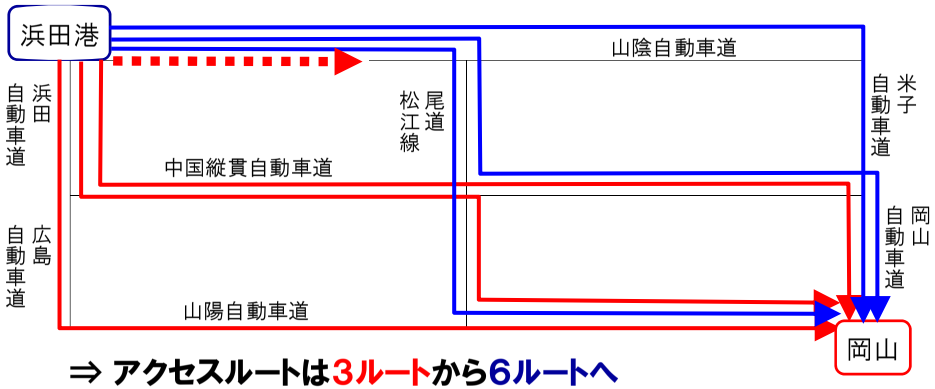
東南海・南海地震発生時の物資輸送ルートの考え方



アクセスルートの多様化

期待される道路の役割（効果）
〔アクセスルート数の増加〕

例：浜田港から岡山



⇒ アクセスルートは3ルートから6ルートへ

※尾道松江線は世羅IC～三次東JCT・IC整備後（H26年度予定）を想定。
また、いずれの場合も迂回をしないと仮定。

～中国地方知事会からの要望～

山陰道については、全体延長に対する開通済区間の割合が4割にも届かず、極めて整備が遅れており、山陽側の高速道路と一体となったダブルネットワークを構築するためにも、未着手区間の早期の事業着手とともに、事業中区間の一層の整備促進を図り、早期に全線開通を実現すること。（平成24年6月1日　中国地方知事会）

～島根県赤十字血液センターの声～

●輸血用血液製剤の精製は広島県に依存しており、輸送距離が長いことから、高速道路は重要な輸送ルートとなっている。
●山陰自動車道が整備されれば、有事において、高速道路でアクセスできるルートの選択肢が増えるため、早急な輸送ができる可能性が高まると期待している。

5. コスト増額に関する資料

多伎・朝山道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

①汚染土壌を2重の遮水シートにより盛土内に封じ込める土壌汚染対策範囲が増加したことによるコスト増大
②細粒化する土質で盛土材として適さない性状であることから、盛土材改良を追加することによるコスト増大

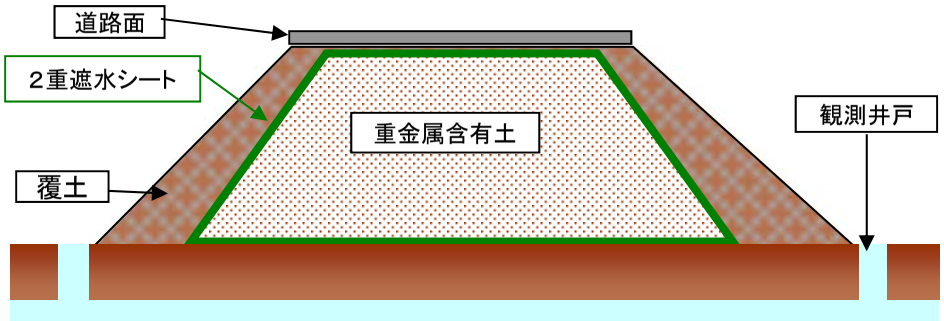
①土壌汚染対策

【2重の遮水シートによる封じ込め】

汚染土壌を掘削し、2重の遮水シートにより盛土内に封じ込める。

- 当初設計の地質調査結果から自然由来の土壌汚染が確認され土壌汚染対策費を計上
- 切土法面対策のボーリング調査を行った際に汚染土（ひ素、カドミウム等含有）が広範囲に分布していることを確認
- 現場外に運搬することは不可能であること、近隣に飲用水や農業用水の使用があるため、汚染土からの漏れだし等のリスク等を勘案し、遮水シートを2重にし盛土内へ封じ込め

（V＝約14万m3増）



土壌汚染対策範囲の増加

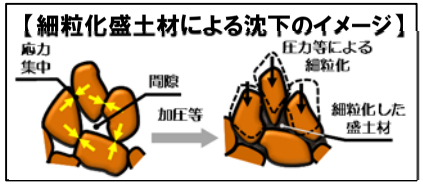
⇒約33億円増額

②盛土材改良

【盛土材（流用土）の土質改良】

セメント系の土質固化材による盛土材の土質改良。

- 当初設計の地質調査結果により、盛土材に流用する土質が良質であると判断し、無改良での流用を想定
- 本線部の切土工事に着手したところ、流用土が細粒化する脆弱な状態であることが判明
- 細粒化材料を用いて盛土を構築した場合、土性が悪化し、運搬車両の走行性に問題をきたすほか、盛土完了後の沈下の恐れがあることから、土質改良が必要となった　（V＝約130万m3）



盛土材改良の追加

⇒約77億円増額

5. コスト増額に関する資料

朝山・大田道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

①試掘等の結果、当初の想定以上に遺物が広範囲に散在しているため、本掘調査範囲が増加することによるコスト増大
②細粒化する土質で盛土材として適さない性状であることから、盛土材改良を追加することによるコスト増大

①文化財調査

- 平成１９年度の事業化時点では、既存文献や島根県への意見照会等により調査面積を想定
- 平成２２年度からの現地踏査（分布調査）や試掘調査を実施した結果から、広範囲に遺物が散在していることが判明し、本掘調査面積が増加となった

当　初　・・・　43千㎡　　見直し　・・・　215千㎡

試掘調査

本掘調査（古墳群）

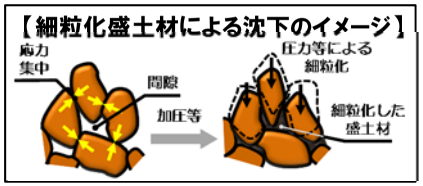
文化財調査（本掘調査対象）面積の増加
⇒約35億円増額

②盛土材改良

【盛土材（流用土）の土質改良】

セメント系の土質固化材による盛土材の土質改良。

- 当初設計の地質調査結果により、盛土材に流用する土質が良質であると判断し、無改良での流用を想定
- 本線部の切土工事に着手したところ、流用土が細粒化する脆弱な状態であることが判明。
- 細粒化材料を用いて盛土を構築した場合、土性が悪化し、運搬車両の走行性に問題をきたすほか、盛土完了後の沈下の恐れがあることから、土質改良が必要となった。　（V＝約14万m3）



盛土材改良の追加
⇒約8億円増額

6. 事業の効果
（1）出雲・湖陵道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		148	124
	事業費	137	113
	維持管理費	11	11
便益額（B）		434	434
	走行時間短縮便益	363	363
	走行経費減少便益	46	46
	交通事故減少便益	26	26
費用便益比		2.9	3.5

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果[約1.9千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋0.87億円】※
　出雲・湖陵道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量：約7.5千ﾄﾝ/年（約0.4%削減）、SPM排出量：約1.0千ﾄﾝ/年（約1.0%削減）]
③重症患者の救急救命[例）大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分]
④物流効率化の支援[例）大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用（C）	3便益（B）	その他の便益	費用対効果（B/C） （　）内は残事業B/C
18,200台/日	約160億円	148億円	434億円	＋α	2.9（3.5）＋α

※基準年：H25年

6. 事業の効果
（２）湖陵・多伎道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		168	163
	事業費	158	152
	維持管理費	10	10
便益額（B）		405	405
	走行時間短縮便益	325	325
	走行経費減少便益	49	49
	交通事故減少便益	32	32
費用便益比		2.4	2.5

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果[約1.1千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋0.50 億円】※
湖陵・多伎道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量:約3.6千ﾄﾝ/年(約0.2%削減)、SPM排出量:約0.8千ﾄﾝ/年(約0.6%削減)]
③重症患者の救急救命[例)大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分]
④物流効率化の支援[例)大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用(C)	３便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) （　）内は残事業B/C
17,000台/日	約200億円	168億円	405億円	＋α	2.4（2.5）＋α

※基準年:H25年

6. 事業の効果
（3）多伎・朝山道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		395	250
	事業費	375	229
	維持管理費	20	20
便益額（B）		691	691
	走行時間短縮便益	542	542
	走行経費減少便益	102	102
	交通事故減少便益	47	47
費用便益比		1.7	2.8

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果［約5.9千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋2.85億円】※
　多伎・朝山道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約18.9千ﾄﾝ/年（約0.5%削減）、SPM排出量：約1.8千ﾄﾝ/年（約0.9%削減）］
③重症患者の救急救命［例）大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分］
④物流効率化の支援［例）大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用（C）	3便益（B）	その他の便益	費用対効果（B/C） （　）内は残事業B/C
16,600台/日	約410億円	395億円	691億円	＋α	1.7（2.8）＋α

※基準年：H25年

6. 事業の効果
（4）朝山・大田道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		242	170
	事業費	226	154
	維持管理費	16	16
便益額（B）		583	583
	走行時間短縮便益	457	457
	走行経費減少便益	95	95
	交通事故減少便益	31	31
費用便益比		**2.4**	**3.4**

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果［約7.7千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋3.70億円】※
朝山・大田道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約25.3千ﾄﾝ/年（約0.7%削減）、SPM排出量：約1.8千ﾄﾝ/年（約1.0%削減）］
③重症患者の救急救命［例）大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分］
④物流効率化の支援［例）大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用（C）	3便益（B）	その他の便益	費用対効果（B/C） （　）内は残事業B/C
16,000台/日	約253億円	242億円	583億円	＋α	2.4（3.4）＋α

※基準年：H25年

6. 事業の効果
（5）大田・静間道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		173	167
	事業費	162	157
	維持管理費	11	11
便益額（B）		375	375
	走行時間短縮便益	278	278
	走行経費減少便益	71	71
	交通事故減少便益	25	25
費用便益比		2.2	2.2

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果［約6.0千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋2.61億円】※
　大田・静間道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約17.8千ﾄﾝ/年（約0.6%削減）、SPM排出量：約1.4千ﾄﾝ/年（約0.8%削減）］
③重症患者の救急救命［例）江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分］
④物流効率化の支援［例）大田市～浜田港までの所要時間短縮約14分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用（C）	３便益（B）	その他の便益	費用対効果（B/C） （　）内は残事業B/C
14,700台/日	約205億円	173億円	375億円	＋α	2.2（2.2）＋α

※基準年：H25年

6. 事業の効果
（6）静間・仁摩道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		207	180
	事業費	188	161
	維持管理費	19	19
便益額（B）		385	385
	走行時間短縮便益	276	276
	走行経費減少便益	78	78
	交通事故減少便益	31	31
費用便益比		**1.9**	**2.1**

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を考慮した効果［約5.5千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋2.53億円】※
　静間・仁摩道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約14.4ﾄﾝ/年（約0.5%削減）、SPM排出量：約1.2千ﾄﾝ/年（約0.8%削減）］
③重症患者の救急救命［例）江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分］
④物流効率化の支援［例）大田市～浜田港までの所要時間短縮約14分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用（C）	3便益（B）	その他の便益	費用対効果（B/C） （　）内は残事業B/C
16,100台/日	約220億円	207億円	385億円	＋α	1.9（2.1）＋α

※基準年：H25年

7. 今後の対応方針(原案)
(1)出雲・湖陵道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

1. 再評価の視点
①事業の必要性の視点
1)事業を巡る社会情勢等の変化

◇平成21年11月に山陰自動車道(斐川IC～出雲IC)が開通したことにより、出雲市街を通過する交通の転換が図られ、隣接する当該道路の整備による高速ネットワークの確保が急務となっている。

2)事業の効果

◇費用便益比(B/C)=2.9(事業全体)　3.5(残事業)
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果[約1.9千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋0.87億円】※
出雲・湖陵道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量:約7.5千ﾄﾝ/年(約0.4%削減)、SPM排出量:約1.0千ﾄﾝ/年(約1.0%削減)]
③重症患者の救急救命[例)大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分]
④物流効率化の支援[例)大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3)事業の進捗状況

◇平成25年3月末時点で、用地買収は4%完了している。

②事業の進捗見込み
◇現在、用地買収及び工事等を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果
対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号出雲・湖陵道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】
◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

7. 今後の対応方針（原案）
（２）湖陵・多伎道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

１．再評価の視点

①事業の必要性の視点

1）事業を巡る社会情勢等の変化

◇平成24年度に事業化された新規区間である。前後の出雲・湖陵道路、多伎・朝山道路を連絡し、出雲市街を通過する交通の転換が図られ、高速ネットワークの確保が可能となる。

2）事業の効果

◇費用便益比（B/C）= 2.4（事業全体）　2.5（残事業）
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果［約1.1千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋0.50 億円】※
湖陵・多伎道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約3.6千ﾄﾝ/年（約0.2%削減）、SPM排出量：約0.8千ﾄﾝ/年（約0.6%削減）］
③重症患者の救急救命［例）大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分］
④物流効率化の支援［例）大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3）事業の進捗状況

◇平成24年度に事業化し、現在、調査設計を推進している。

②事業の進捗見込み

◇現在、調査設計を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

２．県への意見照会結果

対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号湖陵・多伎道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

7. 今後の対応方針(原案)
(3)多伎・朝山道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1)事業を巡る社会情勢等の変化

◇並行する国道9号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故や災害による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

2)事業の効果

◇費用便益比(B/C)=1.7(事業全体)　2.8(残事業)
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果[約5.9千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋2.85億円】※
多伎・朝山道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量:約18.9千ﾄﾝ/年(約0.5%削減)、SPM排出量:約1.8千ﾄﾝ/年(約0.9%削減)]
③重症患者の救急救命[例)大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分]
④物流効率化の支援[例)大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3)事業の進捗状況

◇平成25年3月末時点で、用地買収は90%完了している。また、工事は17%完了している。

②事業の進捗見込み

◇平成30年度の開通を目指し用地買収・工事を推進している。(用地取得及び猛禽類保全対策が速やかに完了する場合)

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号多伎・朝山道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、既に明示されている平成３０年度での確実な供用を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。　なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

7. 今後の対応方針(原案)
(4)朝山・大田道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

1. 再評価の視点
①事業の必要性の視点

1)事業を巡る社会情勢等の変化

◇並行する国道9号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

2)事業の効果

◇費用便益比(B/C)=2.4(事業全体)　3.4(残事業)
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果[約7.7千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋3.70億円】※
朝山・大田道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量:約25.3千ﾄﾝ/年(約0.7%削減)、SPM排出量:約1.8千ﾄﾝ/年(約1.0%削減)]
③重症患者の救急救命[例)大田市～県立中央病院までの所要時間短縮約5分]
④物流効率化の支援[例)大田市～出雲空港までの所要時間短縮約13分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3)事業の進捗状況

◇平成25年3月末時点で、用地買収は63%完了している。また、工事は10%完了している。

②事業の進捗見込み

◇平成30年度の開通を目指し用地買収・工事を推進している。(用地取得及び猛禽類保全対策が速やかに完了する場合)

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号朝山・大田道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、既に明示されている平成３０年度での確実な供用を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。　なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

7. 今後の対応方針（原案）
（5）大田・静間道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

1．再評価の視点

①事業の必要性の視点

1）事業を巡る社会情勢等の変化

◇平成24年度に事業化された新規区間であり、前後の朝山・大田道路、静間・仁摩道路を連絡し、大田市街を通過する交通の転換が図られ、高速ネットワークの確保が可能となる。また、並行する国道9号では、主要な交差点において交通事故も多発している。

2）事業の効果

◇費用便益比（B/C）= 2.2（事業全体）　2.2（残事業）
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果［約6.0千ﾄﾝ/年のCO2削減］【＋2.61億円】※
大田・静間道路整備に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
②沿道環境の改善［NOX排出量：約17.8千ﾄﾝ/年（約0.6%削減）、SPM排出量：約1.4千ﾄﾝ/年（約0.8%削減）］
③重症患者の救急救命［例）江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分］
④物流効率化の支援［例）大田市～浜田港までの所要時間短縮約14分］

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3）事業の進捗状況

◇平成24年度に事業化し、現在、調査設計を推進している。

②事業の進捗見込み

◇現在、調査設計を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2．県への意見照会結果

対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号大田・静間道路については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

7. 今後の対応方針(原案)
(6)静間・仁摩道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1)事業を巡る社会情勢等の変化

◇並行する国道9号では、主要な交差点において交通事故も多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

2)事業の効果

◇費用便益比(B/C)=1.9(事業全体)　2.1(残事業)
◇道路の役割
①環境への影響を考慮した効果[約5.5千ﾄﾝ/年のCO2削減]【＋2.53億円】※
静間・仁摩道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
②沿道環境の改善[NOX排出量:約14.4ﾄﾝ/年(約0.5%削減)、SPM排出量:約1.2千ﾄﾝ/年(約0.8%削減)]
③重症患者の救急救命[例)江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分]
④物流効率化の支援[例)大田市～浜田港までの所要時間短縮約14分]

※【　】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

3)事業の進捗状況

◇平成25年3月末時点で、用地買収は5%完了している。

②事業の進捗見込み

◇現在、用地買収及び工事等を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

対応方針（原案）については妥当である。
一般国道９号静間・仁摩道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。
また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。　なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

＜参考資料＞

（１）出雲・湖陵道路

一般国道9号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

◆前回評価時との比較

	出雲・湖陵道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	前回評価時 （平成22年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=4.4km	L=4.4km	
計画交通量	約6,700台／日	約18,200台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約160億円	約160億円	
総費用 （C）	約136億円	約148億円	基準年の変更（H22基準からH25基準）
総便益 （B）	約196億円	約434億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H22基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	1.4	2.9	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

＜参考資料＞

（２）湖陵・多伎道路

一般国道９号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

◆前回評価時との比較

	湖陵・多伎道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	採択時評価 （平成24年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=4.5km	L=4.5km	
計画交通量	約16,700台／日	約17,000台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約200億円	約200億円	
総費用 （C）	約160億円	約168億円	基準年の変更（H23基準からH25基準）
総便益 （B）	約349億円	約405億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H23基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	2.2	2.4	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

＜参考資料＞

（３）多伎・朝山道路

◆前回評価時との比較

	多伎・朝山道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	前回評価時 （平成22年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=9.0km	L=9.0km	
計画交通量	約15,600台／日	約16,600台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約300億円	約410億円	・土質汚染対策範囲の増加 ・盛土材改良の追加 による事業費増加
総費用 （C）	約265億円	約395億円	・基準年の変更（H22基準からH25基準） ・総事業費の増額による変更
総便益 （B）	約403億円	約691億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H22基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	1.5	1.7	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

＜参考資料＞

（４）朝山・大田道路

◆前回評価時との比較

	朝山・大田道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	前回評価時 （平成22年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=6.3km	L=6.3km	
計画交通量	約15,800台／日	約16.000台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約210億円	約253億円	・文化財調査面積の増加 ・盛土材改良の追加 による事業費増加
総費用 （C）	約181億円	約242億円	・基準年の変更（H22基準からH25基準） ・総事業費の増額による変更
総便益 （B）	約438億円	約583億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H22基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	2.4	2.4	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

＜参考資料＞

（5）大田・静間道路

◆前回評価時との比較

	大田・静間道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	採択時評価 （平成24年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=5.0km	L=5.0km	
計画交通量	約14,500台／日	約14,700台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約205億円	約205億円	
総費用 （C）	約168億円	約173億円	基準年の変更（H23基準からH25基準）
総便益 （B）	約330億円	約375億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H23基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	2.0	2.2	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

＜参考資料＞

（６）静間・仁摩道路

一般国道９号
出雲・湖陵道路　湖陵・多伎道路
多伎・朝山道路　朝山・大田道路
大田・静間道路　静間・仁摩道路

◆前回評価時との比較

	静間・仁摩道路		備　考 （前回評価時からの主な変更点）
	前回評価時 （平成22年）	今回評価時 （平成25年）	
事業諸元	L=7.9km	L=7.9km	
計画交通量	約14,400台／日	約16,100台／日	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約220億円	約220億円	
総費用 （C）	約187億円	約207億円	基準年の変更（H22基準からH25基準）
総便益 （B）	約231億円	約385億円	・ネットワーク設定の見直し（H24年度新規事業化箇所等を考慮） ・基準年の変更（H22基準からH25基準）
費用対効果 （B/C）	1.2	1.9	総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

一般国道９号出雲・湖陵道路

一般国道９号湖陵・多伎道路

一般国道９号多伎・朝山道路

一般国道９号朝山・大田道路

一般国道９号大田・静間道路

一般国道９号静間・仁摩道路

〔費用便益比（Ｂ／Ｃ）算定等資料〕

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　出雲・湖陵道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■　便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.9（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝286億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝11.4%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝3.5（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝310億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝13.9%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	●　現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（出雲・湖陵道路［出雲市知井宮町～出雲市湖陵町三部］） 当該区間の渋滞損失削減時間：549千人・時間/年（18,143千人・時間/年→17,593千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：3.0%削減
		□　現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□　現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■　現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	一畑バス（小田線）1日3便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		□　新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■　第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる（63分⇒50分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	□　重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■　農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	和江漁港・五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
		□　現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
１．活力	都市の再生	□　都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□　広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□　市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□　中心市街地内で行う事業である	
		□　幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□　DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□　対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	出雲市～大田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる（50分⇒44分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
２．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	大田市から島根県立中央病院へのアクセス向上が見込まれる（43分⇒38分）※山陰道が全線整備された場合の値

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：出雲市～大田市間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.9千t／年、排出削減率：約0.2%削減（整備なし:784千t／年⇒整備あり：782千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：7.5t／年、排出削減率：約0.4%削減（整備なし:1,810t／年⇒整備あり：1,803t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.0t／年、排出削減率：約1.0%削減（整備なし:98t／年⇒整備あり：97t／年）
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	H21道路環境センサス1017-1（出雲市神西沖町２０７６）において、夜間騒音レベルが７１ｄＢと夜間要請限度の７０ｄＢを超過
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8)」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	山陰自動車道（斐川～出雲）、湖陵・多伎道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」　平成24年3月 21世紀出雲のグランドデザイン　平成17年12月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	出雲・湖陵道路	L=4.4km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
18,200	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	153億円	33億円	186億円
うち残事業分	131億円	33億円	163億円
基準年における現在価値（C）	137億円	11億円	148億円
うち残事業分	113億円	11億円	124億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成32年度			
単年便益（初年便益）	22億円	2.8億円	1.7億円	26億円
基準年における現在価値（B）	363億円	46億円	26億円	434億円
うち残事業分	363億円	46億円	26億円	434億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	2.9
経済的純現在価値（事業全体）	286億円
経済的内部収益率（事業全体）	11.4%
費用便益比（残事業）	3.5
経済的純現在価値（残事業）	310億円
経済的内部収益率（残事業）	13.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	18,200	±１０％	2.6 ～ 3.3
事業費	153億円	±１０％	2.7 ～ 3.2
事業期間	12年	±２０％	2.7 ～ 3.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	18,200	±１０％	3.1 ～ 3.9
事業費	131億円	±１０％	3.2 ～ 3.8
事業期間	6年	±２０％	3.2 ～ 3.8

交通状況の変化

様式－３①

事業名：出雲・湖陵道路（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	18,200
		走行時間※2	[分]	－	4
：4.4km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	13.72
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	11,300	9,200
		走行時間	[分]	6	6
	：4.0km	走行時間費用	[億円/年]	11.91	9.34
	（主）湖陵掛合線	交通量	[台/日]	8,400	3,000
		走行時間	[分]	4	4
	：3.2km	走行時間費用	[億円/年]	7.38	2.06
	（県）多伎江南出雲線	交通量	[台/日]	11,900	
		走行時間	[分]	8	5
	：3.1km	走行時間費用	[億円/年]	19.80	0.02
	広域農道	交通量	[台/日]	2,200	
		走行時間	[分]	9	9
	：5.0km	走行時間費用	[億円/年]	3.59	
	（県）出雲インター線	交通量	[台/日]	14,600	16,700
		走行時間	[分]	2	2
	：2.4km	走行時間費用	[億円/年]	6.62	7.77
③その他道路合計：1372.1km		走行時間費用	[億円/年]	2,027.68	2,021.69

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：1394.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,076.98	2,054.60	22.38

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）

交通状況の変化

様式－３①

事業名：出雲・湖陵道路（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	18,200
		走行時間※2	[分]	－	4
：4.4km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	13.72
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	11,300	9,200
		走行時間	[分]	6	6
	：4.0km	走行時間費用	[億円/年]	11.91	9.34
	（主）湖陵掛合線	交通量	[台/日]	8,400	3,000
		走行時間	[分]	4	4
	：3.2km	走行時間費用	[億円/年]	7.38	2.06
	（県）多伎江南出雲線	交通量	[台/日]	11,900	
		走行時間	[分]	8	5
	：3.1km	走行時間費用	[億円/年]	19.80	0.02
	広域農道	交通量	[台/日]	2,200	
		走行時間	[分]	9	9
	：5.0km	走行時間費用	[億円/年]	3.59	
	（県）出雲インター線	交通量	[台/日]	14,600	16,700
		走行時間	[分]	2	2
	：2.4km	走行時間費用	[億円/年]	6.62	7.77
③その他道路合計：1372.1km		走行時間費用	[億円/年]	2,027.68	2,021.69

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：1394.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,076.98	2,054.60	22.38

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）

様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：出雲・湖陵道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （ H17センサス ）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定）		■

事業名：出雲・湖陵道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：出雲・湖陵道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	□
		標準投資パターンを採用	□
		その他（概略事業計画による値を採用）	■
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.16	4.4	0.69

箇所名：出雲・湖陵道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−12年目	H 20	1.2167	96.8	0.81	0.94		
−11年目	H 21	1.1699	95.6	1.06	1.19		
−10年目	H 22	1.1249	93.7	2.67	2.95		
−9年目	H 23	1.0816	92.1	1.81	1.96		
−8年目	H 24	1.0400	92.1	3.87	4.02		
−7年目	H 25	1.0000	92.1	12.46	12.46		
−6年目	H 26	0.9615	92.1	12.53	12.05		
−5年目	H 27	0.9246	92.1	25.22	23.32		
−4年目	H 28	0.8890	92.1	29.49	26.22		
−3年目	H 29	0.8548	92.1	27.79	23.76		
−2年目	H 30	0.8219	92.1	23.27	19.13		
−1年目	H 31	0.7903	92.1	12.31	9.73		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1			0.66	0.50
1年目	H 33	0.7307	92.1			0.66	0.48
2年目	H 34	0.7026	92.1			0.66	0.46
3年目	H 35	0.6756	92.1			0.66	0.44
4年目	H 36	0.6496	92.1			0.66	0.43
5年目	H 37	0.6246	92.1			0.66	0.41
6年目	H 38	0.6006	92.1			0.66	0.39
7年目	H 39	0.5775	92.1			0.66	0.38
8年目	H 40	0.5553	92.1			0.66	0.36
9年目	H 41	0.5339	92.1			0.66	0.35
10年目	H 42	0.5134	92.1			0.66	0.34
11年目	H 43	0.4936	92.1			0.66	0.32
12年目	H 44	0.4746	92.1			0.66	0.31
13年目	H 45	0.4564	92.1			0.66	0.30
14年目	H 46	0.4388	92.1			0.66	0.29
15年目	H 47	0.4220	92.1			0.66	0.28
16年目	H 48	0.4057	92.1			0.66	0.27
17年目	H 49	0.3901	92.1			0.66	0.26
18年目	H 50	0.3751	92.1			0.66	0.25
19年目	H 51	0.3607	92.1			0.66	0.24
20年目	H 52	0.3468	92.1			0.66	0.23
21年目	H 53	0.3335	92.1			0.66	0.22
22年目	H 54	0.3207	92.1			0.66	0.21
23年目	H 55	0.3083	92.1			0.66	0.20
24年目	H 56	0.2965	92.1			0.66	0.19
25年目	H 57	0.2851	92.1			0.66	0.19
26年目	H 58	0.2741	92.1			0.66	0.18
27年目	H 59	0.2636	92.1			0.66	0.17
28年目	H 60	0.2534	92.1			0.66	0.17
29年目	H 61	0.2437	92.1			0.66	0.16
30年目	H 62	0.2343	92.1			0.66	0.15
31年目	H 63	0.2253	92.1			0.66	0.15
32年目	H 64	0.2166	92.1			0.66	0.14
33年目	H 65	0.2083	92.1			0.66	0.14
34年目	H 66	0.2003	92.1			0.66	0.13
35年目	H 67	0.1926	92.1			0.66	0.13
36年目	H 68	0.1852	92.1			0.66	0.12
37年目	H 69	0.1780	92.1			0.66	0.12
38年目	H 70	0.1712	92.1			0.66	0.11
39年目	H 71	0.1646	92.1			0.66	0.11
40年目	H 72	0.1583	92.1			0.66	0.10
41年目	H 73	0.1522	92.1			0.66	0.10
42年目	H 74	0.1463	92.1			0.66	0.10
43年目	H 75	0.1407	92.1			0.66	0.09
44年目	H 76	0.1353	92.1			0.66	0.09
45年目	H 77	0.1301	92.1			0.66	0.09
46年目	H 78	0.1251	92.1			0.66	0.08
47年目	H 79	0.1203	92.1			0.66	0.08
48年目	H 80	0.1157	92.1			0.66	0.08
49年目	H 81	0.1112	92.1	−10.17	−1.13	0.66	0.07
合　計				143.12	136.59	32.86	11.16

単純事業費計	153.29	32.86

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.16	4.4	0.69

箇所名：出雲・湖陵道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−6年目	H 26	0.9615	92.1	12.53	12.05		
−5年目	H 27	0.9246	92.1	25.22	23.32		
−4年目	H 28	0.8890	92.1	29.49	26.22		
−3年目	H 29	0.8548	92.1	27.79	23.76		
−2年目	H 30	0.8219	92.1	23.27	19.13		
−1年目	H 31	0.7903	92.1	12.31	9.73		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1			0.66	0.50
1年目	H 33	0.7307	92.1			0.66	0.48
2年目	H 34	0.7026	92.1			0.66	0.46
3年目	H 35	0.6756	92.1			0.66	0.44
4年目	H 36	0.6496	92.1			0.66	0.43
5年目	H 37	0.6246	92.1			0.66	0.41
6年目	H 38	0.6006	92.1			0.66	0.39
7年目	H 39	0.5775	92.1			0.66	0.38
8年目	H 40	0.5553	92.1			0.66	0.36
9年目	H 41	0.5339	92.1			0.66	0.35
10年目	H 42	0.5134	92.1			0.66	0.34
11年目	H 43	0.4936	92.1			0.66	0.32
12年目	H 44	0.4746	92.1			0.66	0.31
13年目	H 45	0.4564	92.1			0.66	0.30
14年目	H 46	0.4388	92.1			0.66	0.29
15年目	H 47	0.4220	92.1			0.66	0.28
16年目	H 48	0.4057	92.1			0.66	0.27
17年目	H 49	0.3901	92.1			0.66	0.26
18年目	H 50	0.3751	92.1			0.66	0.25
19年目	H 51	0.3607	92.1			0.66	0.24
20年目	H 52	0.3468	92.1			0.66	0.23
21年目	H 53	0.3335	92.1			0.66	0.22
22年目	H 54	0.3207	92.1			0.66	0.21
23年目	H 55	0.3083	92.1			0.66	0.20
24年目	H 56	0.2965	92.1			0.66	0.19
25年目	H 57	0.2851	92.1			0.66	0.19
26年目	H 58	0.2741	92.1			0.66	0.18
27年目	H 59	0.2636	92.1			0.66	0.17
28年目	H 60	0.2534	92.1			0.66	0.17
29年目	H 61	0.2437	92.1			0.66	0.16
30年目	H 62	0.2343	92.1			0.66	0.15
31年目	H 63	0.2253	92.1			0.66	0.15
32年目	H 64	0.2166	92.1			0.66	0.14
33年目	H 65	0.2083	92.1			0.66	0.14
34年目	H 66	0.2003	92.1			0.66	0.13
35年目	H 67	0.1926	92.1			0.66	0.13
36年目	H 68	0.1852	92.1			0.66	0.12
37年目	H 69	0.1780	92.1			0.66	0.12
38年目	H 70	0.1712	92.1			0.66	0.11
39年目	H 71	0.1646	92.1			0.66	0.11
40年目	H 72	0.1583	92.1			0.66	0.10
41年目	H 73	0.1522	92.1			0.66	0.10
42年目	H 74	0.1463	92.1			0.66	0.10
43年目	H 75	0.1407	92.1			0.66	0.09
44年目	H 76	0.1353	92.1			0.66	0.09
45年目	H 77	0.1301	92.1			0.66	0.09
46年目	H 78	0.1251	92.1			0.66	0.08
47年目	H 79	0.1203	92.1			0.66	0.08
48年目	H 80	0.1157	92.1			0.66	0.08
49年目	H 81	0.1112	92.1	−8.87	−0.99	0.66	0.07
合　計				121.74	113.21	32.86	11.16

単純事業費計	130.61	32.86

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：出雲・湖陵道路（事業全体）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率（A）	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	9.02	2.54	10.24	21.80	16.56	1.51	0.27	1.02	2.80	2.13	1.66	1.26	26.26	19.96
1年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.99	2.52	10.35	21.86	15.97	1.51	0.27	1.03	2.80	2.05	1.66	1.21	26.32	19.23
2年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.95	2.50	10.47	21.92	15.40	1.50	0.27	1.04	2.81	1.97	1.65	1.16	26.38	18.53
3年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.92	2.48	10.58	21.97	14.84	1.50	0.27	1.05	2.81	1.90	1.65	1.11	26.43	17.86
4年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.88	2.46	10.69	22.03	14.31	1.49	0.26	1.06	2.81	1.83	1.64	1.07	26.49	17.21
5年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.85	2.44	10.80	22.09	13.80	1.48	0.26	1.07	2.82	1.76	1.64	1.02	26.55	16.58
6年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.81	2.42	10.92	22.15	13.30	1.48	0.26	1.08	2.82	1.69	1.63	0.98	26.60	15.98
7年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.78	2.40	11.03	22.21	12.82	1.47	0.26	1.10	2.82	1.63	1.63	0.94	26.66	15.39
8年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.74	2.38	11.14	22.27	12.36	1.47	0.26	1.11	2.83	1.57	1.62	0.90	26.72	14.83
9年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.71	2.36	11.26	22.32	11.92	1.46	0.25	1.12	2.83	1.51	1.62	0.86	26.77	14.29
10年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.67	2.34	11.37	22.38	11.49	1.45	0.25	1.13	2.83	1.45	1.61	0.83	26.83	13.77
11年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	8.58	2.33	11.37	22.28	11.00	1.44	0.25	1.13	2.82	1.39	1.60	0.79	26.70	13.18
12年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	8.50	2.31	11.38	22.18	10.53	1.42	0.25	1.13	2.80	1.33	1.59	0.75	26.57	12.61
13年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	8.41	2.29	11.38	22.09	10.08	1.41	0.25	1.13	2.79	1.27	1.57	0.72	26.45	12.07
14年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	8.32	2.28	11.39	21.99	9.65	1.40	0.24	1.13	2.77	1.22	1.56	0.69	26.32	11.55
15年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	8.23	2.26	11.39	21.89	9.24	1.38	0.24	1.13	2.75	1.16	1.55	0.65	26.19	11.05
16年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	8.15	2.25	11.40	21.79	8.84	1.37	0.24	1.13	2.74	1.11	1.54	0.62	26.06	10.57
17年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	8.06	2.23	11.40	21.69	8.46	1.35	0.24	1.13	2.72	1.06	1.52	0.59	25.94	10.12
18年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.97	2.22	11.40	21.59	8.10	1.34	0.24	1.13	2.71	1.02	1.51	0.57	25.81	9.68
19年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.88	2.20	11.41	21.49	7.75	1.32	0.24	1.13	2.69	0.97	1.50	0.54	25.68	9.26
20年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.80	2.19	11.41	21.39	7.42	1.31	0.23	1.13	2.67	0.93	1.48	0.51	25.55	8.86
21年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.71	2.17	11.42	21.30	7.10	1.29	0.23	1.13	2.66	0.89	1.47	0.49	25.43	8.48
22年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.62	2.15	11.42	21.20	6.80	1.28	0.23	1.13	2.64	0.85	1.46	0.47	25.30	8.11
23年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	7.54	2.14	11.42	21.10	6.50	1.26	0.23	1.13	2.63	0.81	1.45	0.45	25.17	7.76
24年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	7.45	2.12	11.43	21.00	6.23	1.25	0.23	1.13	2.61	0.77	1.43	0.42	25.04	7.42
25年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	7.36	2.11	11.43	20.90	5.96	1.23	0.23	1.14	2.60	0.74	1.42	0.40	24.92	7.10
26年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	7.27	2.09	11.44	20.80	5.70	1.22	0.22	1.14	2.58	0.71	1.41	0.39	24.79	6.79
27年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	7.19	2.08	11.44	20.70	5.46	1.21	0.22	1.14	2.56	0.68	1.39	0.37	24.66	6.50
28年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	7.10	2.06	11.45	20.60	5.22	1.19	0.22	1.14	2.55	0.65	1.38	0.35	24.53	6.22
29年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	7.01	2.04	11.45	20.51	5.00	1.18	0.22	1.14	2.53	0.62	1.37	0.33	24.41	5.95
30年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.92	2.03	11.45	20.41	4.78	1.16	0.22	1.14	2.52	0.59	1.36	0.32	24.28	5.69
31年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.84	2.01	11.46	20.31	4.58	1.15	0.22	1.14	2.50	0.56	1.34	0.30	24.15	5.44
32年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.75	2.00	11.46	20.21	4.38	1.13	0.21	1.14	2.48	0.54	1.33	0.29	24.02	5.20
33年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.66	1.98	11.47	20.11	4.19	1.12	0.21	1.14	2.47	0.51	1.32	0.27	23.90	4.98
34年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.58	1.97	11.47	20.01	4.01	1.10	0.21	1.14	2.45	0.49	1.30	0.26	23.77	4.76
35年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.49	1.95	11.48	19.91	3.83	1.09	0.21	1.14	2.44	0.47	1.29	0.25	23.64	4.55
36年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	6.40	1.93	11.48	19.81	3.67	1.07	0.21	1.14	2.42	0.45	1.28	0.24	23.51	4.35
37年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	6.31	1.92	11.48	19.72	3.51	1.06	0.21	1.14	2.40	0.43	1.27	0.23	23.39	4.16
38年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	6.23	1.90	11.49	19.62	3.36	1.04	0.20	1.14	2.39	0.41	1.25	0.21	23.26	3.98
39年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	6.14	1.89	11.49	19.52	3.21	1.03	0.20	1.14	2.37	0.39	1.24	0.20	23.13	3.81
40年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	6.05	1.87	11.50	19.42	3.07	1.01	0.20	1.14	2.36	0.37	1.23	0.19	23.00	3.64
41年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.96	1.86	11.50	19.32	2.94	1.00	0.20	1.14	2.34	0.36	1.21	0.18	22.88	3.48
42年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.88	1.84	11.51	19.22	2.81	0.99	0.20	1.14	2.33	0.34	1.20	0.18	22.75	3.33
43年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.79	1.82	11.51	19.12	2.69	0.97	0.20	1.14	2.31	0.32	1.19	0.17	22.62	3.18
44年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.70	1.81	11.51	19.02	2.57	0.96	0.19	1.14	2.29	0.31	1.18	0.16	22.49	3.04
45年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.62	1.79	11.52	18.93	2.46	0.94	0.19	1.14	2.28	0.30	1.16	0.15	22.37	2.91
46年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.53	1.78	11.52	18.83	2.36	0.93	0.19	1.14	2.26	0.28	1.15	0.14	22.24	2.78
47年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.44	1.76	11.53	18.73	2.25	0.91	0.19	1.14	2.25	0.27	1.14	0.14	22.11	2.66
48年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	5.35	1.75	11.53	18.63	2.15	0.90	0.19	1.14	2.23	0.26	1.12	0.13	21.98	2.54
49年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	5.27	1.73	11.53	18.53	2.06	0.88	0.19	1.15	2.21	0.25	1.11	0.12	21.86	2.43
合 計								367.37	105.92	565.58	1,038.87	362.71	61.61	11.35	56.16	129.12	45.56	70.88	25.60	1,238.87	433.87

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：出雲・湖陵道路(残事業)

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	9.02	2.54	10.24	21.80	16.56	1.51	0.27	1.02	2.80	2.13	1.66	1.26	26.26	19.96
1年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.99	2.52	10.35	21.86	15.97	1.51	0.27	1.03	2.80	2.05	1.66	1.21	26.32	19.23
2年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.95	2.50	10.47	21.92	15.40	1.50	0.27	1.04	2.81	1.97	1.65	1.16	26.38	18.53
3年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.92	2.48	10.58	21.97	14.84	1.50	0.27	1.05	2.81	1.90	1.65	1.11	26.43	17.86
4年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.88	2.46	10.69	22.03	14.31	1.49	0.26	1.06	2.81	1.83	1.64	1.07	26.49	17.21
5年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.85	2.44	10.80	22.09	13.80	1.48	0.26	1.07	2.82	1.76	1.64	1.02	26.55	16.58
6年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.81	2.42	10.92	22.15	13.30	1.48	0.26	1.08	2.82	1.69	1.63	0.98	26.60	15.98
7年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.78	2.40	11.03	22.21	12.82	1.47	0.26	1.10	2.82	1.63	1.63	0.94	26.66	15.39
8年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.74	2.38	11.14	22.27	12.36	1.47	0.26	1.11	2.83	1.57	1.62	0.90	26.72	14.83
9年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.71	2.36	11.26	22.32	11.92	1.46	0.25	1.12	2.83	1.51	1.62	0.86	26.77	14.29
10年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.67	2.34	11.37	22.38	11.49	1.45	0.25	1.13	2.83	1.45	1.61	0.83	26.83	13.77
11年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	8.58	2.33	11.37	22.28	11.00	1.44	0.25	1.13	2.82	1.39	1.60	0.79	26.70	13.18
12年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	8.50	2.31	11.38	22.18	10.53	1.42	0.25	1.13	2.80	1.33	1.59	0.75	26.57	12.61
13年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	8.41	2.29	11.38	22.09	10.08	1.41	0.25	1.13	2.79	1.27	1.57	0.72	26.45	12.07
14年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	8.32	2.28	11.39	21.99	9.65	1.40	0.24	1.13	2.77	1.22	1.56	0.69	26.32	11.55
15年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	8.23	2.26	11.39	21.89	9.24	1.38	0.24	1.13	2.75	1.16	1.55	0.65	26.19	11.05
16年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	8.15	2.25	11.40	21.79	8.84	1.37	0.24	1.13	2.74	1.11	1.54	0.62	26.06	10.57
17年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	8.06	2.23	11.40	21.69	8.46	1.35	0.24	1.13	2.72	1.06	1.52	0.59	25.94	10.12
18年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.97	2.22	11.40	21.59	8.10	1.34	0.24	1.13	2.71	1.02	1.51	0.57	25.81	9.68
19年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.88	2.20	11.41	21.49	7.75	1.32	0.24	1.13	2.69	0.97	1.50	0.54	25.68	9.26
20年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.80	2.19	11.41	21.39	7.42	1.31	0.23	1.13	2.67	0.93	1.48	0.51	25.55	8.86
21年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.71	2.17	11.42	21.30	7.10	1.29	0.23	1.13	2.66	0.89	1.47	0.49	25.43	8.48
22年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.62	2.15	11.42	21.20	6.80	1.28	0.23	1.13	2.64	0.85	1.46	0.47	25.30	8.11
23年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	7.54	2.14	11.42	21.10	6.50	1.26	0.23	1.13	2.63	0.81	1.45	0.45	25.17	7.76
24年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	7.45	2.12	11.43	21.00	6.23	1.25	0.23	1.13	2.61	0.77	1.43	0.42	25.04	7.42
25年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	7.36	2.11	11.43	20.90	5.96	1.23	0.23	1.14	2.60	0.74	1.42	0.40	24.92	7.10
26年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	7.27	2.09	11.44	20.80	5.70	1.22	0.22	1.14	2.58	0.71	1.41	0.39	24.79	6.79
27年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	7.19	2.08	11.44	20.70	5.46	1.21	0.22	1.14	2.56	0.68	1.39	0.37	24.66	6.50
28年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	7.10	2.06	11.45	20.60	5.22	1.19	0.22	1.14	2.55	0.65	1.38	0.35	24.53	6.22
29年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	7.01	2.04	11.45	20.51	5.00	1.18	0.22	1.14	2.53	0.62	1.37	0.33	24.41	5.95
30年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.92	2.03	11.45	20.41	4.78	1.16	0.22	1.14	2.52	0.59	1.36	0.32	24.28	5.69
31年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.84	2.01	11.46	20.31	4.58	1.15	0.22	1.14	2.50	0.56	1.34	0.30	24.15	5.44
32年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.75	2.00	11.46	20.21	4.38	1.13	0.21	1.14	2.48	0.54	1.33	0.29	24.02	5.20
33年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.66	1.98	11.47	20.11	4.19	1.12	0.21	1.14	2.47	0.51	1.32	0.27	23.90	4.98
34年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.58	1.97	11.47	20.01	4.01	1.10	0.21	1.14	2.45	0.49	1.30	0.26	23.77	4.76
35年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.49	1.95	11.48	19.91	3.83	1.09	0.21	1.14	2.44	0.47	1.29	0.25	23.64	4.55
36年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	6.40	1.93	11.48	19.81	3.67	1.07	0.21	1.14	2.42	0.45	1.28	0.24	23.51	4.35
37年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	6.31	1.92	11.48	19.72	3.51	1.06	0.21	1.14	2.40	0.43	1.27	0.23	23.39	4.16
38年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	6.23	1.90	11.49	19.62	3.36	1.04	0.20	1.14	2.39	0.41	1.25	0.21	23.26	3.98
39年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	6.14	1.89	11.49	19.52	3.21	1.03	0.20	1.14	2.37	0.39	1.24	0.20	23.13	3.81
40年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	6.05	1.87	11.50	19.42	3.07	1.01	0.20	1.14	2.36	0.37	1.23	0.19	23.00	3.64
41年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.96	1.86	11.50	19.32	2.94	1.00	0.20	1.14	2.34	0.36	1.21	0.18	22.88	3.48
42年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.88	1.84	11.51	19.22	2.81	0.99	0.20	1.14	2.33	0.34	1.20	0.18	22.75	3.33
43年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.79	1.82	11.51	19.12	2.69	0.97	0.20	1.14	2.31	0.32	1.19	0.17	22.62	3.18
44年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.70	1.81	11.51	19.02	2.57	0.96	0.19	1.14	2.29	0.31	1.18	0.16	22.49	3.04
45年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.62	1.79	11.52	18.93	2.46	0.94	0.19	1.14	2.28	0.30	1.16	0.15	22.37	2.91
46年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.53	1.78	11.52	18.83	2.36	0.93	0.19	1.14	2.26	0.28	1.15	0.14	22.24	2.78
47年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.44	1.76	11.53	18.73	2.25	0.91	0.19	1.14	2.25	0.27	1.14	0.14	22.11	2.66
48年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	5.35	1.75	11.53	18.63	2.15	0.90	0.19	1.14	2.23	0.26	1.12	0.13	21.98	2.54
49年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	5.27	1.73	11.53	18.53	2.06	0.88	0.19	1.15	2.21	0.25	1.11	0.12	21.86	2.43
合 計								367.37	105.92	565.58	1,038.87	362.71	61.61	11.35	56.16	129.12	45.56	70.88	25.60	1,238.87	433.87

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	出雲・湖陵道路	2	4.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					10,904	
	改良費				3,470	
		土工	m3	1,210,510	1,525	切土(740,793m3)、盛土(469,717m3)
		軟弱地盤改良工	m3	6,603	66	
		法面工	m2	90,461	250	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	306	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	338	58	
		函渠工	m	262	724	
		排水工	m	5,136	256	
		中央分離帯工	m	2,829	11	
		雑工	式	1	274	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				3,361	
		100m以上	m	866	2,733	鋼橋 3橋
		100m未満	m	184	628	PC橋 2橋、鋼橋 1橋
	トンネル費				2,510	
		NATM	m	434	2,510	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				909	
		IC	箇所	2	909	平面Y型 1箇所、ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ型 1箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				288	
		車道舗装	m2	29,705	288	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				366	
		交通管理施設工	式	1	366	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,905	
	用地費		m2	210,575	1,017	
		宅地	m2	8,773	350	
		田畑	m2	19,796	356	
		山林・原野	m2	180,729	308	
		その他	m2	1,277	3	
	補償費		式	1	888	
③間接経費			式	1	3,191	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					16,000	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	出雲・湖陵道路	2	4.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					10,167	
	改良費				3,009	
		土工	m3	1,083,160	1,351	切土(651,793m3)、盛土(431,367m3)
		軟弱地盤改良工	m3	6,603	66	
		法面工	m2	78,268	218	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	256	補強土壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	308	53	
		函渠工	m	237	654	
		排水工	m	4,536	226	
		中央分離帯工	m	2,829	11	
		雑工	式	1	174	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				3,185	
		100m以上	m	866	2,645	鋼橋 3橋
		100m未満	m	184	540	PC橋 2橋、鋼橋 1橋
	トンネル費				2,510	
		NATM	m	434	2,510	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				809	
		IC	箇所	2	809	平面Y型 1箇所、ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ型 1箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				288	
		車道舗装	m2	29,705	288	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				366	
		交通管理施設工	式	1	366	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,659	
	用地費		m2	159,475	887	
		宅地	m2	8,553	345	
		田畑	m2	17,659	333	
		山林・原野	m2	131,986	206	
		その他	m2	1,277	3	
	補償費		式	1	772	
③間接経費			式	1	1,804	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					13,630	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	出雲・湖陵道路	2	4.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	4.4	650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,450	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	出雲・湖陵道路	2	4.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	4.4	650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,450	

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　湖陵・多伎道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■　便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.4（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝237億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝10.3%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.5（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝243億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝10.7%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	●　現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（大田・静間道路［大田市久手町刺鹿～大田市静間町］） 当該区間の渋滞損失削減時間：530千人・時間/年（20,705千人・時間/年→20,175千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：2.6%削減
		□　現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□　現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■　現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	一畑バス（小田線）1日3便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		□　新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■　第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる（63分⇒50分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	□　重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■　農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	和江漁港・五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
		□　現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
１．活力	都市の再生	□　都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□　広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□　市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□　中心市街地内で行う事業である	
		□　幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□　DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□　対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	出雲市～大田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる（50分⇒44分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
２．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	大田市から島根県立中央病院へのアクセス向上が見込まれる（45分⇒40分）※山陰道が全線整備された場合の値

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：出雲市～大田市間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.1千t／年、排出削減率：約0.1%削減（整備なし:997千t／年⇒整備あり：996千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：3.6t／年、排出削減率：約0.2%削減（整備なし:2,335t／年⇒整備あり：2,331t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：0.8t／年、排出削減率：約0.6%削減（整備なし:126t／年⇒整備あり：125t／年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8)」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	出雲・湖陵道路、多伎・朝山道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」 平成24年3月 21世紀出雲のグランドデザイン　平成17年12月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	湖陵・多伎道路	L=4.5km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
17,000	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	191億円	31億円	222億円
うち残事業分	185億円	31億円	217億円
基準年における現在価値（C）	158億円	10億円	168億円
うち残事業分	152億円	10億円	163億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成33年度			
単年便益（初年便益）	20億円	3.1億円	2.2億円	26億円
基準年における現在価値（B）	325億円	49億円	32億円	405億円
うち残事業分	325億円	49億円	32億円	405億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	2.4
経済的純現在価値（事業全体）	237億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.3%
費用便益比（残事業）	2.5
経済的純現在価値（残事業）	243億円
経済的内部収益率（残事業）	10.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	17,000	±１０％	2.1 ～ 2.8
事業費	191億円	±１０％	2.2 ～ 2.7
事業期間	9年	±２０％	2.2 ～ 2.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	17,000	±１０％	2.1 ～ 2.9
事業費	185億円	±１０％	2.3 ～ 2.8
事業期間	7年	±２０％	2.3 ～ 2.7

交通状況の変化

様式－３①

事業名：湖陵・多伎道路（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	17,000
		走行時間※2	[分]	－	4
：4.5km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	13.15
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	14,900	5,500
		走行時間	[分]	8	8
	：6.0km	走行時間費用	[億円/年]	24.24	7.82
	広域農道	交通量	[台/日]	6,600	500
		走行時間	[分]	13	13
	：5.8km	走行時間費用	[億円/年]	15.72	0.89
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：2572.7km		走行時間費用	[億円/年]	2,505.37	2,502.61

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：2589.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,545.33	2,524.47	20.86

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）

交通状況の変化

様式－３①

事業名：湖陵・多伎道路（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	17,000
		走行時間※2	[分]	－	4
：4.5km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	13.15
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	14,900	5,500
		走行時間	[分]	8	8
	：6.0km	走行時間費用	[億円/年]	24.24	7.82
	広域農道	交通量	[台/日]	6,600	500
		走行時間	[分]	13	13
	：5.8km	走行時間費用	[億円/年]	15.72	0.89
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：2572.7km		走行時間費用	[億円/年]	2,505.37	2,502.61

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：2589.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,545.33	2,524.47	20.86

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）

様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：湖陵・多伎道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （ H17センサス ）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定）		■

事業名：湖陵・多伎道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：湖陵・多伎道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	□
		標準投資パターンを採用	□
		その他（概略事業計画による値を採用）	■
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	4.5	0.66

箇所名：湖陵・多伎道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−9年目	H 24	1.0400	92.1	1.53	1.59		
−8年目	H 25	1.0000	92.1	3.81	3.81		
−7年目	H 26	0.9615	92.1	2.39	2.30		
−6年目	H 27	0.9246	92.1	5.73	5.30		
−5年目	H 28	0.8890	92.1	25.75	22.89		
−4年目	H 29	0.8548	92.1	33.51	28.64		
−3年目	H 30	0.8219	92.1	37.14	30.53		
−2年目	H 31	0.7903	92.1	53.12	41.98		
−1年目	H 32	0.7599	92.1	27.73	21.07		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			0.63	0.46
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.63	0.44
2年目	H 35	0.6756	92.1			0.63	0.42
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.63	0.41
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.63	0.39
5年目	H 38	0.6006	92.1			0.63	0.38
6年目	H 39	0.5775	92.1			0.63	0.36
7年目	H 40	0.5553	92.1			0.63	0.35
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.63	0.34
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.63	0.32
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.63	0.31
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.63	0.30
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.63	0.29
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.63	0.28
14年目	H 47	0.4220	92.1			0.63	0.27
15年目	H 48	0.4057	92.1			0.63	0.26
16年目	H 49	0.3901	92.1			0.63	0.25
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.63	0.24
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.63	0.23
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.63	0.22
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.63	0.21
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.63	0.20
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.63	0.19
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.63	0.19
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.63	0.18
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.63	0.17
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.63	0.17
27年目	H 60	0.2534	92.1			0.63	0.16
28年目	H 61	0.2437	92.1			0.63	0.15
29年目	H 62	0.2343	92.1			0.63	0.15
30年目	H 63	0.2253	92.1			0.63	0.14
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.63	0.14
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.63	0.13
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.63	0.13
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.63	0.12
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.63	0.12
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.63	0.11
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.63	0.11
38年目	H 71	0.1646	92.1			0.63	0.10
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.63	0.10
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.63	0.10
41年目	H 74	0.1463	92.1			0.63	0.09
42年目	H 75	0.1407	92.1			0.63	0.09
43年目	H 76	0.1353	92.1			0.63	0.09
44年目	H 77	0.1301	92.1			0.63	0.08
45年目	H 78	0.1251	92.1			0.63	0.08
46年目	H 79	0.1203	92.1			0.63	0.08
47年目	H 80	0.1157	92.1			0.63	0.07
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.63	0.07
49年目	H 82	0.1069	92.1	−3.00	−0.32	0.63	0.07
合　計				187.71	157.79	31.43	10.26

単純事業費計	190.71	31.43

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	4.5	0.66

箇所名：湖陵・多伎道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−7年目	H 26	0.9615	92.1	2.39	2.30		
−6年目	H 27	0.9246	92.1	5.73	5.30		
−5年目	H 28	0.8890	92.1	25.75	22.89		
−4年目	H 29	0.8548	92.1	33.51	28.64		
−3年目	H 30	0.8219	92.1	37.14	30.53		
−2年目	H 31	0.7903	92.1	53.12	41.98		
−1年目	H 32	0.7599	92.1	27.73	21.07		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			0.63	0.46
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.63	0.44
2年目	H 35	0.6756	92.1			0.63	0.42
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.63	0.41
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.63	0.39
5年目	H 38	0.6006	92.1			0.63	0.38
6年目	H 39	0.5775	92.1			0.63	0.36
7年目	H 40	0.5553	92.1			0.63	0.35
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.63	0.34
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.63	0.32
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.63	0.31
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.63	0.30
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.63	0.29
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.63	0.28
14年目	H 47	0.4220	92.1			0.63	0.27
15年目	H 48	0.4057	92.1			0.63	0.26
16年目	H 49	0.3901	92.1			0.63	0.25
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.63	0.24
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.63	0.23
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.63	0.22
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.63	0.21
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.63	0.20
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.63	0.19
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.63	0.19
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.63	0.18
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.63	0.17
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.63	0.17
27年目	H 60	0.2534	92.1			0.63	0.16
28年目	H 61	0.2437	92.1			0.63	0.15
29年目	H 62	0.2343	92.1			0.63	0.15
30年目	H 63	0.2253	92.1			0.63	0.14
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.63	0.14
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.63	0.13
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.63	0.13
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.63	0.12
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.63	0.12
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.63	0.11
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.63	0.11
38年目	H 71	0.1646	92.1			0.63	0.10
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.63	0.10
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.63	0.10
41年目	H 74	0.1463	92.1			0.63	0.09
42年目	H 75	0.1407	92.1			0.63	0.09
43年目	H 76	0.1353	92.1			0.63	0.09
44年目	H 77	0.1301	92.1			0.63	0.08
45年目	H 78	0.1251	92.1			0.63	0.08
46年目	H 79	0.1203	92.1			0.63	0.08
47年目	H 80	0.1157	92.1			0.63	0.07
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.63	0.07
49年目	H 82	0.1069	92.1	−3.00	−0.32	0.63	0.07
合　計				182.37	152.39	31.43	10.26

単純事業費計	185.37	31.43

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：湖陵・多伎道路（事業全体）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.34	2.35	9.68	20.37	14.88	1.54	0.30	1.27	3.11	2.27	2.17	1.59	25.65	18.74
1年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.31	2.33	9.79	20.43	14.35	1.54	0.30	1.28	3.11	2.19	2.17	1.52	25.71	18.06
2年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.28	2.31	9.89	20.48	13.84	1.53	0.29	1.29	3.12	2.11	2.16	1.46	25.76	17.40
3年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.24	2.29	10.00	20.53	13.34	1.52	0.29	1.31	3.12	2.03	2.16	1.40	25.81	16.77
4年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.21	2.28	10.10	20.59	12.86	1.52	0.29	1.32	3.13	1.95	2.15	1.34	25.87	16.16
5年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.18	2.26	10.21	20.64	12.40	1.51	0.29	1.34	3.13	1.88	2.14	1.29	25.92	15.57
6年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.15	2.24	10.31	20.70	11.95	1.51	0.28	1.35	3.14	1.81	2.14	1.23	25.98	15.00
7年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.11	2.22	10.42	20.75	11.52	1.50	0.28	1.36	3.15	1.75	2.13	1.18	26.03	14.45
8年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.08	2.20	10.53	20.81	11.11	1.49	0.28	1.38	3.15	1.68	2.12	1.13	26.08	13.93
9年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.05	2.19	10.63	20.86	10.71	1.49	0.28	1.39	3.16	1.62	2.12	1.09	26.14	13.42
10年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	7.97	2.17	10.63	20.77	10.25	1.47	0.28	1.39	3.14	1.55	2.10	1.04	26.01	12.84
11年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	7.88	2.16	10.64	20.68	9.82	1.46	0.27	1.39	3.12	1.48	2.08	0.99	25.89	12.29
12年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	7.80	2.14	10.64	20.59	9.40	1.44	0.27	1.39	3.11	1.42	2.07	0.94	25.76	11.76
13年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	7.72	2.13	10.65	20.50	8.99	1.43	0.27	1.39	3.09	1.36	2.05	0.90	25.64	11.25
14年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	7.64	2.11	10.65	20.41	8.61	1.41	0.27	1.39	3.07	1.30	2.03	0.86	25.51	10.77
15年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	7.56	2.10	10.65	20.31	8.24	1.40	0.27	1.39	3.06	1.24	2.02	0.82	25.39	10.30
16年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	7.48	2.08	10.66	20.22	7.89	1.38	0.26	1.39	3.04	1.19	2.00	0.78	25.26	9.86
17年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.40	2.07	10.66	20.13	7.55	1.37	0.26	1.40	3.03	1.13	1.98	0.74	25.14	9.43
18年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.32	2.05	10.67	20.04	7.23	1.35	0.26	1.40	3.01	1.09	1.96	0.71	25.01	9.02
19年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.24	2.04	10.67	19.95	6.92	1.34	0.26	1.40	2.99	1.04	1.95	0.68	24.89	8.63
20年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.16	2.02	10.67	19.86	6.62	1.32	0.26	1.40	2.98	0.99	1.93	0.64	24.76	8.26
21年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.07	2.01	10.68	19.76	6.34	1.31	0.25	1.40	2.96	0.95	1.91	0.61	24.64	7.90
22年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	6.99	2.00	10.68	19.67	6.07	1.29	0.25	1.40	2.94	0.91	1.90	0.59	24.51	7.56
23年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	6.91	1.98	10.69	19.58	5.80	1.28	0.25	1.40	2.93	0.87	1.88	0.56	24.39	7.23
24年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	6.83	1.97	10.69	19.49	5.56	1.26	0.25	1.40	2.91	0.83	1.86	0.53	24.26	6.92
25年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	6.75	1.95	10.69	19.40	5.32	1.25	0.25	1.40	2.89	0.79	1.85	0.51	24.14	6.62
26年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	6.67	1.94	10.70	19.30	5.09	1.23	0.25	1.40	2.88	0.76	1.83	0.48	24.01	6.33
27年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	6.59	1.92	10.70	19.21	4.87	1.22	0.24	1.40	2.86	0.73	1.81	0.46	23.89	6.05
28年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	6.51	1.91	10.71	19.12	4.66	1.20	0.24	1.40	2.85	0.69	1.80	0.44	23.76	5.79
29年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.43	1.89	10.71	19.03	4.46	1.19	0.24	1.40	2.83	0.66	1.78	0.42	23.64	5.54
30年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.35	1.88	10.71	18.94	4.27	1.17	0.24	1.40	2.81	0.63	1.76	0.40	23.51	5.30
31年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.26	1.86	10.72	18.85	4.08	1.16	0.24	1.40	2.80	0.61	1.75	0.38	23.39	5.07
32年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.18	1.85	10.72	18.75	3.91	1.14	0.23	1.40	2.78	0.58	1.73	0.36	23.26	4.85
33年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.10	1.83	10.73	18.66	3.74	1.13	0.23	1.40	2.76	0.55	1.71	0.34	23.14	4.63
34年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.02	1.82	10.73	18.57	3.58	1.11	0.23	1.40	2.75	0.53	1.69	0.33	23.01	4.43
35年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	5.94	1.81	10.73	18.48	3.42	1.10	0.23	1.40	2.73	0.51	1.68	0.31	22.89	4.24
36年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	5.86	1.79	10.74	18.39	3.27	1.08	0.23	1.40	2.72	0.48	1.66	0.30	22.76	4.05
37年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	5.78	1.78	10.74	18.30	3.13	1.07	0.23	1.41	2.70	0.46	1.64	0.28	22.64	3.88
38年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	5.70	1.76	10.75	18.20	3.00	1.05	0.22	1.41	2.68	0.44	1.63	0.27	22.51	3.71
39年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	5.62	1.75	10.75	18.11	2.87	1.04	0.22	1.41	2.67	0.42	1.61	0.25	22.39	3.54
40年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.54	1.73	10.75	18.02	2.74	1.02	0.22	1.41	2.65	0.40	1.59	0.24	22.26	3.39
41年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.45	1.72	10.76	17.93	2.62	1.01	0.22	1.41	2.63	0.39	1.58	0.23	22.14	3.24
42年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.37	1.70	10.76	17.84	2.51	0.99	0.22	1.41	2.62	0.37	1.56	0.22	22.02	3.10
43年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.29	1.69	10.77	17.75	2.40	0.98	0.21	1.41	2.60	0.35	1.54	0.21	21.89	2.96
44年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.21	1.67	10.77	17.65	2.30	0.96	0.21	1.41	2.58	0.34	1.53	0.20	21.77	2.83
45年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.13	1.66	10.77	17.56	2.20	0.95	0.21	1.41	2.57	0.32	1.51	0.19	21.64	2.71
46年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.05	1.64	10.78	17.47	2.10	0.93	0.21	1.41	2.55	0.31	1.49	0.18	21.52	2.59
47年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	4.97	1.63	10.78	17.38	2.01	0.92	0.21	1.41	2.54	0.29	1.48	0.17	21.39	2.47
48年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	4.89	1.61	10.79	17.29	1.92	0.90	0.20	1.41	2.52	0.28	1.46	0.16	21.27	2.36
49年目	H 82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1069	92.1	4.81	1.60	10.79	17.20	1.84	0.89	0.20	1.41	2.50	0.27	1.44	0.15	21.14	2.26
合計								337.40	98.10	530.03	965.54	324.55	62.39	12.43	69.35	144.17	48.79	92.29	32.09	1,202.00	405.43

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：湖陵・多伎道路(残事業)

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.34	2.35	9.68	20.37	14.88	1.54	0.30	1.27	3.11	2.27	2.17	1.59	25.65	18.74
1年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.31	2.33	9.79	20.43	14.35	1.54	0.30	1.28	3.11	2.19	2.17	1.52	25.71	18.06
2年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.28	2.31	9.89	20.48	13.84	1.53	0.29	1.29	3.12	2.11	2.16	1.46	25.76	17.40
3年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.24	2.29	10.00	20.53	13.34	1.52	0.29	1.31	3.12	2.03	2.16	1.40	25.81	16.77
4年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.21	2.28	10.10	20.59	12.86	1.52	0.29	1.32	3.13	1.95	2.15	1.34	25.87	16.16
5年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.18	2.26	10.21	20.64	12.40	1.51	0.29	1.34	3.13	1.88	2.14	1.29	25.92	15.57
6年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.15	2.24	10.31	20.70	11.95	1.51	0.28	1.35	3.14	1.81	2.14	1.23	25.98	15.00
7年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.11	2.22	10.42	20.75	11.52	1.50	0.28	1.36	3.15	1.75	2.13	1.18	26.03	14.45
8年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.08	2.20	10.53	20.81	11.11	1.49	0.28	1.38	3.15	1.68	2.12	1.13	26.08	13.93
9年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.05	2.19	10.63	20.86	10.71	1.49	0.28	1.39	3.16	1.62	2.12	1.09	26.14	13.42
10年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	7.97	2.17	10.63	20.77	10.25	1.47	0.28	1.39	3.14	1.55	2.10	1.04	26.01	12.84
11年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	7.88	2.16	10.64	20.68	9.82	1.46	0.27	1.39	3.12	1.48	2.08	0.99	25.89	12.29
12年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	7.80	2.14	10.64	20.59	9.40	1.44	0.27	1.39	3.11	1.42	2.07	0.94	25.76	11.76
13年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	7.72	2.13	10.65	20.50	8.99	1.43	0.27	1.39	3.09	1.36	2.05	0.90	25.64	11.25
14年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	7.64	2.11	10.65	20.41	8.61	1.41	0.27	1.39	3.07	1.30	2.03	0.86	25.51	10.77
15年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	7.56	2.10	10.65	20.31	8.24	1.40	0.27	1.39	3.06	1.24	2.02	0.82	25.39	10.30
16年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	7.48	2.08	10.66	20.22	7.89	1.38	0.26	1.39	3.04	1.19	2.00	0.78	25.26	9.86
17年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.40	2.07	10.66	20.13	7.55	1.37	0.26	1.40	3.03	1.13	1.98	0.74	25.14	9.43
18年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.32	2.05	10.67	20.04	7.23	1.35	0.26	1.40	3.01	1.09	1.96	0.71	25.01	9.02
19年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.24	2.04	10.67	19.95	6.92	1.34	0.26	1.40	2.99	1.04	1.95	0.68	24.89	8.63
20年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.16	2.02	10.67	19.86	6.62	1.32	0.26	1.40	2.98	0.99	1.93	0.64	24.76	8.26
21年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.07	2.01	10.68	19.76	6.34	1.31	0.25	1.40	2.96	0.95	1.91	0.61	24.64	7.90
22年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	6.99	2.00	10.68	19.67	6.07	1.29	0.25	1.40	2.94	0.91	1.90	0.59	24.51	7.56
23年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	6.91	1.98	10.69	19.58	5.80	1.28	0.25	1.40	2.93	0.87	1.88	0.56	24.39	7.23
24年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	6.83	1.97	10.69	19.49	5.56	1.26	0.25	1.40	2.91	0.83	1.86	0.53	24.26	6.92
25年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	6.75	1.95	10.69	19.40	5.32	1.25	0.25	1.40	2.89	0.79	1.85	0.51	24.14	6.62
26年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	6.67	1.94	10.70	19.30	5.09	1.23	0.25	1.40	2.88	0.76	1.83	0.48	24.01	6.33
27年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	6.59	1.92	10.70	19.21	4.87	1.22	0.24	1.40	2.86	0.73	1.81	0.46	23.89	6.05
28年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	6.51	1.91	10.71	19.12	4.66	1.20	0.24	1.40	2.85	0.69	1.80	0.44	23.76	5.79
29年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.43	1.89	10.71	19.03	4.46	1.19	0.24	1.40	2.83	0.66	1.78	0.42	23.64	5.54
30年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.35	1.88	10.71	18.94	4.27	1.17	0.24	1.40	2.81	0.63	1.76	0.40	23.51	5.30
31年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.26	1.86	10.72	18.85	4.08	1.16	0.24	1.40	2.80	0.61	1.75	0.38	23.39	5.07
32年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.18	1.85	10.72	18.75	3.91	1.14	0.23	1.40	2.78	0.58	1.73	0.36	23.26	4.85
33年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.10	1.83	10.73	18.66	3.74	1.13	0.23	1.40	2.76	0.55	1.71	0.34	23.14	4.63
34年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.02	1.82	10.73	18.57	3.58	1.11	0.23	1.40	2.75	0.53	1.69	0.33	23.01	4.43
35年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	5.94	1.81	10.73	18.48	3.42	1.10	0.23	1.40	2.73	0.51	1.68	0.31	22.89	4.24
36年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	5.86	1.79	10.74	18.39	3.27	1.08	0.23	1.40	2.72	0.48	1.66	0.30	22.76	4.05
37年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	5.78	1.78	10.74	18.30	3.13	1.07	0.23	1.41	2.70	0.46	1.64	0.28	22.64	3.88
38年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	5.70	1.76	10.75	18.20	3.00	1.05	0.22	1.41	2.68	0.44	1.63	0.27	22.51	3.71
39年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	5.62	1.75	10.75	18.11	2.87	1.04	0.22	1.41	2.67	0.42	1.61	0.25	22.39	3.54
40年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.54	1.73	10.75	18.02	2.74	1.02	0.22	1.41	2.65	0.40	1.59	0.24	22.26	3.39
41年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.45	1.72	10.76	17.93	2.62	1.01	0.22	1.41	2.63	0.39	1.58	0.23	22.14	3.24
42年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.37	1.70	10.76	17.84	2.51	0.99	0.22	1.41	2.62	0.37	1.56	0.22	22.02	3.10
43年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.29	1.69	10.77	17.75	2.40	0.98	0.21	1.41	2.60	0.35	1.54	0.21	21.89	2.96
44年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.21	1.67	10.77	17.65	2.30	0.96	0.21	1.41	2.58	0.34	1.53	0.20	21.77	2.83
45年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.13	1.66	10.77	17.56	2.20	0.95	0.21	1.41	2.57	0.32	1.51	0.19	21.64	2.71
46年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.05	1.64	10.78	17.47	2.10	0.93	0.21	1.41	2.55	0.31	1.49	0.18	21.52	2.59
47年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	4.97	1.63	10.78	17.38	2.01	0.92	0.21	1.41	2.54	0.29	1.48	0.17	21.39	2.47
48年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	4.89	1.61	10.79	17.29	1.92	0.90	0.20	1.41	2.52	0.28	1.46	0.16	21.27	2.36
49年目	H 82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1069	92.1	4.81	1.60	10.79	17.20	1.84	0.89	0.20	1.41	2.50	0.27	1.44	0.15	21.14	2.26
合 計								337.40	98.10	530.03	965.54	324.55	62.39	12.43	69.35	144.17	48.79	92.29	32.09	1,202.00	405.43

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	湖陵・多伎道路	2	4.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					16,063	
	改良費				10,378	
		土工	m3	1,320,785	4,255	切土(418,433m3)、盛土(902,352m3)
		軟弱地盤改良工	m3	64,000	2,484	
		法面工	m2	121,782	524	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	79	ブロック積擁壁、大型ブロック積擁壁等
		管渠工	m	756	190	
		函渠工	m	508	2,221	
		排水工	m	8,622	332	
		中央分離帯工	m	3,668	67	
		雑工	式	1	226	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,979	
		100m以上	m	528	2,513	鋼橋　3橋
		100m未満	m	84	465	PC橋　1橋
	トンネル費				921	
		NATM	m	209	921	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				740	
		IC	箇所	2	740	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				613	
		車道舗装	m2	50,928	613	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				433	
		交通管理施設工	式	1	433	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					492	
	用地費			280,087	300	
		宅地	m2	2,426	51	
		田畑	m2	21,788	114	
		山林・原野	m2	255,873	134	
		その他	m2		0	
	補償費		式	1	192	
③間接経費			式	1	3,445	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					20,000	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	湖陵・多伎道路	2	4.5km

■事業費内訳（別線整備）

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					16,063	
	改良費				10,378	
		土工	m3	1,320,785	4,255	切土(418,433m3)、盛土(902,352m3)
		軟弱地盤改良工	m3	64,000	2,484	
		法面工	m2	121,782	524	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	79	ブロック積擁壁、大型ブロック積擁壁等
		管渠工	m	756	190	
		函渠工	m	508	2,221	
		排水工	m	8,622	332	
		中央分離帯工	m	3,668	67	
		雑工	式	1	226	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,979	
		100m以上	m	528	2,513	鋼橋　3橋
		100m未満	m	84	465	PC橋　1橋
	トンネル費				921	
		NATM	m	209	921	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				740	
		IC	箇所	2	740	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				613	
		車道舗装	m2	50,928	613	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				433	
		交通管理施設工	式	1	433	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					492	
	用地費			280,087	300	
		宅地	m2	2,426	51	
		田畑	m2	21,788	114	
		山林・原野	m2	255,873	134	
		その他	m2		0	
	補償費		式	1	192	
③間接経費			式	1	2,884	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					19,439	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	湖陵・多伎道路	2	4.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	4.5	700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,600	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,300	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	湖陵・多伎道路	2	4.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	4.5	700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,600	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,300	

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　多伎・朝山道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝1.7（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝296億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝7.2%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.8（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝442億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝11.6%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（多伎・朝山道路［出雲市多伎町久村～大田市朝山町朝倉］） 当該区間の渋滞損失削減時間：662千人・時間/年（26,585千人・時間/年→25,922千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：2.5%削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通（波根線）1日7便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる（63分⇒50分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	和江漁港・五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1．活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	出雲市～大田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる（50分⇒44分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	大田市から島根県立中央病院へのアクセス向上が見込まれる（43分⇒38分）※山陰道が全線整備された場合の値

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：出雲市～大田市間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：5.9千t／年、排出削減率：約0.4%削減（整備なし:1,486千t／年⇒整備あり：1,480千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：18.9t／年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし:3,620t／年⇒整備あり：3,601t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.8t／年、排出削減率：約0.9%削減（整備なし:193t／年⇒整備あり：191t／年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	湖陵・多伎道路、朝山・大田道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」 平成24年3月 21世紀出雲のグランドデザイン　平成17年12月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	多伎・朝山道路	L= 9.0 km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
16,600	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	391億円	58億円	449億円
うち残事業分	254億円	58億円	312億円
基準年における現在価値（C）	375億円	20億円	395億円
うち残事業分	229億円	20億円	250億円

② 便　益（拡張便益含む）

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成31年度			
単年便益（初年便益）	31億円	5.8億円	3.0億円	40億円
基準年における現在価値（B）	542億円	102億円	47億円	691億円
うち残事業分	542億円	102億円	47億円	691億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	296億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.2%
費用便益比（残事業）	2.8
経済的純現在価値（残事業）	442億円
経済的内部収益率（残事業）	11.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,600	±１０％	1.5 ～ 2.0
事業費	391億円	±１０％	1.7 ～ 1.9
事業期間	13年	±２０％	1.7 ～ 1.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,600	±１０％	2.4 ～ 3.2
事業費	254億円	±１０％	2.5 ～ 3.1
事業期間	5年	±２０％	2.7 ～ 2.9

交通状況の変化

様式－３①

事業名：多伎・朝山道路（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,600
		走行時間※2	[分]	－	8
：9.0km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	25.83
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	21,100	5,100
		走行時間	[分]	13	11
	：8.5km	走行時間費用	[億円/年]	54.38	10.26
	（県）池田久手停車場線	交通量	[台/日]	16,500	2,500
		走行時間	[分]	2	1
	：0.6km	走行時間費用	[億円/年]	6.68	0.50
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：4146.5km		走行時間費用	[億円/年]	3,473.26	3,465.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：4164.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,534.31	3,502.32	31.98

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

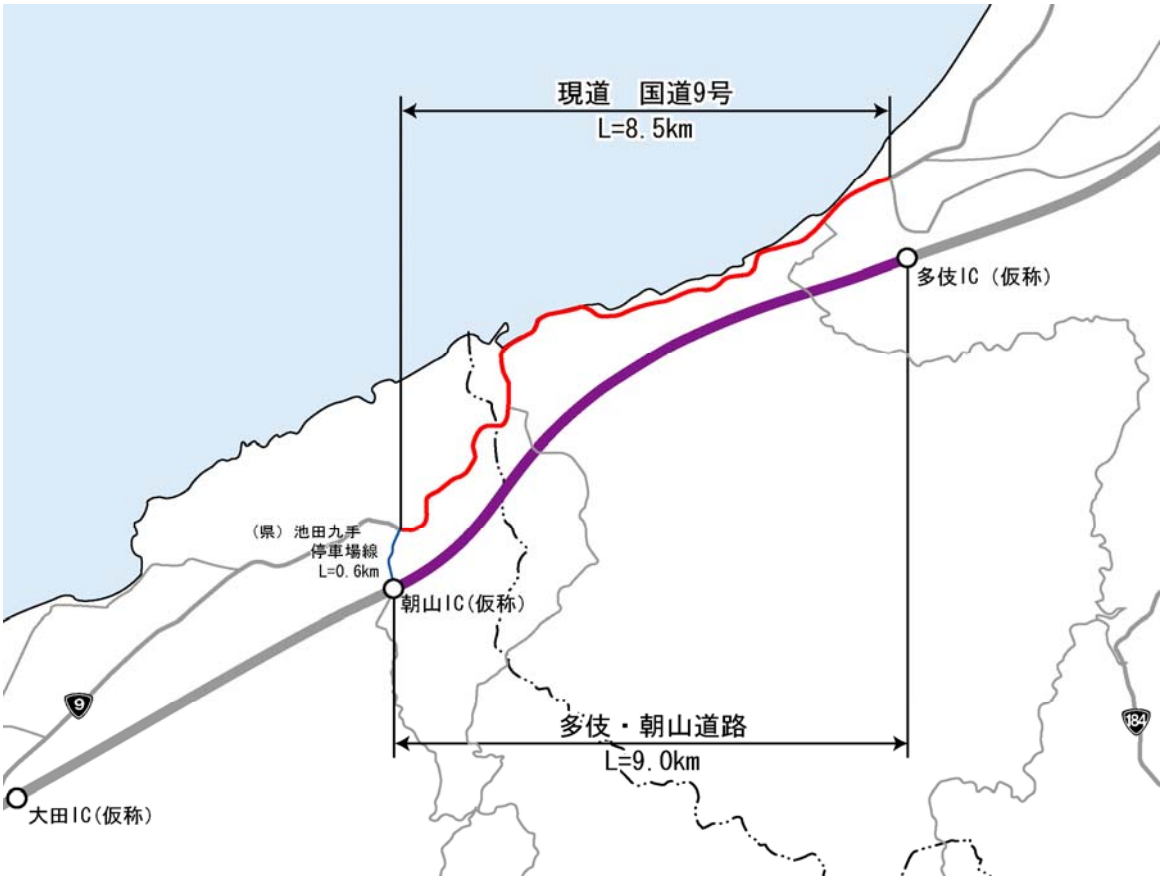
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



交通状況の変化

様式－３①

事業名：多伎・朝山道路（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,600
		走行時間※2	[分]	－	8
：9.0km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	25.83
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	21,100	5,100
		走行時間	[分]	13	11
	：8.5km	走行時間費用	[億円/年]	54.38	10.26
	（県）池田久手停車場線	交通量	[台/日]	16,500	2,500
		走行時間	[分]	2	1
	：0.6km	走行時間費用	[億円/年]	6.68	0.50
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：4146.5km		走行時間費用	[億円/年]	3,473.26	3,465.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：4164.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,534.31	3,502.32	31.98

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

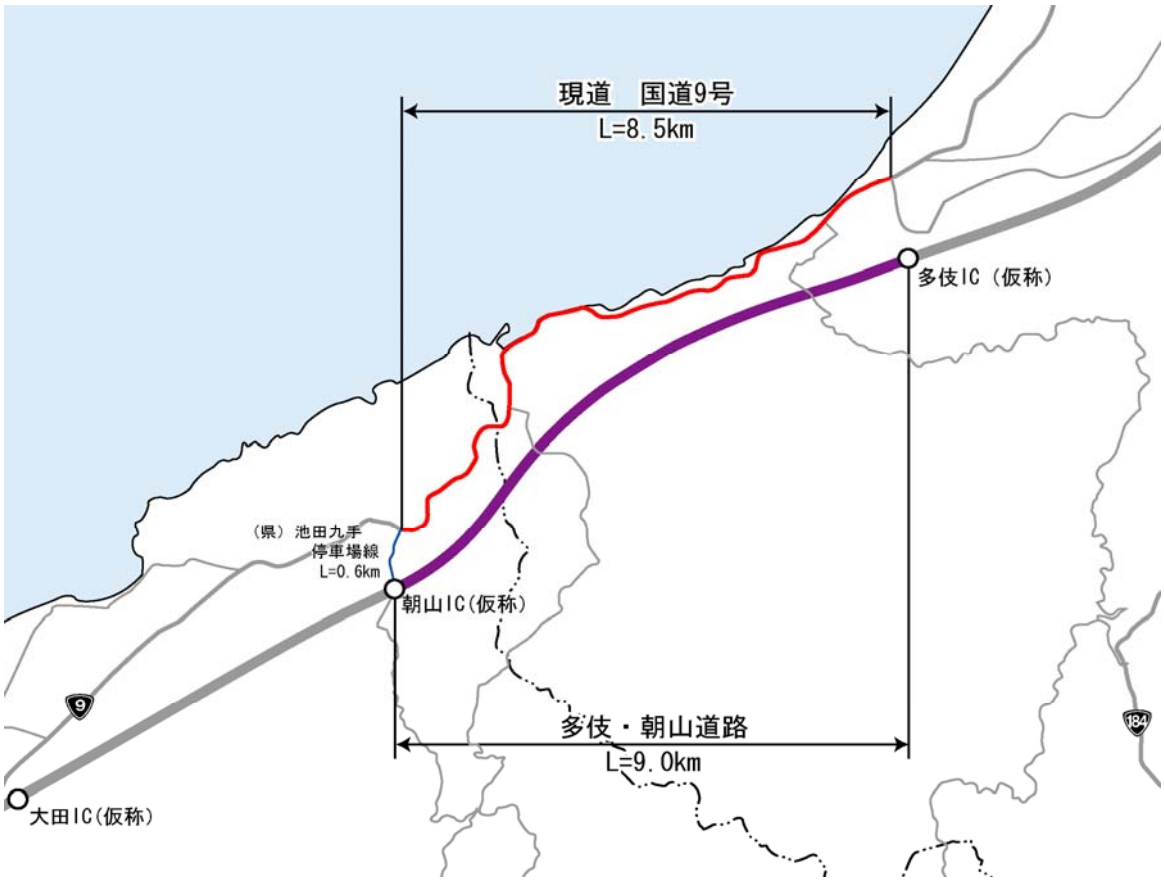
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名： 多伎・朝山道路

（２）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成２０年１１月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	１時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたＯＤ表	道路交通センサスをベースとした自動車ＯＤ表（三段階推定法）		■（H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車ＯＤ表（四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Ｑ－Ｖ式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Ｑ－Ｖ式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とＱＶ式との関係から平均速度を設定）		■

事業名： 多伎・朝山道路

（３）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（ 0.24 ）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年間の平均日数	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績値がないため	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名： 多伎・朝山道路

（４）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.13	9.0	1.21

箇所名：多伎・朝山道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDPデフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
−13年目	H 18	1.3159	98.7	4.43	5.44		
−12年目	H 19	1.2653	97.6	4.10	4.90		
−11年目	H 20	1.2167	96.8	11.35	13.14		
−10年目	H 21	1.1699	95.6	10.12	11.41		
−9年目	H 22	1.1249	93.7	15.32	16.94		
−8年目	H 23	1.0816	92.1	18.16	19.64		
−7年目	H 24	1.0400	92.1	27.96	29.08		
−6年目	H 25	1.0000	92.1	45.73	45.73		
−5年目	H 26	0.9615	92.1	55.84	53.69		
−4年目	H 27	0.9246	92.1	62.51	57.79		
−3年目	H 28	0.8890	92.1	77.54	68.93		
−2年目	H 29	0.8548	92.1	35.19	30.08		
−1年目	H 30	0.8219	92.1	22.82	18.76		
供用開始年次	H 31	0.7903	92.1			1.15	0.91
1年目	H 32	0.7599	92.1			1.15	0.88
2年目	H 33	0.7307	92.1			1.15	0.84
3年目	H 34	0.7026	92.1			1.15	0.81
4年目	H 35	0.6756	92.1			1.15	0.78
5年目	H 36	0.6496	92.1			1.15	0.75
6年目	H 37	0.6246	92.1			1.15	0.72
7年目	H 38	0.6006	92.1			1.15	0.69
8年目	H 39	0.5775	92.1			1.15	0.67
9年目	H 40	0.5553	92.1			1.15	0.64
10年目	H 41	0.5339	92.1			1.15	0.62
11年目	H 42	0.5134	92.1			1.15	0.59
12年目	H 43	0.4936	92.1			1.15	0.57
13年目	H 44	0.4746	92.1			1.15	0.55
14年目	H 45	0.4564	92.1			1.15	0.53
15年目	H 46	0.4388	92.1			1.15	0.51
16年目	H 47	0.4220	92.1			1.15	0.49
17年目	H 48	0.4057	92.1			1.15	0.47
18年目	H 49	0.3901	92.1			1.15	0.45
19年目	H 50	0.3751	92.1			1.15	0.43
20年目	H 51	0.3607	92.1			1.15	0.42
21年目	H 52	0.3468	92.1			1.15	0.40
22年目	H 53	0.3335	92.1			1.15	0.38
23年目	H 54	0.3207	92.1			1.15	0.37
24年目	H 55	0.3083	92.1			1.15	0.36
25年目	H 56	0.2965	92.1			1.15	0.34
26年目	H 57	0.2851	92.1			1.15	0.33
27年目	H 58	0.2741	92.1			1.15	0.32
28年目	H 59	0.2636	92.1			1.15	0.30
29年目	H 60	0.2534	92.1			1.15	0.29
30年目	H 61	0.2437	92.1			1.15	0.28
31年目	H 62	0.2343	92.1			1.15	0.27
32年目	H 63	0.2253	92.1			1.15	0.26
33年目	H 64	0.2166	92.1			1.15	0.25
34年目	H 65	0.2083	92.1			1.15	0.24
35年目	H 66	0.2003	92.1			1.15	0.23
36年目	H 67	0.1926	92.1			1.15	0.22
37年目	H 68	0.1852	92.1			1.15	0.21
38年目	H 69	0.1780	92.1			1.15	0.21
39年目	H 70	0.1712	92.1			1.15	0.20
40年目	H 71	0.1646	92.1			1.15	0.19
41年目	H 72	0.1583	92.1			1.15	0.18
42年目	H 73	0.1522	92.1			1.15	0.18
43年目	H 74	0.1463	92.1			1.15	0.17
44年目	H 75	0.1407	92.1			1.15	0.16
45年目	H 76	0.1353	92.1			1.15	0.16
46年目	H 77	0.1301	92.1			1.15	0.15
47年目	H 78	0.1251	92.1			1.15	0.14
48年目	H 79	0.1203	92.1			1.15	0.14
49年目	H 80	0.1157	92.1	−6.29	−0.73	1.15	0.13
合　計				384.78	374.80	57.62	20.35

単純事業費計		391.07	57.62

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.13	9.0	1.21

箇所名：多伎・朝山道路(残事業)

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
-5年目	H 26	0.9615	92.1	55.84	53.69		
-4年目	H 27	0.9246	92.1	62.51	57.79		
-3年目	H 28	0.8890	92.1	77.54	68.93		
-2年目	H 29	0.8548	92.1	35.19	30.08		
-1年目	H 30	0.8219	92.1	22.82	18.76		
供用開始年次	H 31	0.7903	92.1			1.15	0.91
1年目	H 32	0.7599	92.1			1.15	0.88
2年目	H 33	0.7307	92.1			1.15	0.84
3年目	H 34	0.7026	92.1			1.15	0.81
4年目	H 35	0.6756	92.1			1.15	0.78
5年目	H 36	0.6496	92.1			1.15	0.75
6年目	H 37	0.6246	92.1			1.15	0.72
7年目	H 38	0.6006	92.1			1.15	0.69
8年目	H 39	0.5775	92.1			1.15	0.67
9年目	H 40	0.5553	92.1			1.15	0.64
10年目	H 41	0.5339	92.1			1.15	0.62
11年目	H 42	0.5134	92.1			1.15	0.59
12年目	H 43	0.4936	92.1			1.15	0.57
13年目	H 44	0.4746	92.1			1.15	0.55
14年目	H 45	0.4564	92.1			1.15	0.53
15年目	H 46	0.4388	92.1			1.15	0.51
16年目	H 47	0.4220	92.1			1.15	0.49
17年目	H 48	0.4057	92.1			1.15	0.47
18年目	H 49	0.3901	92.1			1.15	0.45
19年目	H 50	0.3751	92.1			1.15	0.43
20年目	H 51	0.3607	92.1			1.15	0.42
21年目	H 52	0.3468	92.1			1.15	0.40
22年目	H 53	0.3335	92.1			1.15	0.38
23年目	H 54	0.3207	92.1			1.15	0.37
24年目	H 55	0.3083	92.1			1.15	0.36
25年目	H 56	0.2965	92.1			1.15	0.34
26年目	H 57	0.2851	92.1			1.15	0.33
27年目	H 58	0.2741	92.1			1.15	0.32
28年目	H 59	0.2636	92.1			1.15	0.30
29年目	H 60	0.2534	92.1			1.15	0.29
30年目	H 61	0.2437	92.1			1.15	0.28
31年目	H 62	0.2343	92.1			1.15	0.27
32年目	H 63	0.2253	92.1			1.15	0.26
33年目	H 64	0.2166	92.1			1.15	0.25
34年目	H 65	0.2083	92.1			1.15	0.24
35年目	H 66	0.2003	92.1			1.15	0.23
36年目	H 67	0.1926	92.1			1.15	0.22
37年目	H 68	0.1852	92.1			1.15	0.21
38年目	H 69	0.1780	92.1			1.15	0.21
39年目	H 70	0.1712	92.1			1.15	0.20
40年目	H 71	0.1646	92.1			1.15	0.19
41年目	H 72	0.1583	92.1			1.15	0.18
42年目	H 73	0.1522	92.1			1.15	0.18
43年目	H 74	0.1463	92.1			1.15	0.17
44年目	H 75	0.1407	92.1			1.15	0.16
45年目	H 76	0.1353	92.1			1.15	0.16
46年目	H 77	0.1301	92.1			1.15	0.15
47年目	H 78	0.1251	92.1			1.15	0.14
48年目	H 79	0.1203	92.1			1.15	0.14
49年目	H 80	0.1157	92.1	-0.14	-0.02	1.15	0.13
合　計				253.76	229.24	57.62	20.35

単純事業費計		253.90	57.62

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：多伎・朝山道路（事業全体）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計（億円）	
	H25	乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	(A)	(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	10.96	3.37	16.47	30.80	24.34	2.18	0.45	3.17	5.80	4.58	2.95	2.33	39.54	31.25
1年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	10.90	3.34	16.59	30.83	23.43	2.17	0.44	3.20	5.81	4.42	2.93	2.23	39.58	30.08
2年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	10.86	3.32	16.78	30.95	22.61	2.16	0.44	3.23	5.83	4.26	2.92	2.14	39.71	29.01
3年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	10.81	3.29	16.96	31.06	21.82	2.15	0.44	3.27	5.86	4.11	2.92	2.05	39.84	27.99
4年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	10.77	3.27	17.14	31.18	21.06	2.14	0.43	3.30	5.88	3.97	2.91	1.96	39.97	27.00
5年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	10.73	3.24	17.33	31.29	20.33	2.13	0.43	3.34	5.90	3.83	2.90	1.88	40.10	26.05
6年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	10.69	3.21	17.51	31.41	19.62	2.13	0.43	3.37	5.93	3.70	2.89	1.81	40.23	25.12
7年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	10.64	3.19	17.69	31.52	18.93	2.12	0.42	3.41	5.95	3.57	2.88	1.73	40.36	24.24
8年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	10.60	3.16	17.87	31.64	18.27	2.11	0.42	3.45	5.97	3.45	2.87	1.66	40.49	23.38
9年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	10.56	3.14	18.06	31.75	17.63	2.10	0.42	3.48	6.00	3.33	2.86	1.59	40.62	22.55
10年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	10.52	3.11	18.24	31.87	17.01	2.09	0.41	3.52	6.02	3.21	2.86	1.52	40.75	21.75
11年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	10.47	3.09	18.42	31.98	16.42	2.08	0.41	3.55	6.04	3.10	2.85	1.46	40.87	20.98
12年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	10.37	3.07	18.43	31.86	15.73	2.06	0.41	3.55	6.02	2.97	2.82	1.39	40.71	20.10
13年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	10.26	3.05	18.44	31.74	15.07	2.04	0.40	3.55	6.00	2.85	2.80	1.33	40.55	19.24
14年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	10.16	3.02	18.44	31.63	14.43	2.02	0.40	3.56	5.98	2.73	2.78	1.27	40.38	18.43
15年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	10.05	3.00	18.45	31.51	13.83	2.00	0.40	3.56	5.95	2.61	2.76	1.21	40.22	17.65
16年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	9.95	2.98	18.46	31.39	13.24	1.98	0.40	3.56	5.93	2.50	2.73	1.15	40.05	16.90
17年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	9.84	2.96	18.46	31.27	12.69	1.96	0.39	3.56	5.91	2.40	2.71	1.10	39.89	16.18
18年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	9.73	2.94	18.47	31.15	12.15	1.94	0.39	3.56	5.89	2.30	2.69	1.05	39.72	15.50
19年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	9.63	2.92	18.48	31.03	11.64	1.92	0.39	3.56	5.87	2.20	2.67	1.00	39.56	14.84
20年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	9.52	2.90	18.49	30.91	11.15	1.89	0.39	3.56	5.84	2.11	2.64	0.95	39.40	14.21
21年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	9.42	2.88	18.49	30.79	10.68	1.87	0.38	3.56	5.82	2.02	2.62	0.91	39.23	13.61
22年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	9.31	2.86	18.50	30.67	10.23	1.85	0.38	3.57	5.80	1.93	2.60	0.87	39.07	13.03
23年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	9.21	2.84	18.51	30.55	9.80	1.83	0.38	3.57	5.78	1.85	2.57	0.83	38.90	12.47
24年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	9.10	2.82	18.51	30.43	9.38	1.81	0.37	3.57	5.75	1.77	2.55	0.79	38.74	11.94
25年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	9.00	2.80	18.52	30.31	8.99	1.79	0.37	3.57	5.73	1.70	2.53	0.75	38.57	11.44
26年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	8.89	2.78	18.53	30.19	8.61	1.77	0.37	3.57	5.71	1.63	2.51	0.71	38.41	10.95
27年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	8.79	2.76	18.53	30.08	8.24	1.75	0.37	3.57	5.69	1.56	2.48	0.68	38.24	10.48
28年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	8.68	2.74	18.54	29.96	7.89	1.73	0.36	3.57	5.66	1.49	2.46	0.65	38.08	10.04
29年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	8.58	2.71	18.55	29.84	7.56	1.71	0.36	3.58	5.64	1.43	2.44	0.62	37.92	9.61
30年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	8.47	2.69	18.55	29.72	7.24	1.68	0.36	3.58	5.62	1.37	2.42	0.59	37.75	9.20
31年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	8.36	2.67	18.56	29.60	6.93	1.66	0.36	3.58	5.60	1.31	2.39	0.56	37.59	8.81
32年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	8.26	2.65	18.57	29.48	6.64	1.64	0.35	3.58	5.57	1.26	2.37	0.53	37.42	8.43
33年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	8.15	2.63	18.57	29.36	6.36	1.62	0.35	3.58	5.55	1.20	2.35	0.51	37.26	8.07
34年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	8.05	2.61	18.58	29.24	6.09	1.60	0.35	3.58	5.53	1.15	2.32	0.48	37.09	7.73
35年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	7.94	2.59	18.59	29.12	5.83	1.58	0.34	3.58	5.51	1.10	2.30	0.46	36.93	7.40
36年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	7.84	2.57	18.59	29.00	5.59	1.56	0.34	3.58	5.48	1.06	2.28	0.44	36.77	7.08
37年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	7.73	2.55	18.60	28.88	5.35	1.54	0.34	3.59	5.46	1.01	2.26	0.42	36.60	6.78
38年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	7.63	2.53	18.61	28.76	5.12	1.52	0.34	3.59	5.44	0.97	2.23	0.40	36.44	6.49
39年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	7.52	2.51	18.62	28.64	4.90	1.50	0.33	3.59	5.42	0.93	2.21	0.38	36.27	6.21
40年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	7.42	2.49	18.62	28.53	4.70	1.47	0.33	3.59	5.39	0.89	2.19	0.36	36.11	5.94
41年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	7.31	2.47	18.63	28.41	4.50	1.45	0.33	3.59	5.37	0.85	2.17	0.34	35.94	5.69
42年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	7.20	2.45	18.64	28.29	4.31	1.43	0.33	3.59	5.35	0.81	2.14	0.33	35.78	5.45
43年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	7.10	2.43	18.64	28.17	4.12	1.41	0.32	3.59	5.33	0.78	2.12	0.31	35.62	5.21
44年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	6.99	2.40	18.65	28.05	3.95	1.39	0.32	3.59	5.31	0.75	2.10	0.30	35.45	4.99
45年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	6.89	2.38	18.66	27.93	3.78	1.37	0.32	3.60	5.28	0.71	2.07	0.28	35.29	4.77
46年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	6.78	2.36	18.66	27.81	3.62	1.35	0.31	3.60	5.26	0.68	2.05	0.27	35.12	4.57
47年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	6.68	2.34	18.67	27.69	3.46	1.33	0.31	3.60	5.24	0.66	2.03	0.25	34.96	4.37
48年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	6.57	2.32	18.68	27.57	3.32	1.31	0.31	3.60	5.22	0.63	2.01	0.24	34.79	4.18
49年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	6.47	2.30	18.68	27.45	3.17	1.29	0.31	3.60	5.19	0.60	1.98	0.23	34.63	4.01
合計								448.35	140.70	914.23	1,503.29	541.77	89.16	18.70	176.22	284.09	102.33	126.09	47.29	1,913.47	691.39

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：多伎・朝山道路(残事業)

年次	年度(基準年) H25	総走行台キロの年次別伸び率(山陰ブロック) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車	割戻率 (A)	GDPデフレータ (B)	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計(億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	10.96	3.37	16.47	30.80	24.34	2.18	0.45	3.17	5.80	4.58	2.95	2.33	39.54	31.25
1年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	10.90	3.34	16.59	30.83	23.43	2.17	0.44	3.20	5.81	4.42	2.93	2.23	39.58	30.08
2年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	10.86	3.32	16.78	30.95	22.61	2.16	0.44	3.23	5.83	4.26	2.92	2.14	39.71	29.01
3年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	10.81	3.29	16.96	31.06	21.82	2.15	0.44	3.27	5.86	4.11	2.92	2.05	39.84	27.99
4年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	10.77	3.27	17.14	31.18	21.06	2.14	0.43	3.30	5.88	3.97	2.91	1.96	39.97	27.00
5年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	10.73	3.24	17.33	31.29	20.33	2.13	0.43	3.34	5.90	3.83	2.90	1.88	40.10	26.05
6年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	10.69	3.21	17.51	31.41	19.62	2.13	0.43	3.37	5.93	3.70	2.89	1.81	40.23	25.12
7年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	10.64	3.19	17.69	31.52	18.93	2.12	0.42	3.41	5.95	3.57	2.88	1.73	40.36	24.24
8年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	10.60	3.16	17.87	31.64	18.27	2.11	0.42	3.45	5.97	3.45	2.87	1.66	40.49	23.38
9年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	10.56	3.14	18.06	31.75	17.63	2.10	0.42	3.48	6.00	3.33	2.86	1.59	40.62	22.55
10年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	10.52	3.11	18.24	31.87	17.01	2.09	0.41	3.52	6.02	3.21	2.86	1.52	40.75	21.75
11年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	10.47	3.09	18.42	31.98	16.42	2.08	0.41	3.55	6.04	3.10	2.85	1.46	40.87	20.98
12年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	10.37	3.07	18.43	31.86	15.73	2.06	0.41	3.55	6.02	2.97	2.82	1.39	40.71	20.10
13年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	10.26	3.05	18.44	31.74	15.07	2.04	0.40	3.55	6.00	2.85	2.80	1.33	40.55	19.24
14年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	10.16	3.02	18.44	31.63	14.43	2.02	0.40	3.56	5.98	2.73	2.78	1.27	40.38	18.43
15年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	10.05	3.00	18.45	31.51	13.83	2.00	0.40	3.56	5.95	2.61	2.76	1.21	40.22	17.65
16年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	9.95	2.98	18.46	31.39	13.24	1.98	0.40	3.56	5.93	2.50	2.73	1.15	40.05	16.90
17年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	9.84	2.96	18.46	31.27	12.69	1.96	0.39	3.56	5.91	2.40	2.71	1.10	39.89	16.18
18年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	9.73	2.94	18.47	31.15	12.15	1.94	0.39	3.56	5.89	2.30	2.69	1.05	39.72	15.50
19年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	9.63	2.92	18.48	31.03	11.64	1.92	0.39	3.56	5.87	2.20	2.67	1.00	39.56	14.84
20年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	9.52	2.90	18.49	30.91	11.15	1.89	0.39	3.56	5.84	2.11	2.64	0.95	39.40	14.21
21年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	9.42	2.88	18.49	30.79	10.68	1.87	0.38	3.56	5.82	2.02	2.62	0.91	39.23	13.61
22年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	9.31	2.86	18.50	30.67	10.23	1.85	0.38	3.57	5.80	1.93	2.60	0.87	39.07	13.03
23年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	9.21	2.84	18.51	30.55	9.80	1.83	0.38	3.57	5.78	1.85	2.57	0.83	38.90	12.47
24年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	9.10	2.82	18.51	30.43	9.38	1.81	0.37	3.57	5.75	1.77	2.55	0.79	38.74	11.94
25年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	9.00	2.80	18.52	30.31	8.99	1.79	0.37	3.57	5.73	1.70	2.53	0.75	38.57	11.44
26年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	8.89	2.78	18.53	30.19	8.61	1.77	0.37	3.57	5.71	1.63	2.51	0.71	38.41	10.95
27年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	8.79	2.76	18.53	30.08	8.24	1.75	0.37	3.57	5.69	1.56	2.48	0.68	38.24	10.48
28年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	8.68	2.74	18.54	29.96	7.89	1.73	0.36	3.57	5.66	1.49	2.46	0.65	38.08	10.04
29年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	8.58	2.71	18.55	29.84	7.56	1.71	0.36	3.58	5.64	1.43	2.44	0.62	37.92	9.61
30年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	8.47	2.69	18.55	29.72	7.24	1.68	0.36	3.58	5.62	1.37	2.42	0.59	37.75	9.20
31年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	8.36	2.67	18.56	29.60	6.93	1.66	0.36	3.58	5.60	1.31	2.39	0.56	37.59	8.81
32年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	8.26	2.65	18.57	29.48	6.64	1.64	0.35	3.58	5.57	1.26	2.37	0.53	37.42	8.43
33年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	8.15	2.63	18.57	29.36	6.36	1.62	0.35	3.58	5.55	1.20	2.35	0.51	37.26	8.07
34年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	8.05	2.61	18.58	29.24	6.09	1.60	0.35	3.58	5.53	1.15	2.32	0.48	37.09	7.73
35年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	7.94	2.59	18.59	29.12	5.83	1.58	0.34	3.58	5.51	1.10	2.30	0.46	36.93	7.40
36年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	7.84	2.57	18.59	29.00	5.59	1.56	0.34	3.58	5.48	1.06	2.28	0.44	36.77	7.08
37年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	7.73	2.55	18.60	28.88	5.35	1.54	0.34	3.59	5.46	1.01	2.26	0.42	36.60	6.78
38年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	7.63	2.53	18.61	28.76	5.12	1.52	0.34	3.59	5.44	0.97	2.23	0.40	36.44	6.49
39年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	7.52	2.51	18.62	28.64	4.90	1.50	0.33	3.59	5.42	0.93	2.21	0.38	36.27	6.21
40年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	7.42	2.49	18.62	28.53	4.70	1.47	0.33	3.59	5.39	0.89	2.19	0.36	36.11	5.94
41年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	7.31	2.47	18.63	28.41	4.50	1.45	0.33	3.59	5.37	0.85	2.17	0.34	35.94	5.69
42年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	7.20	2.45	18.64	28.29	4.31	1.43	0.33	3.59	5.35	0.81	2.14	0.33	35.78	5.45
43年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	7.10	2.43	18.64	28.17	4.12	1.41	0.32	3.59	5.33	0.78	2.12	0.31	35.62	5.21
44年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	6.99	2.40	18.65	28.05	3.95	1.39	0.32	3.59	5.31	0.75	2.10	0.30	35.45	4.99
45年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	6.89	2.38	18.66	27.93	3.78	1.37	0.32	3.60	5.28	0.71	2.07	0.28	35.29	4.77
46年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	6.78	2.36	18.66	27.81	3.62	1.35	0.31	3.60	5.26	0.68	2.05	0.27	35.12	4.57
47年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	6.68	2.34	18.67	27.69	3.46	1.33	0.31	3.60	5.24	0.66	2.03	0.25	34.96	4.37
48年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	6.57	2.32	18.68	27.57	3.32	1.31	0.31	3.60	5.22	0.63	2.01	0.24	34.79	4.18
49年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	6.47	2.30	18.68	27.45	3.17	1.29	0.31	3.60	5.19	0.60	1.98	0.23	34.63	4.01
合 計								448.35	140.70	914.23	1,503.29	541.77	89.16	18.70	176.22	284.09	102.33	126.09	47.29	1,913.47	691.39

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	多伎・朝山道路	2	9.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					34,706	
	改良費				20,398	
		土工	m3	2,856,295	14,133	切土(1,493,251m3)、盛土(1,363,044m3)
		軟弱地盤改良工	m3	50,400	372	
		法面工	m2	243,732	4,083	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	275	ブロック積擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	1,164	225	
		函渠工	m	182	212	
		排水工	m	8,046	397	
		中央分離帯工	m	4,638	21	
		雑工	式	1	680	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				8,047	
		100m以上	m	1,752	7,336	PC橋 3橋、鋼橋 4橋
		100m未満	m	179	711	PC橋 2橋、鋼橋 2橋
	トンネル費				3,619	
		NATM	m	1,223	3,619	3本
		シールド	m			
	IC・JCT費				573	
		IC	箇所	2	573	ダイヤモンド型 2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				563	
		車道舗装	m2	61,315	563	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				1,506	
		交通管理施設工	式	1	1,352	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	1,960	154	
②用地及補償費					1,244	
	用地費			363,259	629	
		宅地	m2	4,289	108	
		田畑	m2	34,073	353	
		山林・原野	m2	324,753	164	
		その他	m2	144	4	
	補償費		式	1	615	
③間接経費			式	1	5,050	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					41,000	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	多伎・朝山道路	2	9.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					23,920	
	改良費				12,529	
		土工	m3	1,605,384	9,017	切土(867,702m3)、盛土(737,682m3)
		軟弱地盤改良工	m3	24,500	181	
		法面工	m2	159,992	2,654	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	100	ブロック積擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	338	135	
		函渠工	m	80	93	
		排水工	m	4,840	239	
		中央分離帯工	m	4,638	21	
		雑工	式	1	89	工事用道路等
	橋梁費				5,416	
		100m以上	m	1,638	5,038	PC橋 3橋、鋼橋 4橋
		100m未満	m	136	378	PC橋 2橋、鋼橋 2橋
	トンネル費				3,619	
		NATM	m	1,223	3,619	3本
		シールド	m			
	IC・JCT費				287	
		IC	箇所	1	287	ダイヤモンド型 2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				563	
		車道舗装	m2	61,315	563	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				1,506	
		交通管理施設工	式	1	1,352	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	1,960	154	
②用地及補償費					81	
	用地費			4,168	14	
		宅地	m2	250	6	
		田畑	m2	588	6	
		山林・原野	m2	3,330	2	
		その他	m2	0	0	
	補償費		式	1	67	
③間接経費			式	1	2,655	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					26,656	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	多伎・朝山道路	2	9.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	9.0	1,350	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,050	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	多伎・朝山道路	2	9.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	9.0	1,350	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,050	

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　朝山・大田道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.4（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝341億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝9.6%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝3.4（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝413億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝14.1%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（朝山・大田道路［大田市朝山町朝倉～大田市久手町刺鹿］） 当該区間の渋滞損失削減時間：499千人・時間/年（24,487千人・時間/年→23,988千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：2.0%削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通（波根線）1日7便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	特急停車駅である出雲市駅へのアクセス向上が見込まれる（大田市朝山地区～大田市駅：12分→11分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	大田市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる（63分⇒50分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	和江漁港・五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1．活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	出雲市～大田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市出雲市～大田市間の所要時間短縮が見込まれる（50分⇒44分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	大田市朝山地区から大田市への所要時間短縮が見込まれる（15分⇒13分）
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	大田市から島根県立中央病院へのアクセス向上が見込まれる（43分⇒38分）※山陰道が全線整備された場合の値

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：出雲市～大田市間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：7.7千t／年、排出削減率：約0.6%削減（整備なし:1,389千t／年⇒整備あり：1,382千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：25.3t／年、排出削減率：約0.7%削減（整備なし:3,379t／年⇒整備あり：3,354t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.8t／年、排出削減率：約1.0%削減（整備なし:181t／年⇒整備あり：179t／年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	多伎・朝山道路、大田・静間道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」 平成24年3月 大田市総合計画2007-2016　平成19年3月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	朝山・大田道路	L= 6.3 km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
16,000	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	241億円	46億円	288億円
うち残事業分	172億円	46億円	218億円
基準年における現在価値（C）	226億円	16億円	242億円
うち残事業分	154億円	16億円	170億円

② 便　益（拡張便益含む）

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成31年度			
単年便益（初年便益）	26億円	5.3億円	1.9億円	33億円
基準年における現在価値（B）	457億円	95億円	31億円	583億円
うち残事業分	457億円	95億円	31億円	583億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	2.4
経済的純現在価値（事業全体）	341億円
経済的内部収益率（事業全体）	9.6%
費用便益比（残事業）	3.4
経済的純現在価値（残事業）	413億円
経済的内部収益率（残事業）	14.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,000	±１０％	2.1 ～ 2.8
事業費	241億円	±１０％	2.3 ～ 2.6
事業期間	12年	±２０％	2.3 ～ 2.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,000	±１０％	2.9 ～ 4.0
事業費	172億円	±１０％	3.1 ～ 3.8
事業期間	5年	±２０％	3.3 ～ 3.6

交通状況の変化

様式－３①

事業名：朝山・大田道路（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,000
		走行時間※2	[分]	－	5
：6.3km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	17.53
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	22,900	7,400
		走行時間	[分]	11	9
	：7.0km	走行時間費用	[億円/年]	48.33	12.43
	（県）池田久手停車場線	交通量	[台/日]	15,900	2,500
		走行時間	[分]	2	1
	：0.6km	走行時間費用	[億円/年]	6.41	0.50
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：4002.6km		走行時間費用	[億円/年]	3,258.04	3,255.39

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：4016.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,312.78	3,285.84	26.94

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

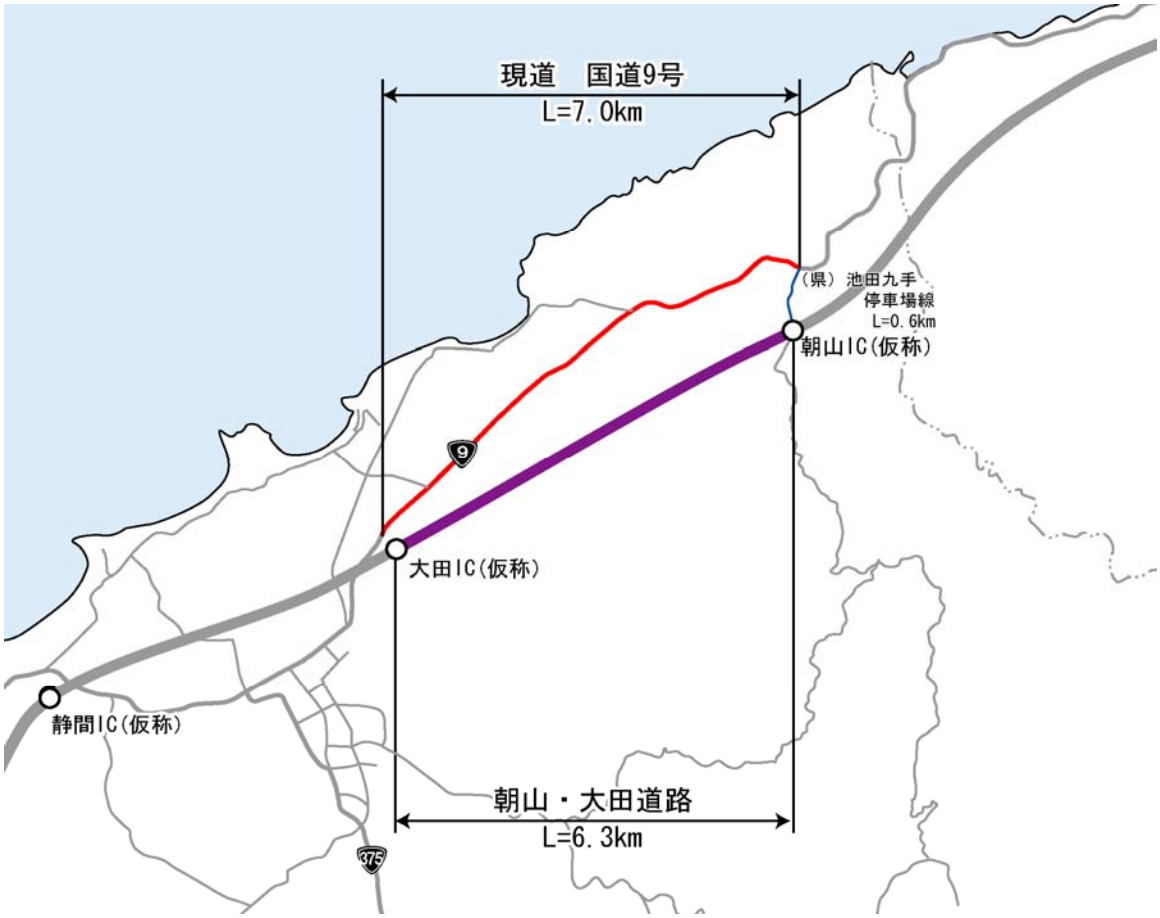
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



交通状況の変化

様式－３①

事業名：朝山・大田道路（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,000
		走行時間※2	[分]	－	5
：6.3km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	17.53
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	22,900	7,400
		走行時間	[分]	11	9
	：7.0km	走行時間費用	[億円/年]	48.33	12.43
	（県）池田久手停車場線	交通量	[台/日]	15,900	2,500
		走行時間	[分]	2	1
	：0.6km	走行時間費用	[億円/年]	6.41	0.50
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：4002.6km		走行時間費用	[億円/年]	3,258.04	3,255.39

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：4016.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,312.78	3,285.84	26.94

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

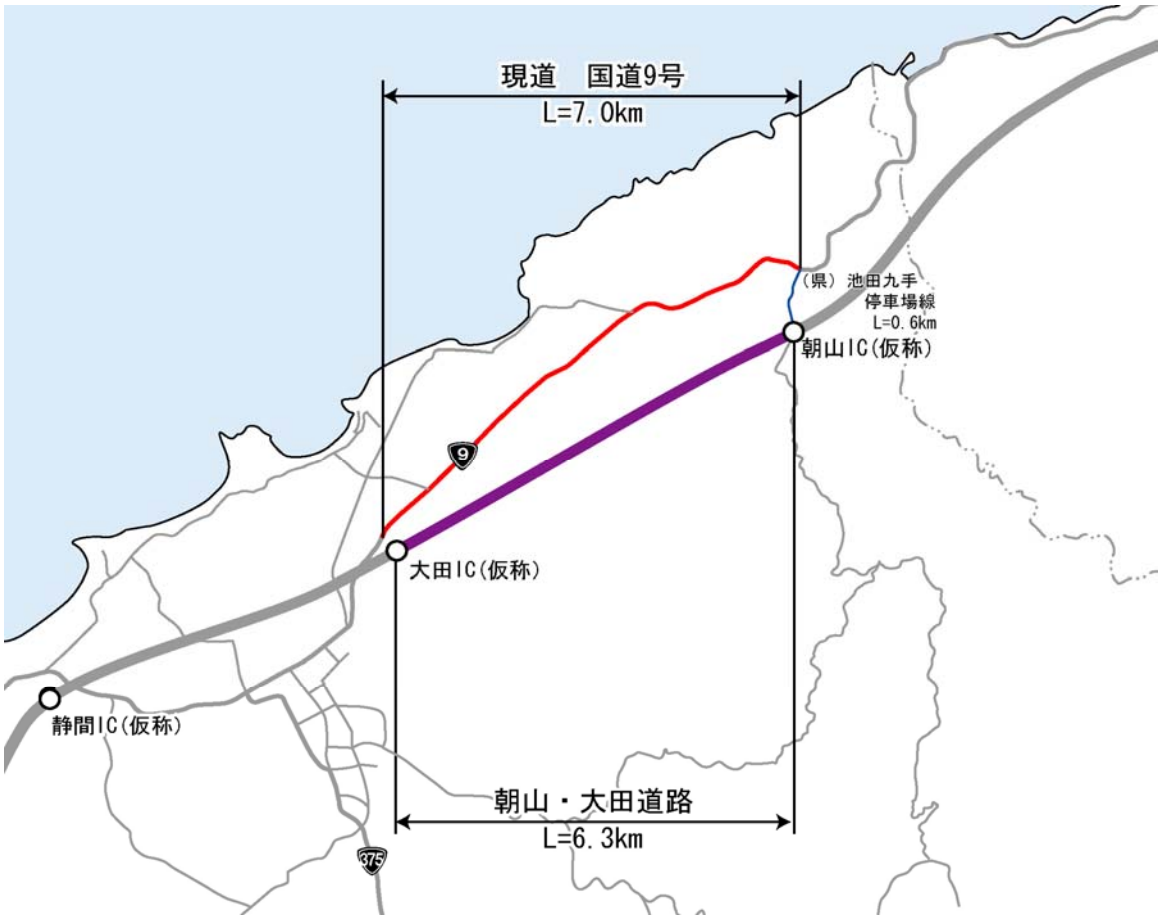
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名： 朝山・大田道路

（２）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成２０年１１月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	１時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたＯＤ表	道路交通センサスをベースとした自動車ＯＤ表（三段階推定法）		■（H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車ＯＤ表（四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Ｑ－Ｖ式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Ｑ－Ｖ式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とＱＶ式との関係から平均速度を設定）		■

事業名： 朝山・大田道路

（３）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（0.09）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年間の平均日数	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績値がないため	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名： 朝山・大田道路

（４）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	6.3	0.97

箇所名：朝山・大田道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDPデフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
−12年目	H 19	1.2653	97.6	1.79	2.14		
−11年目	H 20	1.2167	96.8	2.51	2.91		
−10年目	H 21	1.1699	95.6	5.15	5.80		
−9年目	H 22	1.1249	93.7	2.06	2.28		
−8年目	H 23	1.0816	92.1	7.86	8.50		
−7年目	H 24	1.0400	92.1	17.61	18.31		
−6年目	H 25	1.0000	92.1	32.48	32.48		
−5年目	H 26	0.9615	92.1	32.30	31.06		
−4年目	H 27	0.9246	92.1	44.02	40.70		
−3年目	H 28	0.8890	92.1	34.81	30.95		
−2年目	H 29	0.8548	92.1	32.93	28.15		
−1年目	H 30	0.8219	92.1	27.87	22.91		
供用開始年次	H 31	0.7903	92.1			0.92	0.73
1年目	H 32	0.7599	92.1			0.92	0.70
2年目	H 33	0.7307	92.1			0.92	0.68
3年目	H 34	0.7026	92.1			0.92	0.65
4年目	H 35	0.6756	92.1			0.92	0.62
5年目	H 36	0.6496	92.1			0.92	0.60
6年目	H 37	0.6246	92.1			0.92	0.58
7年目	H 38	0.6006	92.1			0.92	0.55
8年目	H 39	0.5775	92.1			0.92	0.53
9年目	H 40	0.5553	92.1			0.92	0.51
10年目	H 41	0.5339	92.1			0.92	0.49
11年目	H 42	0.5134	92.1			0.92	0.47
12年目	H 43	0.4936	92.1			0.92	0.46
13年目	H 44	0.4746	92.1			0.92	0.44
14年目	H 45	0.4564	92.1			0.92	0.42
15年目	H 46	0.4388	92.1			0.92	0.41
16年目	H 47	0.4220	92.1			0.92	0.39
17年目	H 48	0.4057	92.1			0.92	0.37
18年目	H 49	0.3901	92.1			0.92	0.36
19年目	H 50	0.3751	92.1			0.92	0.35
20年目	H 51	0.3607	92.1			0.92	0.33
21年目	H 52	0.3468	92.1			0.92	0.32
22年目	H 53	0.3335	92.1			0.92	0.31
23年目	H 54	0.3207	92.1			0.92	0.30
24年目	H 55	0.3083	92.1			0.92	0.28
25年目	H 56	0.2965	92.1			0.92	0.27
26年目	H 57	0.2851	92.1			0.92	0.26
27年目	H 58	0.2741	92.1			0.92	0.25
28年目	H 59	0.2636	92.1			0.92	0.24
29年目	H 60	0.2534	92.1			0.92	0.23
30年目	H 61	0.2437	92.1			0.92	0.23
31年目	H 62	0.2343	92.1			0.92	0.22
32年目	H 63	0.2253	92.1			0.92	0.21
33年目	H 64	0.2166	92.1			0.92	0.20
34年目	H 65	0.2083	92.1			0.92	0.19
35年目	H 66	0.2003	92.1			0.92	0.19
36年目	H 67	0.1926	92.1			0.92	0.18
37年目	H 68	0.1852	92.1			0.92	0.17
38年目	H 69	0.1780	92.1			0.92	0.16
39年目	H 70	0.1712	92.1			0.92	0.16
40年目	H 71	0.1646	92.1			0.92	0.15
41年目	H 72	0.1583	92.1			0.92	0.15
42年目	H 73	0.1522	92.1			0.92	0.14
43年目	H 74	0.1463	92.1			0.92	0.14
44年目	H 75	0.1407	92.1			0.92	0.13
45年目	H 76	0.1353	92.1			0.92	0.12
46年目	H 77	0.1301	92.1			0.92	0.12
47年目	H 78	0.1251	92.1			0.92	0.12
48年目	H 79	0.1203	92.1			0.92	0.11
49年目	H 80	0.1157	92.1	−4.77	−0.55	0.92	0.11
合　計				236.62	225.63	46.19	16.31

単純事業費計		241.39	46.19

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	6.3	0.97

箇所名：朝山・大田道路(残事業)

年次	年度	割戻率	GDPデフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
-5年目	H 26	0.9615	92.1	32.30	31.06		
-4年目	H 27	0.9246	92.1	44.02	40.70		
-3年目	H 28	0.8890	92.1	34.81	30.95		
-2年目	H 29	0.8548	92.1	32.93	28.15		
-1年目	H 30	0.8219	92.1	27.87	22.91		
供用開始年次	H 31	0.7903	92.1			0.92	0.73
1年目	H 32	0.7599	92.1			0.92	0.70
2年目	H 33	0.7307	92.1			0.92	0.68
3年目	H 34	0.7026	92.1			0.92	0.65
4年目	H 35	0.6756	92.1			0.92	0.62
5年目	H 36	0.6496	92.1			0.92	0.60
6年目	H 37	0.6246	92.1			0.92	0.58
7年目	H 38	0.6006	92.1			0.92	0.55
8年目	H 39	0.5775	92.1			0.92	0.53
9年目	H 40	0.5553	92.1			0.92	0.51
10年目	H 41	0.5339	92.1			0.92	0.49
11年目	H 42	0.5134	92.1			0.92	0.47
12年目	H 43	0.4936	92.1			0.92	0.46
13年目	H 44	0.4746	92.1			0.92	0.44
14年目	H 45	0.4564	92.1			0.92	0.42
15年目	H 46	0.4388	92.1			0.92	0.41
16年目	H 47	0.4220	92.1			0.92	0.39
17年目	H 48	0.4057	92.1			0.92	0.37
18年目	H 49	0.3901	92.1			0.92	0.36
19年目	H 50	0.3751	92.1			0.92	0.35
20年目	H 51	0.3607	92.1			0.92	0.33
21年目	H 52	0.3468	92.1			0.92	0.32
22年目	H 53	0.3335	92.1			0.92	0.31
23年目	H 54	0.3207	92.1			0.92	0.30
24年目	H 55	0.3083	92.1			0.92	0.28
25年目	H 56	0.2965	92.1			0.92	0.27
26年目	H 57	0.2851	92.1			0.92	0.26
27年目	H 58	0.2741	92.1			0.92	0.25
28年目	H 59	0.2636	92.1			0.92	0.24
29年目	H 60	0.2534	92.1			0.92	0.23
30年目	H 61	0.2437	92.1			0.92	0.23
31年目	H 62	0.2343	92.1			0.92	0.22
32年目	H 63	0.2253	92.1			0.92	0.21
33年目	H 64	0.2166	92.1			0.92	0.20
34年目	H 65	0.2083	92.1			0.92	0.19
35年目	H 66	0.2003	92.1			0.92	0.19
36年目	H 67	0.1926	92.1			0.92	0.18
37年目	H 68	0.1852	92.1			0.92	0.17
38年目	H 69	0.1780	92.1			0.92	0.16
39年目	H 70	0.1712	92.1			0.92	0.16
40年目	H 71	0.1646	92.1			0.92	0.15
41年目	H 72	0.1583	92.1			0.92	0.15
42年目	H 73	0.1522	92.1			0.92	0.14
43年目	H 74	0.1463	92.1			0.92	0.14
44年目	H 75	0.1407	92.1			0.92	0.13
45年目	H 76	0.1353	92.1			0.92	0.12
46年目	H 77	0.1301	92.1			0.92	0.12
47年目	H 78	0.1251	92.1			0.92	0.12
48年目	H 79	0.1203	92.1			0.92	0.11
49年目	H 80	0.1157	92.1	-0.58	-0.07	0.92	0.11
合　計				171.35	153.69	46.19	16.31

単純事業費計		171.93	46.19

注1）事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：朝山・大田道路（事業全体）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	割戻率 (A)	GDPデフレータ (B)	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合　計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	8.59	2.98	14.30	25.87	20.44	1.60	0.42	3.29	5.30	4.19	1.93	1.52	33.10	26.16
1年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	8.55	2.96	14.40	25.91	19.69	1.59	0.41	3.31	5.31	4.04	1.92	1.46	33.14	25.18
2年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.51	2.93	14.56	26.01	19.00	1.58	0.41	3.35	5.34	3.90	1.91	1.40	33.26	24.31
3年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.48	2.91	14.72	26.11	18.35	1.58	0.41	3.38	5.37	3.77	1.91	1.34	33.39	23.46
4年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.45	2.89	14.88	26.21	17.71	1.57	0.40	3.42	5.40	3.64	1.90	1.29	33.51	22.64
5年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.41	2.87	15.04	26.32	17.10	1.56	0.40	3.46	5.42	3.52	1.90	1.23	33.64	21.85
6年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.38	2.84	15.20	26.42	16.50	1.56	0.40	3.49	5.45	3.40	1.89	1.18	33.76	21.09
7年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.34	2.82	15.36	26.52	15.93	1.55	0.40	3.53	5.48	3.29	1.89	1.13	33.89	20.35
8年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.31	2.80	15.52	26.63	15.38	1.55	0.39	3.57	5.50	3.18	1.88	1.09	34.01	19.64
9年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.28	2.78	15.67	26.73	14.84	1.54	0.39	3.60	5.53	3.07	1.87	1.04	34.14	18.95
10年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.24	2.75	15.83	26.83	14.33	1.53	0.39	3.64	5.56	2.97	1.87	1.00	34.26	18.29
11年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.21	2.73	15.99	26.94	13.83	1.53	0.38	3.68	5.59	2.87	1.86	0.96	34.38	17.65
12年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	8.13	2.71	16.00	26.84	13.25	1.51	0.38	3.68	5.57	2.75	1.85	0.91	34.26	16.91
13年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	8.05	2.70	16.00	26.75	12.69	1.50	0.38	3.68	5.55	2.64	1.83	0.87	34.13	16.20
14年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	7.96	2.68	16.01	26.65	12.16	1.48	0.37	3.68	5.54	2.53	1.82	0.83	34.00	15.52
15年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	7.88	2.66	16.02	26.56	11.65	1.47	0.37	3.68	5.52	2.42	1.80	0.79	33.88	14.87
16年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	7.80	2.64	16.02	26.46	11.17	1.45	0.37	3.68	5.50	2.32	1.79	0.75	33.75	14.24
17年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	7.72	2.62	16.03	26.37	10.70	1.44	0.37	3.68	5.49	2.23	1.77	0.72	33.63	13.64
18年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	7.63	2.60	16.03	26.27	10.25	1.42	0.36	3.69	5.47	2.13	1.76	0.69	33.50	13.07
19年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.55	2.59	16.04	26.18	9.82	1.40	0.36	3.69	5.45	2.05	1.74	0.65	33.37	12.52
20年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.47	2.57	16.05	26.08	9.41	1.39	0.36	3.69	5.44	1.96	1.73	0.62	33.25	11.99
21年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.38	2.55	16.05	25.99	9.01	1.37	0.36	3.69	5.42	1.88	1.71	0.59	33.12	11.49
22年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.30	2.53	16.06	25.89	8.63	1.36	0.35	3.69	5.40	1.80	1.70	0.57	32.99	11.00
23年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.22	2.51	16.06	25.80	8.27	1.34	0.35	3.69	5.39	1.73	1.68	0.54	32.87	10.54
24年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	7.14	2.49	16.07	25.70	7.92	1.33	0.35	3.69	5.37	1.66	1.67	0.51	32.74	10.09
25年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	7.05	2.48	16.08	25.61	7.59	1.31	0.35	3.69	5.35	1.59	1.65	0.49	32.61	9.67
26年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	6.97	2.46	16.08	25.51	7.27	1.30	0.34	3.70	5.34	1.52	1.64	0.47	32.49	9.26
27年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	6.89	2.44	16.09	25.42	6.97	1.28	0.34	3.70	5.32	1.46	1.63	0.45	32.36	8.87
28年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	6.81	2.42	16.09	25.32	6.67	1.27	0.34	3.70	5.30	1.40	1.61	0.42	32.23	8.50
29年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	6.72	2.40	16.10	25.23	6.39	1.25	0.34	3.70	5.29	1.34	1.60	0.40	32.11	8.14
30年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	6.64	2.38	16.11	25.13	6.12	1.24	0.33	3.70	5.27	1.28	1.58	0.39	31.98	7.79
31年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.56	2.37	16.11	25.04	5.87	1.22	0.33	3.70	5.25	1.23	1.57	0.37	31.86	7.46
32年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.48	2.35	16.12	24.94	5.62	1.20	0.33	3.70	5.24	1.18	1.55	0.35	31.73	7.15
33年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.39	2.33	16.12	24.85	5.38	1.19	0.33	3.71	5.22	1.13	1.54	0.33	31.60	6.85
34年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.31	2.31	16.13	24.75	5.16	1.17	0.32	3.71	5.20	1.08	1.52	0.32	31.48	6.56
35年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.23	2.29	16.14	24.66	4.94	1.16	0.32	3.71	5.19	1.04	1.51	0.30	31.35	6.28
36年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.14	2.27	16.14	24.56	4.73	1.14	0.32	3.71	5.17	1.00	1.49	0.29	31.22	6.01
37年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	6.06	2.26	16.15	24.47	4.53	1.13	0.32	3.71	5.15	0.95	1.48	0.27	31.10	5.76
38年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	5.98	2.24	16.15	24.37	4.34	1.11	0.31	3.71	5.14	0.91	1.46	0.26	30.97	5.51
39年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	5.90	2.22	16.16	24.28	4.16	1.10	0.31	3.71	5.12	0.88	1.45	0.25	30.84	5.28
40年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	5.81	2.20	16.17	24.18	3.98	1.08	0.31	3.72	5.11	0.84	1.43	0.24	30.72	5.06
41年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	5.73	2.18	16.17	24.09	3.81	1.07	0.31	3.72	5.09	0.81	1.42	0.22	30.59	4.84
42年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.65	2.16	16.18	23.99	3.65	1.05	0.30	3.72	5.07	0.77	1.40	0.21	30.46	4.64
43年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.57	2.15	16.18	23.90	3.50	1.04	0.30	3.72	5.06	0.74	1.39	0.20	30.34	4.44
44年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.48	2.13	16.19	23.80	3.35	1.02	0.30	3.72	5.04	0.71	1.37	0.19	30.21	4.25
45年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.40	2.11	16.19	23.71	3.21	1.00	0.30	3.72	5.02	0.68	1.36	0.18	30.08	4.07
46年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.32	2.09	16.20	23.61	3.07	0.99	0.29	3.72	5.01	0.65	1.34	0.17	29.96	3.90
47年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.24	2.07	16.21	23.52	2.94	0.97	0.29	3.73	4.99	0.62	1.33	0.17	29.83	3.73
48年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.15	2.05	16.21	23.42	2.82	0.96	0.29	3.73	4.97	0.60	1.31	0.16	29.71	3.57
49年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	5.07	2.04	16.22	23.33	2.70	0.94	0.29	3.73	4.96	0.57	1.30	0.15	29.58	3.42
合　計								351.53	124.51	793.60	1,269.64	456.78	65.38	17.43	182.41	265.22	94.92	82.51	30.95	1,617.37	582.65

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：朝山・大田道路（残事業）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック） 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率 (A)	GDPデフレータ (B)	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7903	92.1	8.59	2.98	14.30	25.87	20.44	1.60	0.42	3.29	5.30	4.19	1.93	1.52	33.10	26.16
1年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	8.55	2.96	14.40	25.91	19.69	1.59	0.41	3.31	5.31	4.04	1.92	1.46	33.14	25.18
2年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	8.51	2.93	14.56	26.01	19.00	1.58	0.41	3.35	5.34	3.90	1.91	1.40	33.26	24.31
3年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	8.48	2.91	14.72	26.11	18.35	1.58	0.41	3.38	5.37	3.77	1.91	1.34	33.39	23.46
4年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	8.45	2.89	14.88	26.21	17.71	1.57	0.40	3.42	5.40	3.64	1.90	1.29	33.51	22.64
5年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	8.41	2.87	15.04	26.32	17.10	1.56	0.40	3.46	5.42	3.52	1.90	1.23	33.64	21.85
6年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	8.38	2.84	15.20	26.42	16.50	1.56	0.40	3.49	5.45	3.40	1.89	1.18	33.76	21.09
7年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	8.34	2.82	15.36	26.52	15.93	1.55	0.40	3.53	5.48	3.29	1.89	1.13	33.89	20.35
8年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	8.31	2.80	15.52	26.63	15.38	1.55	0.39	3.57	5.50	3.18	1.88	1.09	34.01	19.64
9年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	8.28	2.78	15.67	26.73	14.84	1.54	0.39	3.60	5.53	3.07	1.87	1.04	34.14	18.95
10年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	8.24	2.75	15.83	26.83	14.33	1.53	0.39	3.64	5.56	2.97	1.87	1.00	34.26	18.29
11年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	8.21	2.73	15.99	26.94	13.83	1.53	0.38	3.68	5.59	2.87	1.86	0.96	34.38	17.65
12年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	8.13	2.71	16.00	26.84	13.25	1.51	0.38	3.68	5.57	2.75	1.85	0.91	34.26	16.91
13年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	8.05	2.70	16.00	26.75	12.69	1.50	0.38	3.68	5.55	2.64	1.83	0.87	34.13	16.20
14年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	7.96	2.68	16.01	26.65	12.16	1.48	0.37	3.68	5.54	2.53	1.82	0.83	34.00	15.52
15年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	7.88	2.66	16.02	26.56	11.65	1.47	0.37	3.68	5.52	2.42	1.80	0.79	33.88	14.87
16年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	7.80	2.64	16.02	26.46	11.17	1.45	0.37	3.68	5.50	2.32	1.79	0.75	33.75	14.24
17年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	7.72	2.62	16.03	26.37	10.70	1.44	0.37	3.68	5.49	2.23	1.77	0.72	33.63	13.64
18年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	7.63	2.60	16.03	26.27	10.25	1.42	0.36	3.69	5.47	2.13	1.76	0.69	33.50	13.07
19年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	7.55	2.59	16.04	26.18	9.82	1.40	0.36	3.69	5.45	2.05	1.74	0.65	33.37	12.52
20年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	7.47	2.57	16.05	26.08	9.41	1.39	0.36	3.69	5.44	1.96	1.73	0.62	33.25	11.99
21年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	7.38	2.55	16.05	25.99	9.01	1.37	0.36	3.69	5.42	1.88	1.71	0.59	33.12	11.49
22年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	7.30	2.53	16.06	25.89	8.63	1.36	0.35	3.69	5.40	1.80	1.70	0.57	32.99	11.00
23年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	7.22	2.51	16.06	25.80	8.27	1.34	0.35	3.69	5.39	1.73	1.68	0.54	32.87	10.54
24年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	7.14	2.49	16.07	25.70	7.92	1.33	0.35	3.69	5.37	1.66	1.67	0.51	32.74	10.09
25年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	7.05	2.48	16.08	25.61	7.59	1.31	0.35	3.69	5.35	1.59	1.65	0.49	32.61	9.67
26年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	6.97	2.46	16.08	25.51	7.27	1.30	0.34	3.70	5.34	1.52	1.64	0.47	32.49	9.26
27年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	6.89	2.44	16.09	25.42	6.97	1.28	0.34	3.70	5.32	1.46	1.63	0.45	32.36	8.87
28年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	6.81	2.42	16.09	25.32	6.67	1.27	0.34	3.70	5.30	1.40	1.61	0.42	32.23	8.50
29年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	6.72	2.40	16.10	25.23	6.39	1.25	0.34	3.70	5.29	1.34	1.60	0.40	32.11	8.14
30年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	6.64	2.38	16.11	25.13	6.12	1.24	0.33	3.70	5.27	1.28	1.58	0.39	31.98	7.79
31年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	6.56	2.37	16.11	25.04	5.87	1.22	0.33	3.70	5.25	1.23	1.57	0.37	31.86	7.46
32年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	6.48	2.35	16.12	24.94	5.62	1.20	0.33	3.70	5.24	1.18	1.55	0.35	31.73	7.15
33年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	6.39	2.33	16.12	24.85	5.38	1.19	0.33	3.71	5.22	1.13	1.54	0.33	31.60	6.85
34年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	6.31	2.31	16.13	24.75	5.16	1.17	0.32	3.71	5.20	1.08	1.52	0.32	31.48	6.56
35年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	6.23	2.29	16.14	24.66	4.94	1.16	0.32	3.71	5.19	1.04	1.51	0.30	31.35	6.28
36年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	6.14	2.27	16.14	24.56	4.73	1.14	0.32	3.71	5.17	1.00	1.49	0.29	31.22	6.01
37年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	6.06	2.26	16.15	24.47	4.53	1.13	0.32	3.71	5.15	0.95	1.48	0.27	31.10	5.76
38年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	5.98	2.24	16.15	24.37	4.34	1.11	0.31	3.71	5.14	0.91	1.46	0.26	30.97	5.51
39年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	5.90	2.22	16.16	24.28	4.16	1.10	0.31	3.71	5.12	0.88	1.45	0.25	30.84	5.28
40年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	5.81	2.20	16.17	24.18	3.98	1.08	0.31	3.72	5.11	0.84	1.43	0.24	30.72	5.06
41年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	5.73	2.18	16.17	24.09	3.81	1.07	0.31	3.72	5.09	0.81	1.42	0.22	30.59	4.84
42年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	5.65	2.16	16.18	23.99	3.65	1.05	0.30	3.72	5.07	0.77	1.40	0.21	30.46	4.64
43年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	5.57	2.15	16.18	23.90	3.50	1.04	0.30	3.72	5.06	0.74	1.39	0.20	30.34	4.44
44年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	5.48	2.13	16.19	23.80	3.35	1.02	0.30	3.72	5.04	0.71	1.37	0.19	30.21	4.25
45年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	5.40	2.11	16.19	23.71	3.21	1.00	0.30	3.72	5.02	0.68	1.36	0.18	30.08	4.07
46年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	5.32	2.09	16.20	23.61	3.07	0.99	0.29	3.72	5.01	0.65	1.34	0.17	29.96	3.90
47年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	5.24	2.07	16.21	23.52	2.94	0.97	0.29	3.73	4.99	0.62	1.33	0.17	29.83	3.73
48年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	5.15	2.05	16.21	23.42	2.82	0.96	0.29	3.73	4.97	0.60	1.31	0.16	29.71	3.57
49年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	5.07	2.04	16.22	23.33	2.70	0.94	0.29	3.73	4.96	0.57	1.30	0.15	29.58	3.42
合計								351.53	124.51	793.60	1,269.64	456.78	65.38	17.43	182.41	265.22	94.92	82.51	30.95	1,617.37	582.65

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	朝山・大田道路	2	6.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					19,825	
	改良費				14,987	
		土工	m3	2,761,118	3,830	切土（1,273,506m3）、盛土（1,487,612m3）
		軟弱地盤改良工	m3	13,715	1,628	
		法面工	m2	204,132	347	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	803	補強土壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	1,940	687	
		函渠工	m	587	1,284	
		排水工	m	7,706	748	
		中央分離帯工	m	6,012	27	
		雑工	式	1	5,633	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,929	
		100m以上	m	474	2,929	鋼橋 3橋
		100m未満	m	―	―	
	トンネル費				―	
		NATM	m	―	―	
		シールド	m	―	―	
	IC・JCT費				784	
		IC	箇所	2	784	ダイヤモンド型 2箇所
		JCT	箇所	―	―	
	舗装費				651	
		車道舗装	m2	61,111	651	
		歩道舗装	m2	―	―	
	付帯施設費				474	
		交通管理施設工	式	1	474	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	―	―	
②用地及補償費					903	
	用地費		m2	448,743	477	
		宅地	m2	3,000	54	
		田畑	m2	43,900	220	
		山林・原野	m2	401,643	201	
		その他	m2	200	2	
	補償費		式	1	426	
③間接経費			式	1	4,572	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					25,300	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	朝山・大田道路	2	6.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					14,560	
	改良費				11,255	
		土工	m3	2,540,717	3,496	切土（1,240,906m3）、盛土（1,299,811m3）
		軟弱地盤改良工	m3	10,553	1,253	
		法面工	m2	189,175	298	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	803	補強土壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	1,694	599	
		函渠工	m	297	650	
		排水工	m	6,360	618	
		中央分離帯工	m	6,012	27	
		雑工	式	1	3,511	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				1,476	
		100m以上	m	357	1,476	鋼橋 3橋
		100m未満	m	―	―	
	トンネル費				―	
		NATM	m	―	―	
		シールド	m	―	―	
	IC・JCT費				704	
		IC	箇所	2	704	ダイヤモンド型 2箇所
		JCT	箇所	―	―	
	舗装費				651	
		車道舗装	m2	61,111	651	
		歩道舗装	m2	―	―	
	付帯施設費				474	
		交通管理施設工	式	1	474	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	―	―	
②用地及補償費					122	
	用地費		m2	12,584	58	
		宅地	m2	0	0	
		田畑	m2	1,084	29	
		山林・原野		11,000	21	
		その他	m2	500	8	
	補償費		式	1	64	
③間接経費			式	1	3,364	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					18,046	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	朝山・大田道路	2	6.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	6.3	950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,900	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,850	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	朝山・大田道路	2	6.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	6.3	950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,900	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,850	

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　大田・静間道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■　便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.2（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝202億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝9.3%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.2（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝207億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝9.6%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1．活力	円滑なモビリティの確保	●　現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（大田・静間道路［大田市久手町刺鹿～大田市静間町］） 当該区間の渋滞損失削減時間：170千人・時間/年（19,351千人・時間/年→19,181千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：0.9%削減
		□　現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□　現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■　現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通（大田江津線）1日10便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		□　新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■　第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	江津市から出雲空港（第三種空港）へのアクセス向上が見込まれる（108分⇒80分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	■　重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	大田市から浜田港へのアクセス向上が見込まれる（84分⇒70分）※山陰道が全線整備された場合の値
		■　農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	和江漁港・五十猛漁港などから鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
		□　現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1．活力	都市の再生	□　都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□　広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□　市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□　中心市街地内で行う事業である	
		□　幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□　DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□　対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	大田市～浜田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる（72分⇒58分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

３．安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	国道９号和江漁港入口交差点（死傷事故率：769.5件/億台km）での事故件数の減少が見込まれる
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：大田市～旧仁摩町間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現道区間の要防災対策箇所2箇所を回避
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：6.0千t／年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし:1,225千t／年⇒整備あり：1,219千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：17.8t／年、排出削減率：約0.6%削減（整備なし:3,079t／年⇒整備あり：3,062t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.4t／年、排出削減率：約0.8%削減（整備なし:1,64t／年⇒整備あり：1,62t／年）
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	朝山・大田道路、静間・仁摩道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」 平成24年3月 大田市総合計画2007-2016　平成19年3月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	大田・静間道路	L=5.0km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
14,700	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	196億円	33億円	229億円
うち残事業分	191億円	33億円	224億円
基準年における現在価値（C）	162億円	11億円	173億円
うち残事業分	157億円	11億円	167億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成33年度			
単年便益（初年便益）	17億円	4.3億円	1.7億円	23億円
基準年における現在価値（B）	278億円	71億円	25億円	375億円
うち残事業分	278億円	71億円	25億円	375億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	2.2
経済的純現在価値（事業全体）	202億円
経済的内部収益率（事業全体）	9.3%
費用便益比（残事業）	2.2
経済的純現在価値（残事業）	207億円
経済的内部収益率（残事業）	9.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	14,700	±１０％	1.9 ～ 2.5
事業費	196億円	±１０％	2.0 ～ 2.4
事業期間	9年	±２０％	2.0 ～ 2.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	14,700	±１０％	1.9 ～ 2.6
事業費	191億円	±１０％	2.0 ～ 2.5
事業期間	7年	±２０％	2.1 ～ 2.4

様式－３①

交通状況の変化

事業名：大田・静間道路（事業全体）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	14,700
		走行時間※2	[分]	－	4
：5.0km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	12.98
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	20,600	7,100
		走行時間	[分]	9	8
	：6.1km	走行時間費用	[億円/年]	36.07	10.19
	(主)大田桜江線	交通量	[台/日]	7,000	6,000
		走行時間	[分]	7	7
	：5.0km	走行時間費用	[億円/年]	7.98	6.65
	国道375号	交通量	[台/日]	9,900	9,100
		走行時間	[分]	2	1
	：0.9km	走行時間費用	[億円/年]	2.59	2.35
	市道	交通量	[台/日]	5,700	4,800
		走行時間	[分]	4	4
	：2.0km	走行時間費用	[億円/年]	3.42	2.86
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：3624.1km		走行時間費用	[億円/年]	2,664.44	2,661.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3643.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,714.50	2,696.76	17.74

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

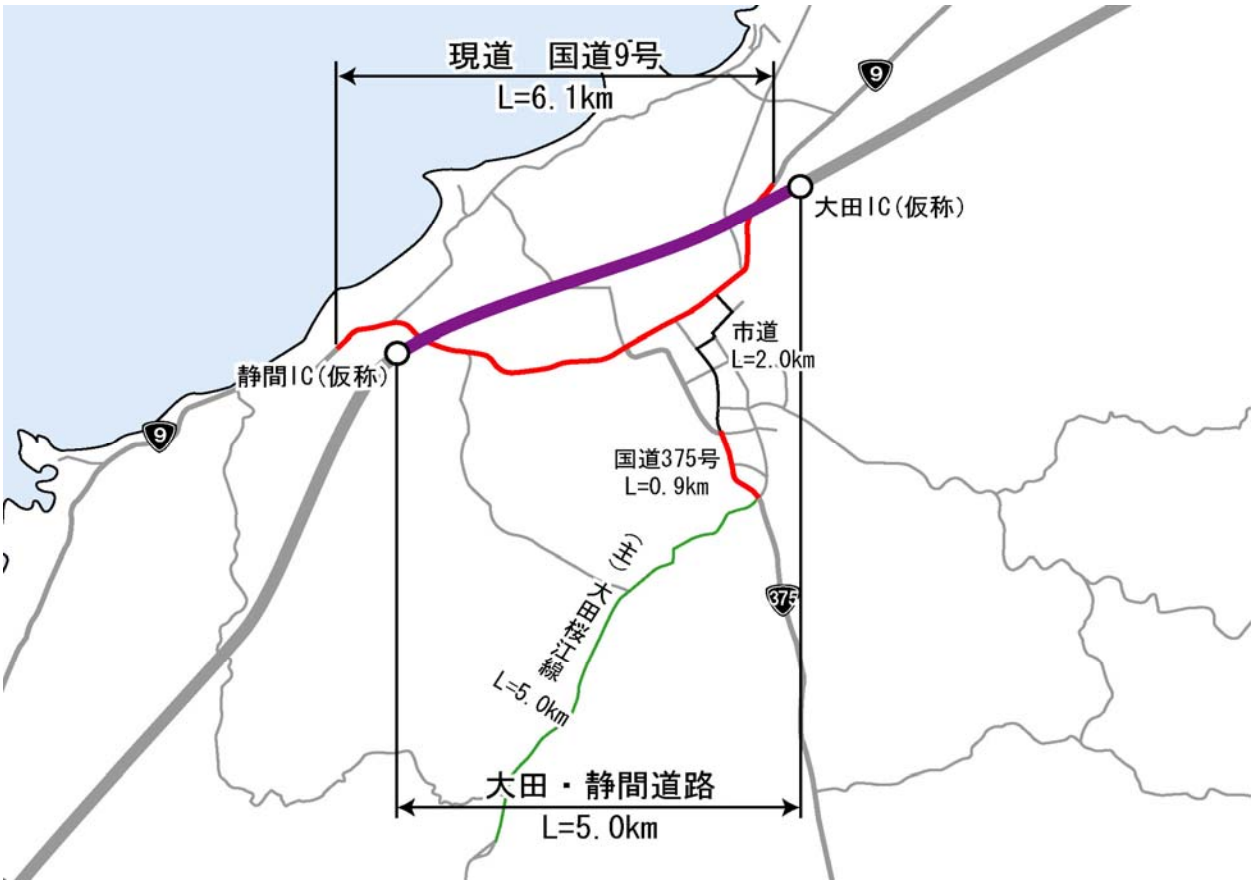
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３①

交通状況の変化

事業名：大田・静間道路（残事業）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	14,700
		走行時間※2	[分]	－	4
：5.0km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	12.98
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	20,600	7,100
		走行時間	[分]	9	8
	：6.1km	走行時間費用	[億円/年]	36.07	10.19
	(主)大田桜江線	交通量	[台/日]	7,000	6,000
		走行時間	[分]	7	7
	：5.0km	走行時間費用	[億円/年]	7.98	6.65
	国道375号	交通量	[台/日]	9,900	9,100
		走行時間	[分]	2	1
	：0.9km	走行時間費用	[億円/年]	2.59	2.35
	市道	交通量	[台/日]	5,700	4,800
		走行時間	[分]	4	4
	：2.0km	走行時間費用	[億円/年]	3.42	2.86
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：3624.1km		走行時間費用	[億円/年]	2,664.44	2,661.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3643.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,714.50	2,696.76	17.74

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

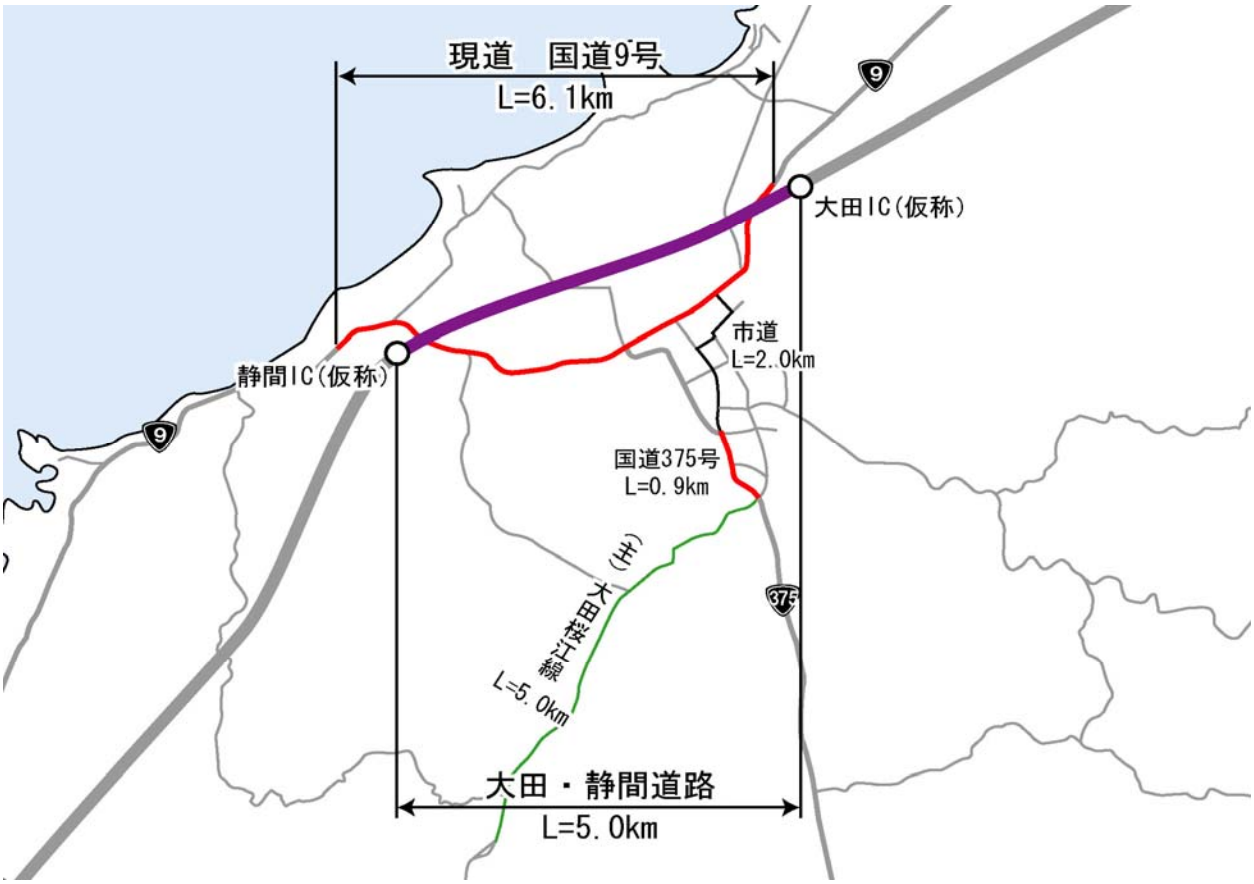
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：大田・静間道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （ H17センサス ）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定）		■

事業名：大田・静間道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：大田・静間道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	□
		標準投資パターンを採用	□
		その他（概略事業計画による値を採用）	■
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.14	5.0	0.69

箇所名：大田・静間道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−9年目	H 24	1.0400	92.1	1.33	1.38		
−8年目	H 25	1.0000	92.1	3.82	3.82		
−7年目	H 26	0.9615	92.1	1.91	1.84		
−6年目	H 27	0.9246	92.1	5.73	5.30		
−5年目	H 28	0.8890	92.1	26.74	23.77		
−4年目	H 29	0.8548	92.1	36.36	31.08		
−3年目	H 30	0.8219	92.1	40.47	33.26		
−2年目	H 31	0.7903	92.1	51.02	40.32		
−1年目	H 32	0.7599	92.1	28.50	21.66		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			0.66	0.48
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.66	0.46
2年目	H 35	0.6756	92.1			0.66	0.44
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.66	0.43
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.66	0.41
5年目	H 38	0.6006	92.1			0.66	0.39
6年目	H 39	0.5775	92.1			0.66	0.38
7年目	H 40	0.5553	92.1			0.66	0.36
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.66	0.35
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.66	0.34
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.66	0.32
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.66	0.31
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.66	0.30
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.66	0.29
14年目	H 47	0.4220	92.1			0.66	0.28
15年目	H 48	0.4057	92.1			0.66	0.27
16年目	H 49	0.3901	92.1			0.66	0.26
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.66	0.25
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.66	0.24
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.66	0.23
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.66	0.22
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.66	0.21
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.66	0.20
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.66	0.19
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.66	0.19
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.66	0.18
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.66	0.17
27年目	H 60	0.2534	92.1			0.66	0.17
28年目	H 61	0.2437	92.1			0.66	0.16
29年目	H 62	0.2343	92.1			0.66	0.15
30年目	H 63	0.2253	92.1			0.66	0.15
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.66	0.14
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.66	0.14
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.66	0.13
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.66	0.13
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.66	0.12
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.66	0.12
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.66	0.11
38年目	H 71	0.1646	92.1			0.66	0.11
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.66	0.10
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.66	0.10
41年目	H 74	0.1463	92.1			0.66	0.10
42年目	H 75	0.1407	92.1			0.66	0.09
43年目	H 76	0.1353	92.1			0.66	0.09
44年目	H 77	0.1301	92.1			0.66	0.09
45年目	H 78	0.1251	92.1			0.66	0.08
46年目	H 79	0.1203	92.1			0.66	0.08
47年目	H 80	0.1157	92.1			0.66	0.08
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.66	0.07
49年目	H 82	0.1069	92.1	−5.94	−0.64	0.66	0.07
合　計				189.94	161.80	32.86	10.73

単純事業費計	195.88	32.86

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.14	5.0	0.69

箇所名：大田・静間道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−7年目	H 26	0.9615	92.1	1.91	1.84		
−6年目	H 27	0.9246	92.1	5.73	5.30		
−5年目	H 28	0.8890	92.1	26.74	23.77		
−4年目	H 29	0.8548	92.1	36.36	31.08		
−3年目	H 30	0.8219	92.1	40.47	33.26		
−2年目	H 31	0.7903	92.1	51.02	40.32		
−1年目	H 32	0.7599	92.1	28.50	21.66		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			0.66	0.48
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.66	0.46
2年目	H 35	0.6756	92.1			0.66	0.44
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.66	0.43
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.66	0.41
5年目	H 38	0.6006	92.1			0.66	0.39
6年目	H 39	0.5775	92.1			0.66	0.38
7年目	H 40	0.5553	92.1			0.66	0.36
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.66	0.35
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.66	0.34
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.66	0.32
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.66	0.31
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.66	0.30
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.66	0.29
14年目	H 47	0.4220	92.1			0.66	0.28
15年目	H 48	0.4057	92.1			0.66	0.27
16年目	H 49	0.3901	92.1			0.66	0.26
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.66	0.25
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.66	0.24
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.66	0.23
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.66	0.22
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.66	0.21
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.66	0.20
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.66	0.19
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.66	0.19
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.66	0.18
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.66	0.17
27年目	H 60	0.2534	92.1			0.66	0.17
28年目	H 61	0.2437	92.1			0.66	0.16
29年目	H 62	0.2343	92.1			0.66	0.15
30年目	H 63	0.2253	92.1			0.66	0.15
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.66	0.14
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.66	0.14
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.66	0.13
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.66	0.13
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.66	0.12
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.66	0.12
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.66	0.11
38年目	H 71	0.1646	92.1			0.66	0.11
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.66	0.10
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.66	0.10
41年目	H 74	0.1463	92.1			0.66	0.10
42年目	H 75	0.1407	92.1			0.66	0.09
43年目	H 76	0.1353	92.1			0.66	0.09
44年目	H 77	0.1301	92.1			0.66	0.09
45年目	H 78	0.1251	92.1			0.66	0.08
46年目	H 79	0.1203	92.1			0.66	0.08
47年目	H 80	0.1157	92.1			0.66	0.08
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.66	0.07
49年目	H 82	0.1069	92.1	−5.94	−0.64	0.66	0.07
合　計				184.79	156.59	32.86	10.73

単純事業費計	190.73	32.86

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：大田・静間道路（事業全体）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率（A）	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計(①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	4.91	1.99	10.15	17.05	12.46	1.12	0.37	2.80	4.29	3.14	1.71	1.25	23.05	16.85
1年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	4.89	1.98	10.26	17.13	12.03	1.11	0.37	2.84	4.31	3.03	1.71	1.20	23.15	16.26
2年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	4.87	1.96	10.37	17.20	11.62	1.11	0.36	2.87	4.34	2.93	1.70	1.15	23.24	15.70
3年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	4.85	1.95	10.48	17.28	11.22	1.10	0.36	2.90	4.36	2.83	1.70	1.10	23.34	15.16
4年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	4.83	1.93	10.59	17.35	10.84	1.10	0.36	2.93	4.38	2.74	1.69	1.06	23.43	14.64
5年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	4.81	1.92	10.71	17.43	10.47	1.09	0.36	2.96	4.41	2.65	1.69	1.01	23.53	14.13
6年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	4.79	1.90	10.82	17.51	10.11	1.09	0.35	2.99	4.43	2.56	1.68	0.97	23.62	13.64
7年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	4.77	1.88	10.93	17.58	9.76	1.09	0.35	3.02	4.45	2.47	1.68	0.93	23.72	13.17
8年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	4.75	1.87	11.04	17.66	9.43	1.08	0.35	3.05	4.48	2.39	1.67	0.89	23.81	12.71
9年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	4.73	1.85	11.15	17.74	9.11	1.08	0.34	3.08	4.50	2.31	1.67	0.86	23.91	12.27
10年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	4.69	1.84	11.15	17.68	8.73	1.07	0.34	3.08	4.49	2.22	1.66	0.82	23.82	11.76
11年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	4.64	1.83	11.16	17.62	8.37	1.06	0.34	3.08	4.48	2.12	1.64	0.78	23.74	11.27
12年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	4.59	1.82	11.16	17.57	8.02	1.04	0.34	3.08	4.46	2.04	1.63	0.74	23.66	10.80
13年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	4.54	1.80	11.17	17.51	7.68	1.03	0.33	3.08	4.45	1.95	1.62	0.71	23.58	10.35
14年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	4.49	1.79	11.17	17.46	7.37	1.02	0.33	3.09	4.44	1.87	1.60	0.68	23.50	9.92
15年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	4.45	1.78	11.17	17.40	7.06	1.01	0.33	3.09	4.43	1.80	1.59	0.64	23.42	9.50
16年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	4.40	1.77	11.18	17.34	6.77	1.00	0.33	3.09	4.42	1.72	1.58	0.61	23.34	9.10
17年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	4.35	1.75	11.18	17.29	6.49	0.99	0.33	3.09	4.40	1.65	1.56	0.59	23.26	8.72
18年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	4.30	1.74	11.19	17.23	6.22	0.98	0.32	3.09	4.39	1.58	1.55	0.56	23.17	8.36
19年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	4.26	1.73	11.19	17.18	5.96	0.97	0.32	3.09	4.38	1.52	1.54	0.53	23.09	8.01
20年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	4.21	1.72	11.19	17.12	5.71	0.96	0.32	3.09	4.37	1.46	1.52	0.51	23.01	7.67
21年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	4.16	1.70	11.20	17.06	5.47	0.95	0.32	3.09	4.36	1.40	1.51	0.48	22.93	7.35
22年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	4.11	1.69	11.20	17.01	5.24	0.94	0.31	3.09	4.34	1.34	1.50	0.46	22.85	7.04
23年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	4.07	1.68	11.21	16.95	5.03	0.93	0.31	3.10	4.33	1.28	1.48	0.44	22.77	6.75
24年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	4.02	1.67	11.21	16.90	4.82	0.91	0.31	3.10	4.32	1.23	1.47	0.42	22.69	6.47
25年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	3.97	1.66	11.22	16.84	4.62	0.90	0.31	3.10	4.31	1.18	1.46	0.40	22.61	6.20
26年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	3.92	1.64	11.22	16.79	4.42	0.89	0.30	3.10	4.30	1.13	1.44	0.38	22.52	5.94
27年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	3.88	1.63	11.22	16.73	4.24	0.88	0.30	3.10	4.28	1.09	1.43	0.36	22.44	5.69
28年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	3.83	1.62	11.23	16.67	4.06	0.87	0.30	3.10	4.27	1.04	1.42	0.35	22.36	5.45
29年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	3.78	1.61	11.23	16.62	3.89	0.86	0.30	3.10	4.26	1.00	1.40	0.33	22.28	5.22
30年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	3.73	1.59	11.24	16.56	3.73	0.85	0.30	3.10	4.25	0.96	1.39	0.31	22.20	5.00
31年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	3.68	1.58	11.24	16.51	3.58	0.84	0.29	3.11	4.24	0.92	1.38	0.30	22.12	4.79
32年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	3.64	1.57	11.24	16.45	3.43	0.83	0.29	3.11	4.22	0.88	1.36	0.28	22.04	4.59
33年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	3.59	1.56	11.25	16.39	3.28	0.82	0.29	3.11	4.21	0.84	1.35	0.27	21.96	4.40
34年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	3.54	1.54	11.25	16.34	3.15	0.81	0.29	3.11	4.20	0.81	1.34	0.26	21.87	4.21
35年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	3.49	1.53	11.26	16.28	3.01	0.80	0.28	3.11	4.19	0.78	1.32	0.24	21.79	4.04
36年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	3.45	1.52	11.26	16.23	2.89	0.78	0.28	3.11	4.18	0.74	1.31	0.23	21.71	3.87
37年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	3.40	1.51	11.26	16.17	2.77	0.77	0.28	3.11	4.16	0.71	1.30	0.22	21.63	3.70
38年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	3.35	1.49	11.27	16.11	2.65	0.76	0.28	3.11	4.15	0.68	1.28	0.21	21.55	3.55
39年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	3.30	1.48	11.27	16.06	2.54	0.75	0.27	3.11	4.14	0.66	1.27	0.20	21.47	3.40
40年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	3.26	1.47	11.28	16.00	2.44	0.74	0.27	3.12	4.13	0.63	1.26	0.19	21.39	3.26
41年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	3.21	1.46	11.28	15.95	2.33	0.73	0.27	3.12	4.12	0.60	1.24	0.18	21.31	3.12
42年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	3.16	1.44	11.29	15.89	2.24	0.72	0.27	3.12	4.10	0.58	1.23	0.17	21.23	2.99
43年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	3.11	1.43	11.29	15.83	2.14	0.71	0.27	3.12	4.09	0.55	1.22	0.16	21.14	2.86
44年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	3.07	1.42	11.29	15.78	2.05	0.70	0.26	3.12	4.08	0.53	1.20	0.16	21.06	2.74
45年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	3.02	1.41	11.30	15.72	1.97	0.69	0.26	3.12	4.07	0.51	1.19	0.15	20.98	2.62
46年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	2.97	1.39	11.30	15.67	1.88	0.68	0.26	3.12	4.06	0.49	1.18	0.14	20.90	2.51
47年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	2.92	1.38	11.31	15.61	1.81	0.67	0.26	3.12	4.04	0.47	1.16	0.13	20.82	2.41
48年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	2.87	1.37	11.31	15.56	1.73	0.65	0.25	3.12	4.03	0.45	1.15	0.13	20.74	2.31
49年目	H 82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1069	92.1	2.83	1.36	11.31	15.50	1.66	0.64	0.25	3.13	4.02	0.43	1.14	0.12	20.66	2.21
合計								198.45	83.20	555.86	837.51	278.47	45.16	15.44	153.56	214.16	70.89	72.76	25.30	1,124.42	374.67

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：大田・静間道路（残事業）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率（A）	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計(①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	4.91	1.99	10.15	17.05	12.46	1.12	0.37	2.80	4.29	3.14	1.71	1.25	23.05	16.85
1年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	4.89	1.98	10.26	17.13	12.03	1.11	0.37	2.84	4.31	3.03	1.71	1.20	23.15	16.26
2年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	4.87	1.96	10.37	17.20	11.62	1.11	0.36	2.87	4.34	2.93	1.70	1.15	23.24	15.70
3年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	4.85	1.95	10.48	17.28	11.22	1.10	0.36	2.90	4.36	2.83	1.70	1.10	23.34	15.16
4年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	4.83	1.93	10.59	17.35	10.84	1.10	0.36	2.93	4.38	2.74	1.69	1.06	23.43	14.64
5年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	4.81	1.92	10.71	17.43	10.47	1.09	0.36	2.96	4.41	2.65	1.69	1.01	23.53	14.13
6年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	4.79	1.90	10.82	17.51	10.11	1.09	0.35	2.99	4.43	2.56	1.68	0.97	23.62	13.64
7年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	4.77	1.88	10.93	17.58	9.76	1.09	0.35	3.02	4.45	2.47	1.68	0.93	23.72	13.17
8年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	4.75	1.87	11.04	17.66	9.43	1.08	0.35	3.05	4.48	2.39	1.67	0.89	23.81	12.71
9年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	4.73	1.85	11.15	17.74	9.11	1.08	0.34	3.08	4.50	2.31	1.67	0.86	23.91	12.27
10年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	4.69	1.84	11.15	17.68	8.73	1.07	0.34	3.08	4.49	2.22	1.66	0.82	23.82	11.76
11年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	4.64	1.83	11.16	17.62	8.37	1.06	0.34	3.08	4.48	2.12	1.64	0.78	23.74	11.27
12年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	4.59	1.82	11.16	17.57	8.02	1.04	0.34	3.08	4.46	2.04	1.63	0.74	23.66	10.80
13年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	4.54	1.80	11.17	17.51	7.68	1.03	0.33	3.08	4.45	1.95	1.62	0.71	23.58	10.35
14年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	4.49	1.79	11.17	17.46	7.37	1.02	0.33	3.09	4.44	1.87	1.60	0.68	23.50	9.92
15年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	4.45	1.78	11.17	17.40	7.06	1.01	0.33	3.09	4.43	1.80	1.59	0.64	23.42	9.50
16年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	4.40	1.77	11.18	17.34	6.77	1.00	0.33	3.09	4.42	1.72	1.58	0.61	23.34	9.10
17年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	4.35	1.75	11.18	17.29	6.49	0.99	0.33	3.09	4.40	1.65	1.56	0.59	23.26	8.72
18年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	4.30	1.74	11.19	17.23	6.22	0.98	0.32	3.09	4.39	1.58	1.55	0.56	23.17	8.36
19年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	4.26	1.73	11.19	17.18	5.96	0.97	0.32	3.09	4.38	1.52	1.54	0.53	23.09	8.01
20年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	4.21	1.72	11.19	17.12	5.71	0.96	0.32	3.09	4.37	1.46	1.52	0.51	23.01	7.67
21年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	4.16	1.70	11.20	17.06	5.47	0.95	0.32	3.09	4.36	1.40	1.51	0.48	22.93	7.35
22年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	4.11	1.69	11.20	17.01	5.24	0.94	0.31	3.09	4.34	1.34	1.50	0.46	22.85	7.04
23年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	4.07	1.68	11.21	16.95	5.03	0.93	0.31	3.10	4.33	1.28	1.48	0.44	22.77	6.75
24年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	4.02	1.67	11.21	16.90	4.82	0.91	0.31	3.10	4.32	1.23	1.47	0.42	22.69	6.47
25年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	3.97	1.66	11.22	16.84	4.62	0.90	0.31	3.10	4.31	1.18	1.46	0.40	22.61	6.20
26年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	3.92	1.64	11.22	16.79	4.42	0.89	0.30	3.10	4.30	1.13	1.44	0.38	22.52	5.94
27年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	3.88	1.63	11.22	16.73	4.24	0.88	0.30	3.10	4.28	1.09	1.43	0.36	22.44	5.69
28年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	3.83	1.62	11.23	16.67	4.06	0.87	0.30	3.10	4.27	1.04	1.42	0.35	22.36	5.45
29年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	3.78	1.61	11.23	16.62	3.89	0.86	0.30	3.10	4.26	1.00	1.40	0.33	22.28	5.22
30年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	3.73	1.59	11.24	16.56	3.73	0.85	0.30	3.10	4.25	0.96	1.39	0.31	22.20	5.00
31年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	3.68	1.58	11.24	16.51	3.58	0.84	0.29	3.11	4.24	0.92	1.38	0.30	22.12	4.79
32年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	3.64	1.57	11.24	16.45	3.43	0.83	0.29	3.11	4.22	0.88	1.36	0.28	22.04	4.59
33年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	3.59	1.56	11.25	16.39	3.28	0.82	0.29	3.11	4.21	0.84	1.35	0.27	21.96	4.40
34年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	3.54	1.54	11.25	16.34	3.15	0.81	0.29	3.11	4.20	0.81	1.34	0.26	21.87	4.21
35年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	3.49	1.53	11.26	16.28	3.01	0.80	0.28	3.11	4.19	0.78	1.32	0.24	21.79	4.04
36年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	3.45	1.52	11.26	16.23	2.89	0.78	0.28	3.11	4.18	0.74	1.31	0.23	21.71	3.87
37年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	3.40	1.51	11.26	16.17	2.77	0.77	0.28	3.11	4.16	0.71	1.30	0.22	21.63	3.70
38年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	3.35	1.49	11.27	16.11	2.65	0.76	0.28	3.11	4.15	0.68	1.28	0.21	21.55	3.55
39年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	3.30	1.48	11.27	16.06	2.54	0.75	0.27	3.11	4.14	0.66	1.27	0.20	21.47	3.40
40年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	3.26	1.47	11.28	16.00	2.44	0.74	0.27	3.12	4.13	0.63	1.26	0.19	21.39	3.26
41年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	3.21	1.46	11.28	15.95	2.33	0.73	0.27	3.12	4.12	0.60	1.24	0.18	21.31	3.12
42年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	3.16	1.44	11.29	15.89	2.24	0.72	0.27	3.12	4.10	0.58	1.23	0.17	21.23	2.99
43年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	3.11	1.43	11.29	15.83	2.14	0.71	0.27	3.12	4.09	0.55	1.22	0.16	21.14	2.86
44年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	3.07	1.42	11.29	15.78	2.05	0.70	0.26	3.12	4.08	0.53	1.20	0.16	21.06	2.74
45年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	3.02	1.41	11.30	15.72	1.97	0.69	0.26	3.12	4.07	0.51	1.19	0.15	20.98	2.62
46年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	2.97	1.39	11.30	15.67	1.88	0.68	0.26	3.12	4.06	0.49	1.18	0.14	20.90	2.51
47年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	2.92	1.38	11.31	15.61	1.81	0.67	0.26	3.12	4.04	0.47	1.16	0.13	20.82	2.41
48年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	2.87	1.37	11.31	15.56	1.73	0.65	0.25	3.12	4.03	0.45	1.15	0.13	20.74	2.31
49年目	H 82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1069	92.1	2.83	1.36	11.31	15.50	1.66	0.64	0.25	3.13	4.02	0.43	1.14	0.12	20.66	2.21
合計								198.45	83.20	555.86	837.51	278.47	45.16	15.44	153.56	214.16	70.89	72.76	25.30	1,124.42	374.67

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	大田・静間道路	2	5.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					15,127	
	改良費				11,384	
		土工	m3	1,446,620	5,260	切土(723,310m3)、盛土(723,310m3)
		軟弱地盤改良工	m3	77,625	3,312	
		法面工	m2	142,907	575	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	221	ブロック積擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	1,109	287	
		函渠工	m	488	967	
		排水工	m	9,364	378	
		中央分離帯工	m	4,682	85	
		雑工	式	1	298	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,071	
		100m以上	m	183	1,124	鋼橋　1橋
		100m未満	m	170	947	鋼橋　1橋、PC橋　3橋
	トンネル費				0	
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				630	
		IC	箇所	2	630	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				627	
		車道舗装	m2	52,581	627	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				415	
		交通管理施設工	式	1	415	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,339	
	用地費		m2	272,703	594	
		宅地	m2	8,957	188	
		田畑	m2	54,660	287	
		山林・原野	m2	208,207	109	
		その他	m2	879	10	
	補償費		式	1	745	
③間接経費			式	1	4,034	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					20,500	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	大田・静間道路	2	5.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					15,127	
	改良費				11,384	
		土工	m3	1,446,620	5,260	切土(723,310m3)、盛土(723,310m3)
		軟弱地盤改良工	m3	77,625	3,312	
		法面工	m2	142,907	575	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	221	ブロック積擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	1,109	287	
		函渠工	m	488	967	
		排水工	m	9,364	378	
		中央分離帯工	m	4,682	85	
		雑工	式	1	298	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,071	
		100m以上	m	183	1,124	鋼橋　1橋
		100m未満	m	170	947	鋼橋　1橋、PC橋　3橋
	トンネル費				0	
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				630	
		IC	箇所	2	630	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				627	
		車道舗装	m2	52,581	627	
		歩道舗装	m2			
	付帯施設費				415	
		交通管理施設工	式	1	415	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,339	
	用地費		m2	272,703	594	
		宅地	m2	8,957	188	
		田畑	m2	54,660	287	
		山林・原野	m2	208,207	109	
		その他	m2	879	10	
	補償費		式	1	745	
③間接経費			式	1	3,493	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					19,959	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	大田・静間道路	2	5.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	5.0	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,450	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	大田・静間道路	2	5.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	5.0	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,450	

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　静間・仁摩道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■　便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝1.9（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝178億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝7.9%） 残 事 業：費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝2.1（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝205億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝9.2%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	●　現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（静間・仁摩道路［大田市静間町～大田市仁摩町大国］） 当該区間の渋滞損失削減時間：65千人・時間/年（19,249千人・時間/年→19,181千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：0.3%削減
		□　現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□　現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■　現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通（大田江津線）1日10便の路線バスの利便性向上が見込まれる。
		□　新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■　第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	江津市から出雲空港（第三種空港）へのアクセス向上が見込まれる（108分⇒80分）※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	■　重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	大田市から浜田港へのアクセス向上が見込まれる（84分⇒70分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□　農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		■　現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	国際コンテナ通行支障トンネルを回避する［湊トンネル、五十猛トンネル、宅野トンネル、仁万トンネル］ （対象区間：国道９号 島根県大田市静間町～大田市温泉津町　要因：空間高不足）
１．活力	都市の再生	□　都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□　広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□　市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□　中心市街地内で行う事業である	
		□　幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□　DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□　対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	大田市～浜田市間を高規格幹線道路で連絡する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる（72分⇒58分）※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：43万人(H24)）へのアクセス向上が見込まれる
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（Ｈ２１年３月策定）において第１次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道９号、代替する区間：大田市～旧仁摩町間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：5.5千t／年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし:1,224千t／年⇒整備あり：1,219千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：14.4t／年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし:3,076t／年⇒整備あり：3,062t／年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：1.2t／年、排出削減率：約0.8%削減（整備なし:163t／年⇒整備あり：162t／年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	大田・静間道路、仁摩・温泉津道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根総合発展計画「第２次実施計画」 平成24年3月 大田市総合計画2007-2016　平成19年3月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	静間・仁摩道路	L=7.9km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
16,100	2	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成25年度		
単純合計	210億円	56億円	266億円
うち残事業分	184億円	56億円	239億円
基準年における現在価値（C）	188億円	19億円	207億円
うち残事業分	161億円	19億円	180億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成25年度			
供 用 年	平成32年度			
単年便益（初年便益）	16億円	4.6億円	2.0億円	23億円
基準年における現在価値（B）	276億円	78億円	31億円	385億円
うち残事業分	276億円	78億円	31億円	385億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.9
経済的純現在価値（事業全体）	178億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.9%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	205億円
経済的内部収益率（残事業）	9.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,100	±１０％	1.6 ～ 2.2
事業費	210億円	±１０％	1.7 ～ 2.0
事業期間	12年	±２０％	1.7 ～ 2.0

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	16,100	±１０％	1.8 ～ 2.5
事業費	184億円	±１０％	2.0 ～ 2.4
事業期間	6年	±２０％	2.0 ～ 2.3

交通状況の変化

様式－３①

事業名：静間・仁摩道路（事業全体）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,100
		走行時間※2	[分]	－	7
：7.9km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	22.05
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	15,800	1,200
		走行時間	[分]	10	9
	：8.2km	走行時間費用	[億円/年]	31.64	1.91
	仁摩瑞穂線	交通量	[台/日]	13,400	2,800
		走行時間	[分]	1	1
	：0.8km	走行時間費用	[億円/年]	4.03	0.60
	大田桜江線	交通量	[台/日]	7,000	5,800
		走行時間	[分]	13	13
	：8.8km	走行時間費用	[億円/年]	15.91	12.98
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：3617.4km		走行時間費用	[億円/年]	2,662.07	2,659.22

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3643.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,713.65	2,696.76	16.89

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

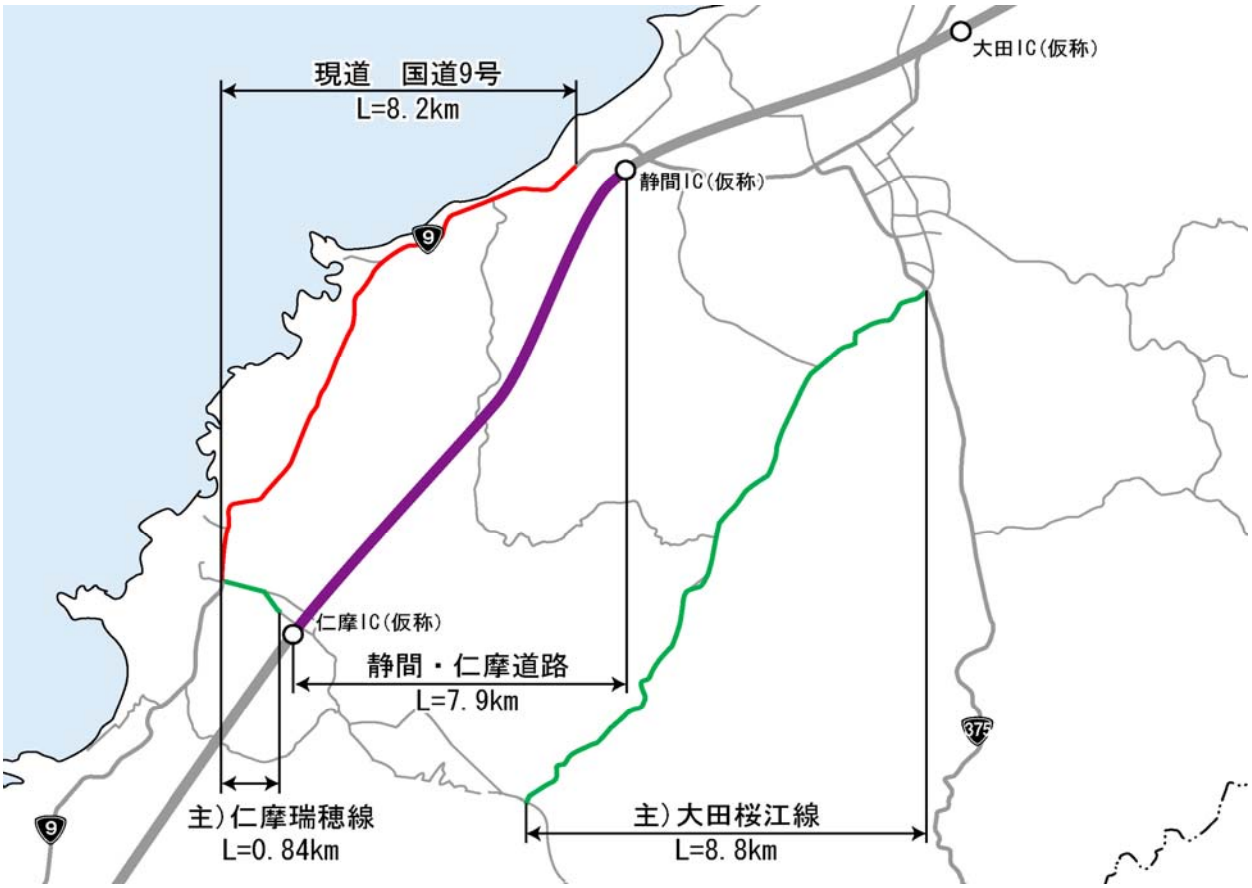
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３①

交通状況の変化

事業名：静間・仁摩道路（残事業）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	－	16,100
		走行時間※2	[分]	－	7
：7.9km		走行時間費用※3	[億円/年]	－	22.05
②主な周辺道路※4	国道9号	交通量	[台/日]	15,800	1,200
		走行時間	[分]	10	9
	：8.2km	走行時間費用	[億円/年]	31.64	1.91
	仁摩瑞穂線	交通量	[台/日]	13,400	2,800
		走行時間	[分]	1	1
	：0.8km	走行時間費用	[億円/年]	4.03	0.60
	大田桜江線	交通量	[台/日]	7,000	5,800
		走行時間	[分]	13	13
	：8.8km	走行時間費用	[億円/年]	15.91	12.98
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：3617.4km		走行時間費用	[億円/年]	2,662.07	2,659.22

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3643.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,713.65	2,696.76	16.89

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

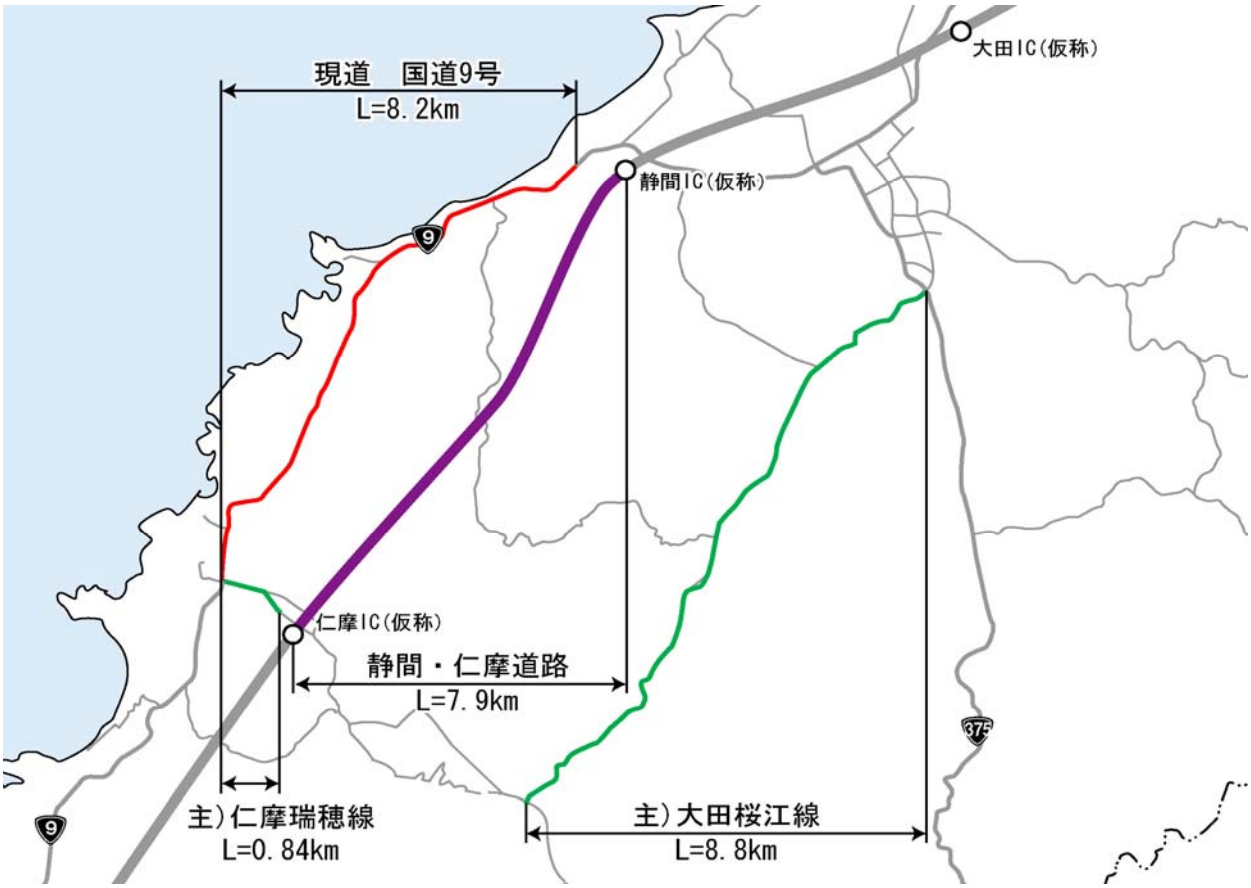
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：静間・仁摩道路

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成25年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （ H17センサス ）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定）		■

事業名：静間・仁摩道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名：静間・仁摩道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	□
		標準投資パターンを採用	□
		その他（概略事業計画による値を採用）	■
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		

４．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	7.9	1.17

箇所名：静間・仁摩道路（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−12年目	H 20	1.2167	96.8	0.95	1.10		
−11年目	H 21	1.1699	95.6	1.38	1.56		
−10年目	H 22	1.1249	93.7	2.85	3.15		
−9年目	H 23	1.0816	92.1	1.90	2.06		
−8年目	H 24	1.0400	92.1	4.79	4.98		
−7年目	H 25	1.0000	92.1	14.38	14.38		
−6年目	H 26	0.9615	92.1	14.38	13.83		
−5年目	H 27	0.9246	92.1	42.22	39.03		
−4年目	H 28	0.8890	92.1	48.38	43.01		
−3年目	H 29	0.8548	92.1	37.65	32.18		
−2年目	H 30	0.8219	92.1	28.13	23.12		
−1年目	H 31	0.7903	92.1	12.97	10.25		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1			1.11	0.85
1年目	H 33	0.7307	92.1			1.11	0.81
2年目	H 34	0.7026	92.1			1.11	0.78
3年目	H 35	0.6756	92.1			1.11	0.75
4年目	H 36	0.6496	92.1			1.11	0.72
5年目	H 37	0.6246	92.1			1.11	0.70
6年目	H 38	0.6006	92.1			1.11	0.67
7年目	H 39	0.5775	92.1			1.11	0.64
8年目	H 40	0.5553	92.1			1.11	0.62
9年目	H 41	0.5339	92.1			1.11	0.59
10年目	H 42	0.5134	92.1			1.11	0.57
11年目	H 43	0.4936	92.1			1.11	0.55
12年目	H 44	0.4746	92.1			1.11	0.53
13年目	H 45	0.4564	92.1			1.11	0.51
14年目	H 46	0.4388	92.1			1.11	0.49
15年目	H 47	0.4220	92.1			1.11	0.47
16年目	H 48	0.4057	92.1			1.11	0.45
17年目	H 49	0.3901	92.1			1.11	0.43
18年目	H 50	0.3751	92.1			1.11	0.42
19年目	H 51	0.3607	92.1			1.11	0.40
20年目	H 52	0.3468	92.1			1.11	0.39
21年目	H 53	0.3335	92.1			1.11	0.37
22年目	H 54	0.3207	92.1			1.11	0.36
23年目	H 55	0.3083	92.1			1.11	0.34
24年目	H 56	0.2965	92.1			1.11	0.33
25年目	H 57	0.2851	92.1			1.11	0.32
26年目	H 58	0.2741	92.1			1.11	0.31
27年目	H 59	0.2636	92.1			1.11	0.29
28年目	H 60	0.2534	92.1			1.11	0.28
29年目	H 61	0.2437	92.1			1.11	0.27
30年目	H 62	0.2343	92.1			1.11	0.26
31年目	H 63	0.2253	92.1			1.11	0.25
32年目	H 64	0.2166	92.1			1.11	0.24
33年目	H 65	0.2083	92.1			1.11	0.23
34年目	H 66	0.2003	92.1			1.11	0.22
35年目	H 67	0.1926	92.1			1.11	0.21
36年目	H 68	0.1852	92.1			1.11	0.21
37年目	H 69	0.1780	92.1			1.11	0.20
38年目	H 70	0.1712	92.1			1.11	0.19
39年目	H 71	0.1646	92.1			1.11	0.18
40年目	H 72	0.1583	92.1			1.11	0.18
41年目	H 73	0.1522	92.1			1.11	0.17
42年目	H 74	0.1463	92.1			1.11	0.16
43年目	H 75	0.1407	92.1			1.11	0.16
44年目	H 76	0.1353	92.1			1.11	0.15
45年目	H 77	0.1301	92.1			1.11	0.14
46年目	H 78	0.1251	92.1			1.11	0.14
47年目	H 79	0.1203	92.1			1.11	0.13
48年目	H 80	0.1157	92.1			1.11	0.13
49年目	H 81	0.1112	92.1	−4.15	−0.46	1.11	0.12
合　計				205.83	188.19	55.71	18.92

単純事業費計	209.98	55.71

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.15	7.9	1.17

箇所名：静間・仁摩道路（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
−6年目	H 26	0.9615	92.1	14.38	13.83		
−5年目	H 27	0.9246	92.1	42.22	39.03		
−4年目	H 28	0.8890	92.1	48.38	43.01		
−3年目	H 29	0.8548	92.1	37.65	32.18		
−2年目	H 30	0.8219	92.1	28.13	23.12		
−1年目	H 31	0.7903	92.1	12.97	10.25		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1			1.11	0.85
1年目	H 33	0.7307	92.1			1.11	0.81
2年目	H 34	0.7026	92.1			1.11	0.78
3年目	H 35	0.6756	92.1			1.11	0.75
4年目	H 36	0.6496	92.1			1.11	0.72
5年目	H 37	0.6246	92.1			1.11	0.70
6年目	H 38	0.6006	92.1			1.11	0.67
7年目	H 39	0.5775	92.1			1.11	0.64
8年目	H 40	0.5553	92.1			1.11	0.62
9年目	H 41	0.5339	92.1			1.11	0.59
10年目	H 42	0.5134	92.1			1.11	0.57
11年目	H 43	0.4936	92.1			1.11	0.55
12年目	H 44	0.4746	92.1			1.11	0.53
13年目	H 45	0.4564	92.1			1.11	0.51
14年目	H 46	0.4388	92.1			1.11	0.49
15年目	H 47	0.4220	92.1			1.11	0.47
16年目	H 48	0.4057	92.1			1.11	0.45
17年目	H 49	0.3901	92.1			1.11	0.43
18年目	H 50	0.3751	92.1			1.11	0.42
19年目	H 51	0.3607	92.1			1.11	0.40
20年目	H 52	0.3468	92.1			1.11	0.39
21年目	H 53	0.3335	92.1			1.11	0.37
22年目	H 54	0.3207	92.1			1.11	0.36
23年目	H 55	0.3083	92.1			1.11	0.34
24年目	H 56	0.2965	92.1			1.11	0.33
25年目	H 57	0.2851	92.1			1.11	0.32
26年目	H 58	0.2741	92.1			1.11	0.31
27年目	H 59	0.2636	92.1			1.11	0.29
28年目	H 60	0.2534	92.1			1.11	0.28
29年目	H 61	0.2437	92.1			1.11	0.27
30年目	H 62	0.2343	92.1			1.11	0.26
31年目	H 63	0.2253	92.1			1.11	0.25
32年目	H 64	0.2166	92.1			1.11	0.24
33年目	H 65	0.2083	92.1			1.11	0.23
34年目	H 66	0.2003	92.1			1.11	0.22
35年目	H 67	0.1926	92.1			1.11	0.21
36年目	H 68	0.1852	92.1			1.11	0.21
37年目	H 69	0.1780	92.1			1.11	0.20
38年目	H 70	0.1712	92.1			1.11	0.19
39年目	H 71	0.1646	92.1			1.11	0.18
40年目	H 72	0.1583	92.1			1.11	0.18
41年目	H 73	0.1522	92.1			1.11	0.17
42年目	H 74	0.1463	92.1			1.11	0.16
43年目	H 75	0.1407	92.1			1.11	0.16
44年目	H 76	0.1353	92.1			1.11	0.15
45年目	H 77	0.1301	92.1			1.11	0.14
46年目	H 78	0.1251	92.1			1.11	0.14
47年目	H 79	0.1203	92.1			1.11	0.13
48年目	H 80	0.1157	92.1			1.11	0.13
49年目	H 81	0.1112	92.1	−3.11	−0.35	1.11	0.12
合　計				180.62	161.08	55.71	18.92

単純事業費計	183.73	55.71

注1）事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：静間・仁摩道路（事業全体）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	4.41	1.73	9.95	16.10	12.23	1.30	0.39	2.87	4.56	3.46	1.99	1.52	22.65	17.21
1年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	4.39	1.72	10.06	16.18	11.82	1.30	0.39	2.90	4.58	3.35	1.99	1.45	22.74	16.62
2年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	4.38	1.71	10.17	16.26	11.42	1.29	0.38	2.93	4.60	3.23	1.98	1.39	22.84	16.05
3年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	4.36	1.69	10.28	16.34	11.04	1.29	0.38	2.96	4.63	3.13	1.98	1.33	22.94	15.50
4年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	4.34	1.68	10.39	16.41	10.66	1.28	0.38	2.99	4.65	3.02	1.97	1.28	23.03	14.96
5年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	4.32	1.67	10.50	16.49	10.30	1.28	0.37	3.02	4.67	2.92	1.96	1.23	23.13	14.45
6年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	4.31	1.65	10.61	16.57	9.95	1.27	0.37	3.06	4.70	2.82	1.96	1.18	23.23	13.95
7年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	4.29	1.64	10.72	16.65	9.62	1.27	0.37	3.09	4.72	2.73	1.95	1.13	23.33	13.47
8年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	4.27	1.63	10.83	16.73	9.29	1.26	0.36	3.12	4.74	2.63	1.95	1.08	23.42	13.01
9年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	4.25	1.61	10.94	16.81	8.98	1.26	0.36	3.15	4.77	2.55	1.94	1.04	23.52	12.56
10年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	4.24	1.60	11.05	16.89	8.67	1.25	0.36	3.18	4.79	2.46	1.94	0.99	23.62	12.12
11年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	4.19	1.59	11.06	16.84	8.31	1.24	0.36	3.18	4.78	2.36	1.92	0.95	23.54	11.62
12年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	4.15	1.58	11.06	16.79	7.97	1.22	0.35	3.18	4.76	2.26	1.90	0.90	23.46	11.14
13年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	4.11	1.57	11.07	16.74	7.64	1.21	0.35	3.19	4.75	2.17	1.89	0.86	23.38	10.67
14年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	4.07	1.56	11.07	16.69	7.33	1.20	0.35	3.19	4.74	2.08	1.87	0.82	23.30	10.23
15年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	4.02	1.55	11.07	16.64	7.02	1.19	0.35	3.19	4.72	1.99	1.86	0.78	23.22	9.80
16年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	3.98	1.54	11.08	16.60	6.73	1.17	0.34	3.19	4.71	1.91	1.84	0.75	23.15	9.39
17年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	3.94	1.53	11.08	16.55	6.45	1.16	0.34	3.19	4.69	1.83	1.83	0.71	23.07	9.00
18年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	3.90	1.52	11.09	16.50	6.19	1.15	0.34	3.19	4.68	1.76	1.81	0.68	22.99	8.62
19年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	3.85	1.50	11.09	16.45	5.93	1.14	0.34	3.19	4.67	1.68	1.80	0.65	22.91	8.26
20年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	3.81	1.49	11.09	16.40	5.69	1.12	0.33	3.19	4.65	1.61	1.78	0.62	22.83	7.92
21年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	3.77	1.48	11.10	16.35	5.45	1.11	0.33	3.19	4.64	1.55	1.77	0.59	22.75	7.59
22年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	3.73	1.47	11.10	16.30	5.23	1.10	0.33	3.20	4.63	1.48	1.75	0.56	22.67	7.27
23年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	3.68	1.46	11.11	16.25	5.01	1.09	0.33	3.20	4.61	1.42	1.73	0.53	22.60	6.97
24年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	3.64	1.45	11.11	16.20	4.80	1.07	0.33	3.20	4.60	1.36	1.72	0.51	22.52	6.68
25年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	3.60	1.44	11.11	16.15	4.60	1.06	0.32	3.20	4.58	1.31	1.70	0.49	22.44	6.40
26年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	3.55	1.43	11.12	16.10	4.41	1.05	0.32	3.20	4.57	1.25	1.69	0.46	22.36	6.13
27年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	3.51	1.42	11.12	16.05	4.23	1.04	0.32	3.20	4.56	1.20	1.67	0.44	22.28	5.87
28年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	3.47	1.41	11.13	16.00	4.06	1.02	0.32	3.20	4.54	1.15	1.66	0.42	22.20	5.63
29年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	3.43	1.40	11.13	15.95	3.89	1.01	0.31	3.20	4.53	1.10	1.64	0.40	22.13	5.39
30年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	3.38	1.39	11.14	15.91	3.73	1.00	0.31	3.21	4.51	1.06	1.63	0.38	22.05	5.17
31年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	3.34	1.38	11.14	15.86	3.57	0.99	0.31	3.21	4.50	1.01	1.61	0.36	21.97	4.95
32年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	3.30	1.37	11.14	15.81	3.42	0.97	0.31	3.21	4.49	0.97	1.60	0.35	21.89	4.74
33年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	3.26	1.35	11.15	15.76	3.28	0.96	0.30	3.21	4.47	0.93	1.58	0.33	21.81	4.54
34年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	3.21	1.34	11.15	15.71	3.15	0.95	0.30	3.21	4.46	0.89	1.56	0.31	21.73	4.35
35年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	3.17	1.33	11.16	15.66	3.02	0.94	0.30	3.21	4.45	0.86	1.55	0.30	21.65	4.17
36年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	3.13	1.32	11.16	15.61	2.89	0.92	0.30	3.21	4.43	0.82	1.53	0.28	21.58	4.00
37年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	3.09	1.31	11.16	15.56	2.77	0.91	0.29	3.21	4.42	0.79	1.52	0.27	21.50	3.83
38年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	3.04	1.30	11.17	15.51	2.66	0.90	0.29	3.22	4.40	0.75	1.50	0.26	21.42	3.67
39年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	3.00	1.29	11.17	15.46	2.55	0.89	0.29	3.22	4.39	0.72	1.49	0.24	21.34	3.51
40年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	2.96	1.28	11.18	15.41	2.44	0.87	0.29	3.22	4.38	0.69	1.47	0.23	21.26	3.37
41年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	2.91	1.27	11.18	15.36	2.34	0.86	0.28	3.22	4.36	0.66	1.46	0.22	21.18	3.22
42年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	2.87	1.26	11.18	15.31	2.24	0.85	0.28	3.22	4.35	0.64	1.44	0.21	21.10	3.09
43年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	2.83	1.25	11.19	15.27	2.15	0.83	0.28	3.22	4.34	0.61	1.43	0.20	21.03	2.96
44年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	2.79	1.24	11.19	15.22	2.06	0.82	0.28	3.22	4.32	0.58	1.41	0.19	20.95	2.83
45年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	2.74	1.23	11.20	15.17	1.97	0.81	0.27	3.22	4.31	0.56	1.39	0.18	20.87	2.71
46年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	2.70	1.21	11.20	15.12	1.89	0.80	0.27	3.22	4.29	0.54	1.38	0.17	20.79	2.60
47年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	2.66	1.20	11.20	15.07	1.81	0.78	0.27	3.23	4.28	0.51	1.36	0.16	20.71	2.49
48年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	2.62	1.19	11.21	15.02	1.74	0.77	0.27	3.23	4.27	0.49	1.35	0.16	20.63	2.39
49年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	2.57	1.18	11.21	14.97	1.66	0.76	0.27	3.23	4.25	0.47	1.33	0.15	20.55	2.29
合計								179.53	72.41	549.81	801.75	276.27	52.97	16.24	158.28	227.48	78.35	85.03	30.71	1,114.26	385.32

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：静間・仁摩道路（残事業）

年次	年度（基準年）H25	総走行台キロの年次別伸び率（山陰ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率（A）	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計(億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.7599	92.1	4.41	1.73	9.95	16.10	12.23	1.30	0.39	2.87	4.56	3.46	1.99	1.52	22.65	17.21
1年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.7307	92.1	4.39	1.72	10.06	16.18	11.82	1.30	0.39	2.90	4.58	3.35	1.99	1.45	22.74	16.62
2年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7026	92.1	4.38	1.71	10.17	16.26	11.42	1.29	0.38	2.93	4.60	3.23	1.98	1.39	22.84	16.05
3年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6756	92.1	4.36	1.69	10.28	16.34	11.04	1.29	0.38	2.96	4.63	3.13	1.98	1.33	22.94	15.50
4年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.6496	92.1	4.34	1.68	10.39	16.41	10.66	1.28	0.38	2.99	4.65	3.02	1.97	1.28	23.03	14.96
5年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6246	92.1	4.32	1.67	10.50	16.49	10.30	1.28	0.37	3.02	4.67	2.92	1.96	1.23	23.13	14.45
6年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6006	92.1	4.31	1.65	10.61	16.57	9.95	1.27	0.37	3.06	4.70	2.82	1.96	1.18	23.23	13.95
7年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5775	92.1	4.29	1.64	10.72	16.65	9.62	1.27	0.37	3.09	4.72	2.73	1.95	1.13	23.33	13.47
8年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.5553	92.1	4.27	1.63	10.83	16.73	9.29	1.26	0.36	3.12	4.74	2.63	1.95	1.08	23.42	13.01
9年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5339	92.1	4.25	1.61	10.94	16.81	8.98	1.26	0.36	3.15	4.77	2.55	1.94	1.04	23.52	12.56
10年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5134	92.1	4.24	1.60	11.05	16.89	8.67	1.25	0.36	3.18	4.79	2.46	1.94	0.99	23.62	12.12
11年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4936	92.1	4.19	1.59	11.06	16.84	8.31	1.24	0.36	3.18	4.78	2.36	1.92	0.95	23.54	11.62
12年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4746	92.1	4.15	1.58	11.06	16.79	7.97	1.22	0.35	3.18	4.76	2.26	1.90	0.90	23.46	11.14
13年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4564	92.1	4.11	1.57	11.07	16.74	7.64	1.21	0.35	3.19	4.75	2.17	1.89	0.86	23.38	10.67
14年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4388	92.1	4.07	1.56	11.07	16.69	7.33	1.20	0.35	3.19	4.74	2.08	1.87	0.82	23.30	10.23
15年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4220	92.1	4.02	1.55	11.07	16.64	7.02	1.19	0.35	3.19	4.72	1.99	1.86	0.78	23.22	9.80
16年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4057	92.1	3.98	1.54	11.08	16.60	6.73	1.17	0.34	3.19	4.71	1.91	1.84	0.75	23.15	9.39
17年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3901	92.1	3.94	1.53	11.08	16.55	6.45	1.16	0.34	3.19	4.69	1.83	1.83	0.71	23.07	9.00
18年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3751	92.1	3.90	1.52	11.09	16.50	6.19	1.15	0.34	3.19	4.68	1.76	1.81	0.68	22.99	8.62
19年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3607	92.1	3.85	1.50	11.09	16.45	5.93	1.14	0.34	3.19	4.67	1.68	1.80	0.65	22.91	8.26
20年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3468	92.1	3.81	1.49	11.09	16.40	5.69	1.12	0.33	3.19	4.65	1.61	1.78	0.62	22.83	7.92
21年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3335	92.1	3.77	1.48	11.10	16.35	5.45	1.11	0.33	3.19	4.64	1.55	1.77	0.59	22.75	7.59
22年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3207	92.1	3.73	1.47	11.10	16.30	5.23	1.10	0.33	3.20	4.63	1.48	1.75	0.56	22.67	7.27
23年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3083	92.1	3.68	1.46	11.11	16.25	5.01	1.09	0.33	3.20	4.61	1.42	1.73	0.53	22.60	6.97
24年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2965	92.1	3.64	1.45	11.11	16.20	4.80	1.07	0.33	3.20	4.60	1.36	1.72	0.51	22.52	6.68
25年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2851	92.1	3.60	1.44	11.11	16.15	4.60	1.06	0.32	3.20	4.58	1.31	1.70	0.49	22.44	6.40
26年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2741	92.1	3.55	1.43	11.12	16.10	4.41	1.05	0.32	3.20	4.57	1.25	1.69	0.46	22.36	6.13
27年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2636	92.1	3.51	1.42	11.12	16.05	4.23	1.04	0.32	3.20	4.56	1.20	1.67	0.44	22.28	5.87
28年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2534	92.1	3.47	1.41	11.13	16.00	4.06	1.02	0.32	3.20	4.54	1.15	1.66	0.42	22.20	5.63
29年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2437	92.1	3.43	1.40	11.13	15.95	3.89	1.01	0.31	3.20	4.53	1.10	1.64	0.40	22.13	5.39
30年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2343	92.1	3.38	1.39	11.14	15.91	3.73	1.00	0.31	3.21	4.51	1.06	1.63	0.38	22.05	5.17
31年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2253	92.1	3.34	1.38	11.14	15.86	3.57	0.99	0.31	3.21	4.50	1.01	1.61	0.36	21.97	4.95
32年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2166	92.1	3.30	1.37	11.14	15.81	3.42	0.97	0.31	3.21	4.49	0.97	1.60	0.35	21.89	4.74
33年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2083	92.1	3.26	1.35	11.15	15.76	3.28	0.96	0.30	3.21	4.47	0.93	1.58	0.33	21.81	4.54
34年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2003	92.1	3.21	1.34	11.15	15.71	3.15	0.95	0.30	3.21	4.46	0.89	1.56	0.31	21.73	4.35
35年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1926	92.1	3.17	1.33	11.16	15.66	3.02	0.94	0.30	3.21	4.45	0.86	1.55	0.30	21.65	4.17
36年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1852	92.1	3.13	1.32	11.16	15.61	2.89	0.92	0.30	3.21	4.43	0.82	1.53	0.28	21.58	4.00
37年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1780	92.1	3.09	1.31	11.16	15.56	2.77	0.91	0.29	3.21	4.42	0.79	1.52	0.27	21.50	3.83
38年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1712	92.1	3.04	1.30	11.17	15.51	2.66	0.90	0.29	3.22	4.40	0.75	1.50	0.26	21.42	3.67
39年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1646	92.1	3.00	1.29	11.17	15.46	2.55	0.89	0.29	3.22	4.39	0.72	1.49	0.24	21.34	3.51
40年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1583	92.1	2.96	1.28	11.18	15.41	2.44	0.87	0.29	3.22	4.38	0.69	1.47	0.23	21.26	3.37
41年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1522	92.1	2.91	1.27	11.18	15.36	2.34	0.86	0.28	3.22	4.36	0.66	1.46	0.22	21.18	3.22
42年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1463	92.1	2.87	1.26	11.18	15.31	2.24	0.85	0.28	3.22	4.35	0.64	1.44	0.21	21.10	3.09
43年目	H 75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1407	92.1	2.83	1.25	11.19	15.27	2.15	0.83	0.28	3.22	4.34	0.61	1.43	0.20	21.03	2.96
44年目	H 76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1353	92.1	2.79	1.24	11.19	15.22	2.06	0.82	0.28	3.22	4.32	0.58	1.41	0.19	20.95	2.83
45年目	H 77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1301	92.1	2.74	1.23	11.20	15.17	1.97	0.81	0.27	3.22	4.31	0.56	1.39	0.18	20.87	2.71
46年目	H 78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1251	92.1	2.70	1.21	11.20	15.12	1.89	0.80	0.27	3.22	4.29	0.54	1.38	0.17	20.79	2.60
47年目	H 79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1203	92.1	2.66	1.20	11.20	15.07	1.81	0.78	0.27	3.23	4.28	0.51	1.36	0.16	20.71	2.49
48年目	H 80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1157	92.1	2.62	1.19	11.21	15.02	1.74	0.77	0.27	3.23	4.27	0.49	1.35	0.16	20.63	2.39
49年目	H 81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1112	92.1	2.57	1.18	11.21	14.97	1.66	0.76	0.27	3.23	4.25	0.47	1.33	0.15	20.55	2.29
合 計								179.53	72.41	549.81	801.75	276.27	52.97	16.24	158.28	227.48	78.35	85.03	30.71	1,114.26	385.32

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	静間・仁摩道路	2	7.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考(記載例)
①工事費					17,093	
	改良費				6,815	
		土工	m3	2,991,851	3,071	切土（1,244,780m3）、盛土（1,747,071m3）
		軟弱地盤改良工	m3	49,050	346	
		法面工	㎡	166,152	624	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	199	ブロック積擁壁、大型ブロック積擁壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	1,256	234	
		函渠工	m	417	825	
		排水工	m	5,341	282	
		中央分離帯工	m	4,670	19	
		雑工	式	1	1,215	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,762	
		100m以上	m	671	2,762	PC橋2橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	0	0	
	トンネル費				6,046	
		NATM	m	2,580	6,046	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費				488	
		IC	箇所	2	488	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				480	
		車道舗装	㎡	50,187	480	
		歩道舗装	㎡	0	0	
	附帯施設費				502	
		交通管理施設工	式	1	502	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及び補償費					940	
	用地費			320,273	415	
		宅地	㎡	5,804	116	
		田畑	㎡	31,420	157	
		山林・原野	㎡	283,049	142	
		その他	㎡			
	補償費		式	1	525	
③間接経費			式		3,967	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					22,000	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	静間・仁摩道路	2	7.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考(記載例)
①工事費					15,880	
	改良費				5,732	
		土工	m3	2,991,851	2,851	切土（1,244,780m3）、盛土（1,747,071m3）
		軟弱地盤改良工	m3	49,050	346	
		法面工	㎡	166,152	624	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	199	ブロック積擁壁、大型ブロック積擁壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	1,256	234	
		函渠工	m	417	825	
		排水工	m	5,341	282	
		中央分離帯工	m	4,670	19	
		雑工	式	1	352	工事用道路、文化財調査等
	橋梁費				2,632	
		100m以上	m	671	2,632	PC橋2橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	0	0	
	トンネル費				6,046	
		NATM	m	2,580	6,046	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費				488	
		IC	箇所	2	488	ダイヤモンド型2箇所
		JCT	箇所			
	舗装費				480	
		車道舗装	㎡	50,187	480	
		歩道舗装	㎡	0	0	
	附帯施設費				502	
		交通管理施設工	式	1	502	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及び補償費					694	
	用地費			242,273	311	
		宅地	㎡	4,804	96	
		田畑	㎡	21,420	107	
		山林・原野	㎡	216,049	108	
		その他	㎡			
	補償費		式	1	383	
③間接経費			式		2,683	地質調査、測量、設計、文化財調査にかかる費用及び予備費
全体事業費					19,257	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	静間・仁摩道路	2	7.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	7.9	1,200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,650	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			5,850	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	静間・仁摩道路	2	7.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	7.9	1,200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,650	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			5,850	

一般国道９号出雲・湖陵道路

一般国道９号湖陵・多伎道路

一般国道９号多伎・朝山道路

一般国道９号朝山・大田道路

一般国道９号大田・静間道路

一般国道９号静間・仁摩道路

〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第３１号
国中整港計第１７号
平成２５年８月２７日

島根県知事　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について（ご依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２５年９月１９日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

（別紙）

【河川事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道9号出雲・湖陵道路	継続	
一般国道9号湖陵・多伎道路	継続	
一般国道9号多伎・朝山道路	継続	
一般国道9号朝山・大田道路	継続	
一般国道9号大田・静間道路	継続	
一般国道9号静間・仁摩道路	継続	
一般国道9号仁摩・温泉津道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 ： 平成25年9月9日（月）までにお願いします。※様式自由

■送付先

〒730-8530　広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局　企画部　企画課長　宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局　企画部企画課

課長補佐　藤原

教習係長　松田

TEL：082－221－9231（代表）

FAX：082－227－2651

高 推 第 ５ １ 号
平成２５年９月６日

中国地方整備局長　様

島根県知事　溝口　善兵衛
（土木部高速道路推進課）
（ 土 木 部 河 川 課 ）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成２５年８月２７日付け国中整企画第３１号、国中整港計第１７号で意見照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については、別紙のとおり異存ありません。

記

・江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）
・一般国道９号出雲・湖陵道路
・一般国道９号湖陵・多伎道路
・一般国道９号多伎・朝山道路
・一般国道９号朝山・大田道路
・一般国道９号大田・静間道路
・一般国道９号静間・仁摩道路
・一般国道９号仁摩・温泉津道路

中国地方整備局
企画第 20 号
25.9.10

中国地方整備局
港計第 28 号
25.9.10

（別紙）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事　業　名	一般国道９号出雲・湖陵道路 一般国道９号湖陵・多伎道路 一般国道９号大田・静間道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（意見） 上記事業については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、早期完成を図って頂きたい。 また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。 なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。	

【道路事業】

事　業　名	一般国道９号多伎・朝山道路 一般国道９号朝山・大田道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（意見） 上記事業については、国道９号の事故・災害時の代替道路機能の確保や救急医療活動の支援を始め、経済活動の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠なものであり、既に明示されている平成３０年度での確実な供用を図って頂きたい。 また、その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。 なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。	

【道路事業】

事　業　名	一般国道９号静間・仁摩道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である

（意見）

一般国道９号静間・仁摩道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。

その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。

【道路事業】

事　業　名	一般国道９号仁摩・温泉津道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である

（意見）

一般国道９号仁摩・温泉津道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、既に明示されている平成２６年度での確実な供用を図って頂きたい。

また、隣接する福光浅利道路（仮称）については、都市計画決定手続きに対する協力並びに、その後の早期新規事業着手について配慮をお願いしたい。

その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、２０２０年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

なお、道路利用者から声が上がっているトイレ等の休憩施設について、現道の道の駅への案内誘導等、配慮願いたい。